

つながりあい、支えあうまちを目指して

地域福祉に関する区民アンケート

調査報告書【速報版】

令和7年3月



目 次

I	調査概要.....	1
II	区民アンケート調査結果.....	4
1	あなたのこと（あて名の方）について（回答者属性）.....	4
2	近所付き合い、地域のつながりについて.....	9
3	地域活動について.....	29
4	ふだんの暮らしについて.....	39
5	困ったときの相談先や福祉情報の入手先について.....	49
6	区の地域福祉について.....	59
III	調査結果分析.....	60
分析 1	近所の「顔も知らない人が多い」人について.....	60
分析 2	地域貢献の意欲と地域活動について.....	62
分析 3	孤独を感じる人について.....	65
分析 4	相談先がわからない困りごとが「ある」人について.....	68

I 調査概要

1 調査の目的

- 本調査は、「江東区地域福祉計画」の改定にあたり、区民を対象に暮らしや地域活動の状況や考え方等を、地域活動団体や関係団体等を対象に区の地域福祉に関する現状や取組に対する意見等をそれぞれ伺い、計画に反映することを目的に実施しました。

2 調査の実施概要

A 区民調査

項目	概要
調査対象	3,000人（18歳以上の区内在住者から無作為抽出）
調査方法	配付方法：自宅への調査票郵送 ※調査期間中、督促ハガキ送付 回答方法：Web回答、郵送提出（いずれか1つを選択）
調査実施期間	令和6年9月30日（月）～10月18日（金） ※最終受取11月6日（水）
回答数	1,179人（回答率39.3%）
結果の理論値	調査結果は母集団（18歳以上の区民 約464,000人）に対する統計上の一般的な要件（信頼度95%等）を備えている。 理論上の最大誤差範囲は±2.9。（例えば、ある選択肢の調査結果が50.0%の場合、母集団では47.1%～52.9%の範囲と推定される。）
調査項目	1 あなたのこと（あて名の方）について（回答者属性） 2 近所付き合い、地域のつながりについて 3 地域活動について 4 ふだんの暮らしについて 5 困ったときの相談先や福祉情報の入手先について 6 区の地域福祉について（意見・提案）

3 調査結果の読み方

- 「調査結果」の図表は、回答者の構成比（百分率＝％）を示しています。
- 図表上の「回答者」は、構成比算出の母数（人数）を示しています。回答者を限定する設問（前問に答えた人のみが回答する等）は当該設問の「回答者」となります。
- 構成比による集計は、当該設問の回答者を 100％として算出し、本文及び図表の数字は小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位で示しています。なお、四捨五入の関係で選択肢比率の合計が 100％にならない場合、複数回答の設問では選択肢比率の合計が 100％を超える場合があります。
- 図表中の「0.0」は、四捨五入の結果又は回答がないことを示しています。
- クロス集計は「無回答」等を非表示としているため、属性別の合計が回答者と異なる場合、また、選択肢比率の合計が 100％にならない場合があります。
- 回答者の少ないデータ（限定設問の回答、クロス集計の属性別結果）は統計的誤差が大きい場合もあるため、数値の取り扱いに留意する必要があります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文及び図表で省略している場合があります。

【令和 3 年区民アンケートの結果掲載について】

- 令和 3 年区民アンケートと同じ設問は令和 6 年と令和 3 年の結果を掲載しています。

令和 3 年区民アンケートの実施概要

対 象	配付数	回答数（回答率）	最大誤差範囲	調査実施期間
区民	3,000 人	1,633 人（54.4％）	±2.4	令和 3 年 1～2 月

※注 令和 3 年にない設問や選択肢が異なり比較が困難な設問は令和 3 年結果を掲載していません。

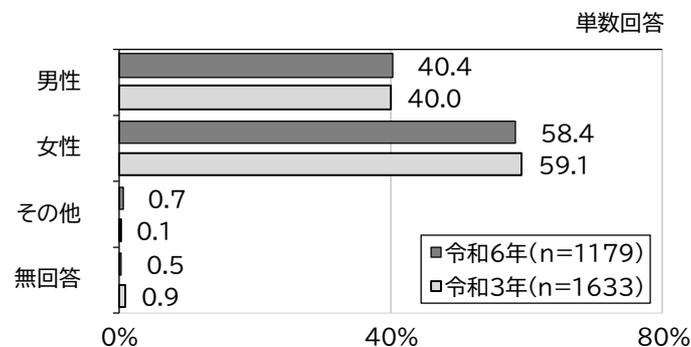
(白紙ページ)

II 区民アンケート調査結果

1 あなたのこと（あて名の方）について（回答者属性）

問1 あなたの性別（あなたの現在の性自認でお答えください）（○は1つ）

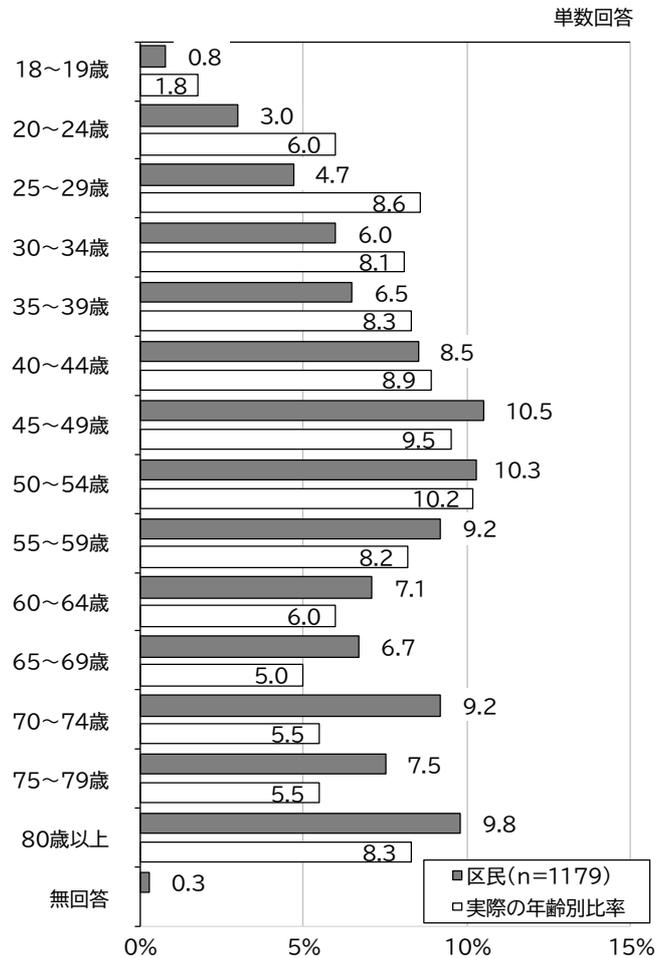
- 性別（問1）について、「男性」は40.4%、「女性」は58.4%、「その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）」は0.7%となっています。
- 令和3年から変化がみられた項目（理論上の誤差を考慮して5ポイント以上の差）はありません。
- 実際（令和6年10月1日時点）の18歳以上人口の男女比は「男性」48.7%、「女性」51.3%であることから、今回の調査結果は、前回調査と同様に女性の意見がやや強く反映されていると考えられます。



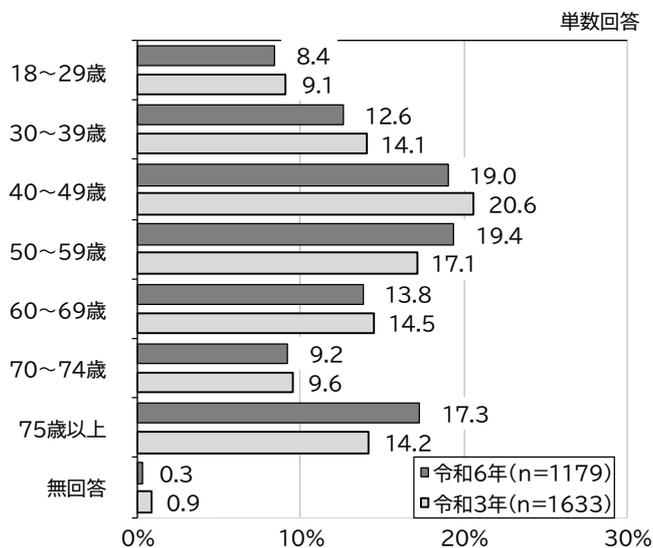
※「その他」の選択肢は性的マイノリティの人に配慮したものです。

問2 あなたの年齢（令和6年10月1日時点）（〇は1つ）

- 年齢（問2）について、「45～49歳」と「50～54歳」が10%台と高く、「55～59歳」、「70～74歳」、「80歳以上」が9%台で続いています。
- 実際（令和6年10月1日時点）の18歳以上の年齢別比率と比較すると、回答者割合は「40～44歳」以下は実際より低く、「50～54歳」以上は実際より高いことから、今回の調査結果は「50～54歳」以上の意見がやや強く反映されていると考えられます。

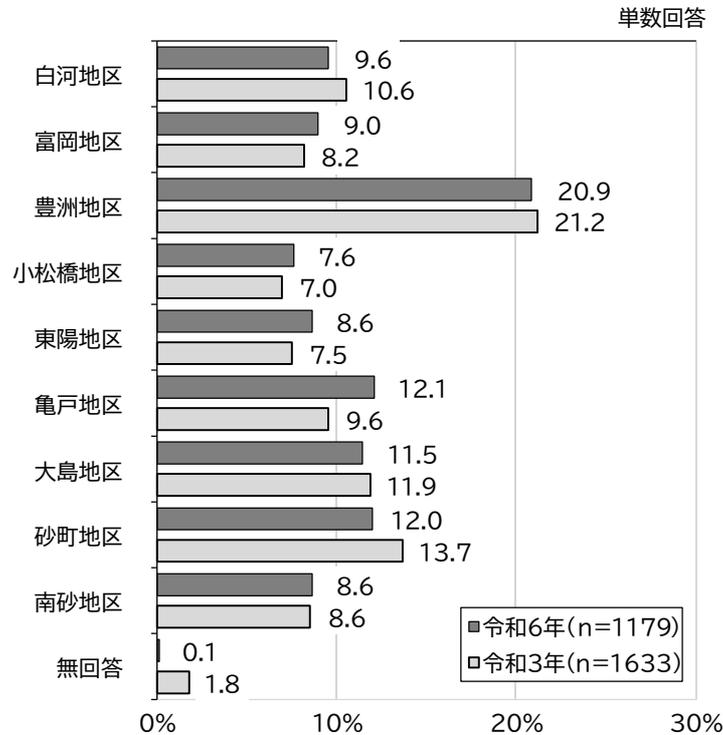


- 年齢階級を統合して令和3年と比較してみると、変化がみられた項目（標本誤差を考慮して5ポイント以上の差）はありません。



問3 お住まいの地区（地区番号を○で囲んでください）（○は1つ）

- 居住地区（問3）について、「豊洲地区」が20.9%と最も高く、次いで「亀戸地区」が12.1%、「砂町地区」が12.0%となっています。
- 令和3年から変化がみられた項目（標本誤差を考慮して5ポイント以上の差）はありません。

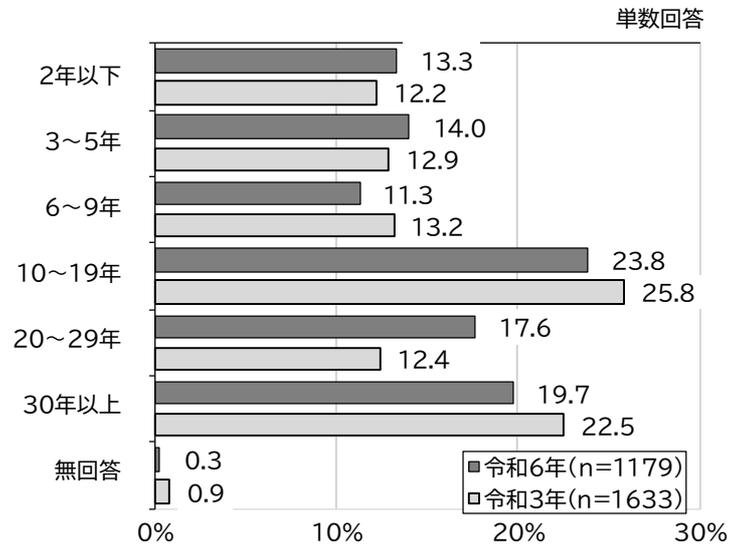


■地区詳細

白河地区	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋
富岡地区	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島
豊洲地区	塩浜、枝川、豊洲、東雲、有明、辰巳、潮見、青海
小松橋地区	千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利
東陽地区	木場、東陽、南砂二丁目1番1号～5号、5～7番
亀戸地区	亀戸全区域
大島地区	大島全区域
砂町地区	北砂全区域、東砂一～五丁目、南砂一丁目、南砂二丁目24番～34番、南砂五丁目
南砂地区	東砂六～八丁目、南砂二丁目（1番1号～5号、5番～7番、24番～34番を除く）、南砂三・四・六・七丁目、新砂一丁目（1番を除く）、新砂二・三丁目、新木場

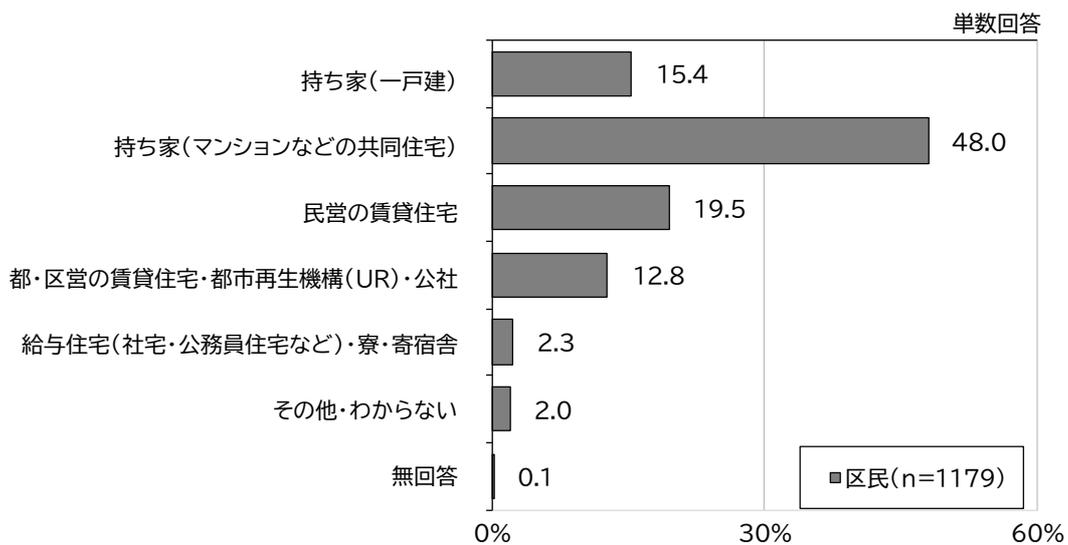
問4 現在のお住まいの居住歴（○は1つ）

- 居住年数（問4）について、「10～19年」が23.8%と最も高く、次いで「30年以上」が19.7%、「20～29年」が17.6%となっています。
- 令和3年から変化がみられた項目（標本誤差を考慮して5ポイント以上の差）は、「20～29年」が5.2ポイント上昇しました。



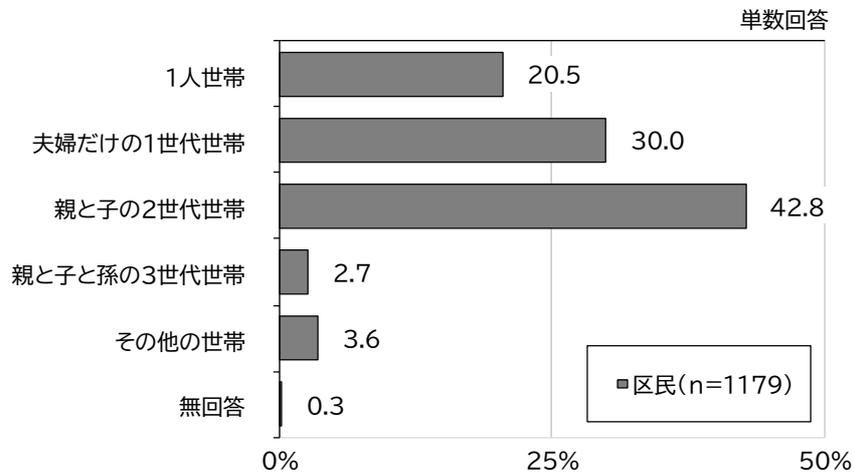
問5 お住まいの形態（○は1つ）

- 住居の種類（問5）について、「持ち家（マンションなどの共同住宅）」が48.0%と最も高く、次いで「民営の賃貸住宅」が19.5%、「持ち家（一戸建）」が15.4%となっています。



問6 あなたの世帯構成（○は1つ）

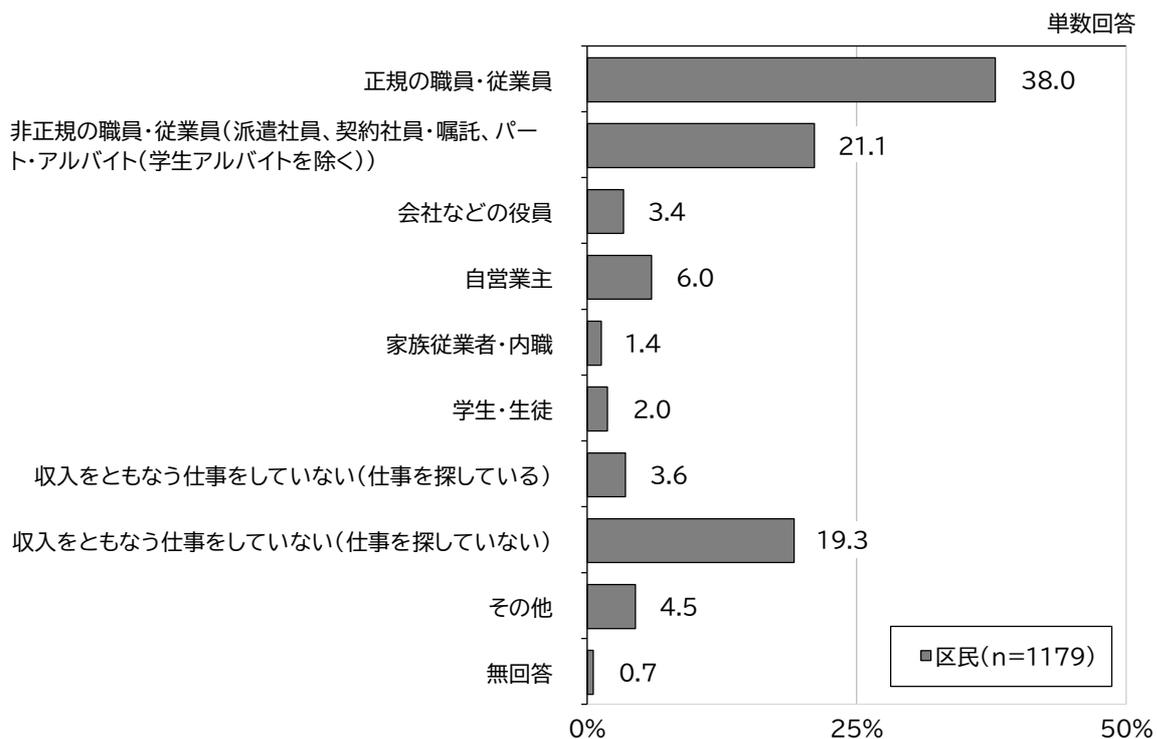
- 世帯構成（問6）について、「親と子の2世代世帯」が42.8%と最も高く、次いで「夫婦だけの1世代世帯」が30.0%、「1人世帯」が20.5%となっています。



問7 あなたの働き方（○は1つ）

（※複数の仕事に従事している場合は、一番長い時間している仕事を選んでください）

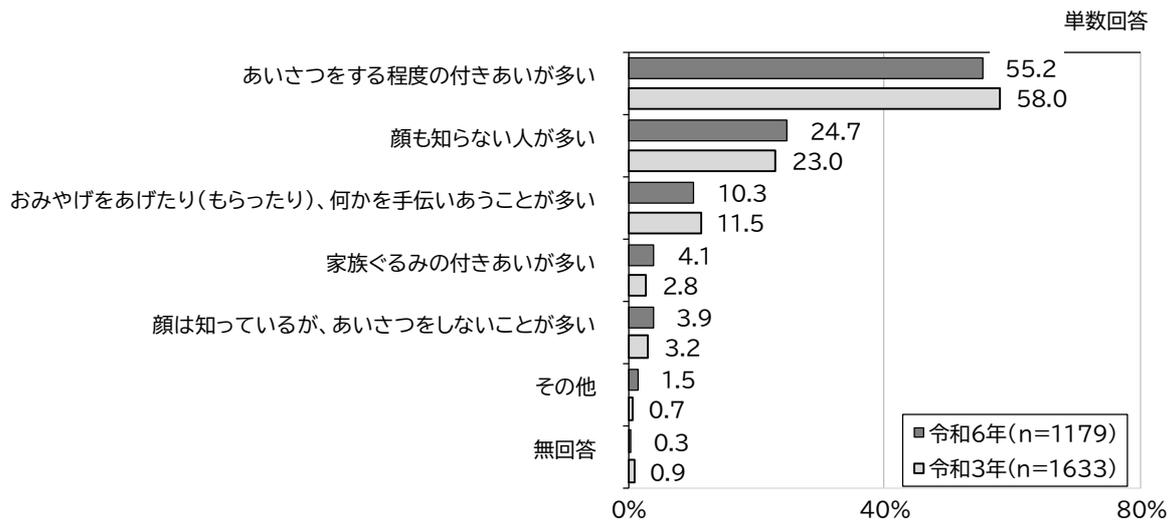
- 働き方・仕事（問7）について、「正規の職員・従業員」が38.0%と最も高く、次いで「非正規の職員・従業員（派遣社員、契約社員・嘱託、パート・アルバイト（学生アルバイトを除く））」が21.1%、「収入をとまなう仕事をしていない（仕事を探していない）」が19.3%となっています。



2 近所付き合い、地域のつながりについて

問8 ご近所の方とは、主にどのような付き合い方をしていますか（多いですか）。（○は1つ）

- 近所との付き合い方（問8）について、「あいさつをする程度の付き合いが多い」が55.2%と最も高く、次いで「顔も知らない人が多い」が24.7%、「おみやげをあげたり（もらったり）、何かを手伝いあうことが多い」が10.3%となっています。
- 令和3年から変化がみられた項目（標本誤差を考慮して5ポイント以上の差）はありません。



■属性別の主な傾向

- 多くの属性で「あいさつをする程度の付き合いが多い」が高くなっています。
- 「顔も知らない人が多い」は、18～19歳、20～24歳、25～29歳、30～34歳が高く、その中で25～29歳は60%台と特に高くなっています。居住地区では概ね10～20%台です。その中で豊洲地区は30%台と高くなっています。

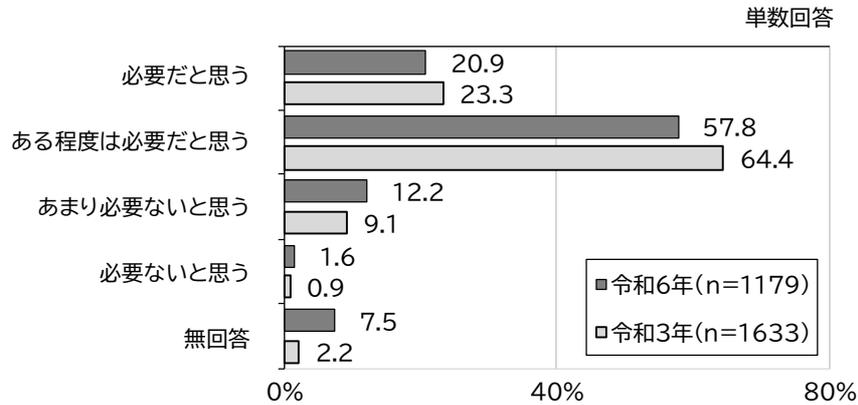
（データは次ページ参照）

数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

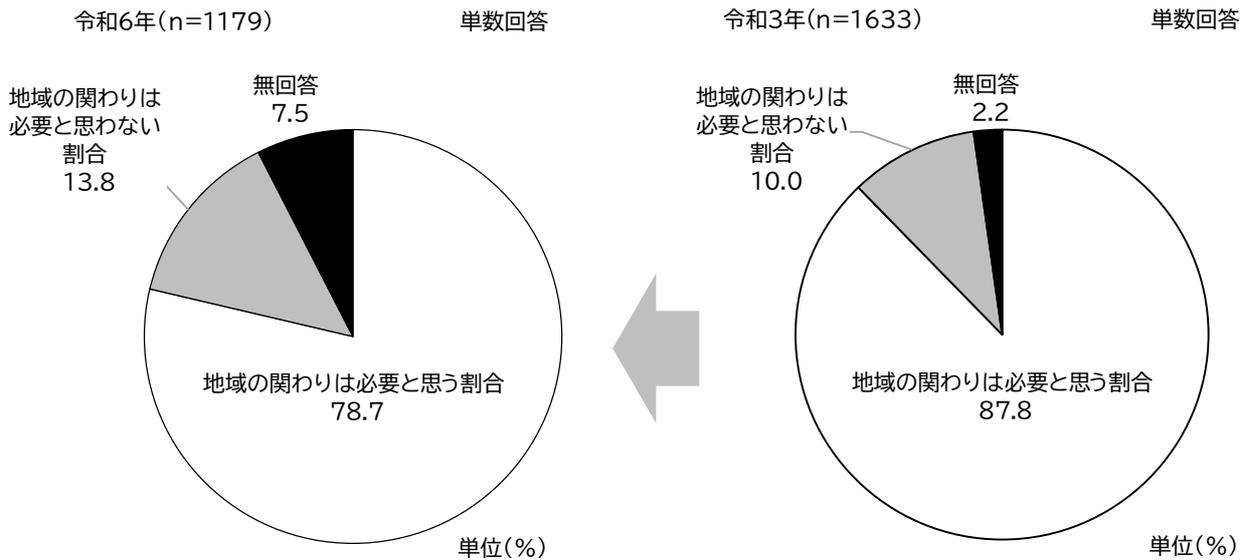
%		合計(n)	家族ぐるみの 付き合いが多い	おみやげをあ げたり(も らったり)、 何かを手伝い あうことが多 い	あいさつをす る程度の付き あいが多い	顔は知ってい るが、あいさ つをしないこ とが多い	顔も知らない 人が多い	その他
性別(自認)	男性	476	3.8	9.2	52.1	4.6	27.7	2.3
	女性	689	4.2	11.2	56.9	3.5	23.1	0.9
	その他	8	12.5	0.0	87.5	0.0	0.0	0.0
年齢	18~19歳	9	11.1	0.0	44.4	0.0	44.4	0.0
	20~24歳	35	5.7	2.9	34.3	8.6	48.6	0.0
	25~29歳	55	1.8	0.0	23.6	7.3	67.3	0.0
	30~34歳	71	2.8	0.0	43.7	7.0	46.5	0.0
	35~39歳	77	3.9	7.8	54.5	5.2	28.6	0.0
	40~44歳	100	4.0	5.0	53.0	11.0	27.0	0.0
	45~49歳	124	4.8	10.5	60.5	0.0	24.2	0.0
	50~54歳	121	3.3	6.6	59.5	3.3	27.3	0.0
	55~59歳	108	3.7	8.3	62.0	3.7	21.3	0.9
	60~64歳	84	1.2	14.3	64.3	3.6	14.3	2.4
	65~69歳	79	2.5	13.9	67.1	1.3	13.9	1.3
	70~74歳	109	1.8	19.3	55.0	1.8	16.5	4.6
	75~79歳	88	4.5	14.8	60.2	3.4	13.6	2.3
80歳以上	116	10.3	19.8	50.9	1.7	10.3	6.0	
居住地区	白河地区	113	2.7	9.7	59.3	4.4	23.0	0.9
	富岡地区	106	2.8	10.4	59.4	4.7	21.7	0.9
	豊洲地区	247	5.3	7.7	49.8	3.6	32.8	0.4
	小松橋地区	90	4.4	8.9	56.7	4.4	22.2	1.1
	東陽地区	101	2.0	11.9	54.5	4.0	27.7	0.0
	亀戸地区	143	3.5	13.3	50.3	3.5	25.9	3.5
	大島地区	135	3.7	10.4	51.9	3.7	26.7	3.7
	砂町地区	142	4.2	13.4	62.0	4.9	13.4	2.1
	南砂地区	101	6.9	8.9	61.4	2.0	19.8	1.0

問9 暮らしていく上で、近所や地域との関わりは必要だと思いますか。(〇は1つ)

- 近所や地域との関わり必要性(問9)について、「ある程度は必要だと思う」が57.8%と最も高く、次いで「必要だと思う」が20.9%、「あまり必要ないと思う」が12.2%となっています。
- 令和3年から変化がみられた項目(標本誤差を考慮して5ポイント以上の差)は、「ある程度は必要だと思う」が6.6ポイント低下しました。



- 地域の関わりは必要と思う割合(「必要だと思う」+「ある程度は必要だと思う」の合計)は78.7%、地域の関わりは必要と思わない割合(「あまり必要ないと思う」+「必要ないと思う」の合計)は13.8%となっています。
- 令和3年から変化がみられた項目(標本誤差を考慮して5ポイント以上の差)は、地域の関わりは必要と思う割合(「必要だと思う」+「ある程度は必要だと思う」の合計)が9.1ポイント低下しました。



■属性別の主な傾向

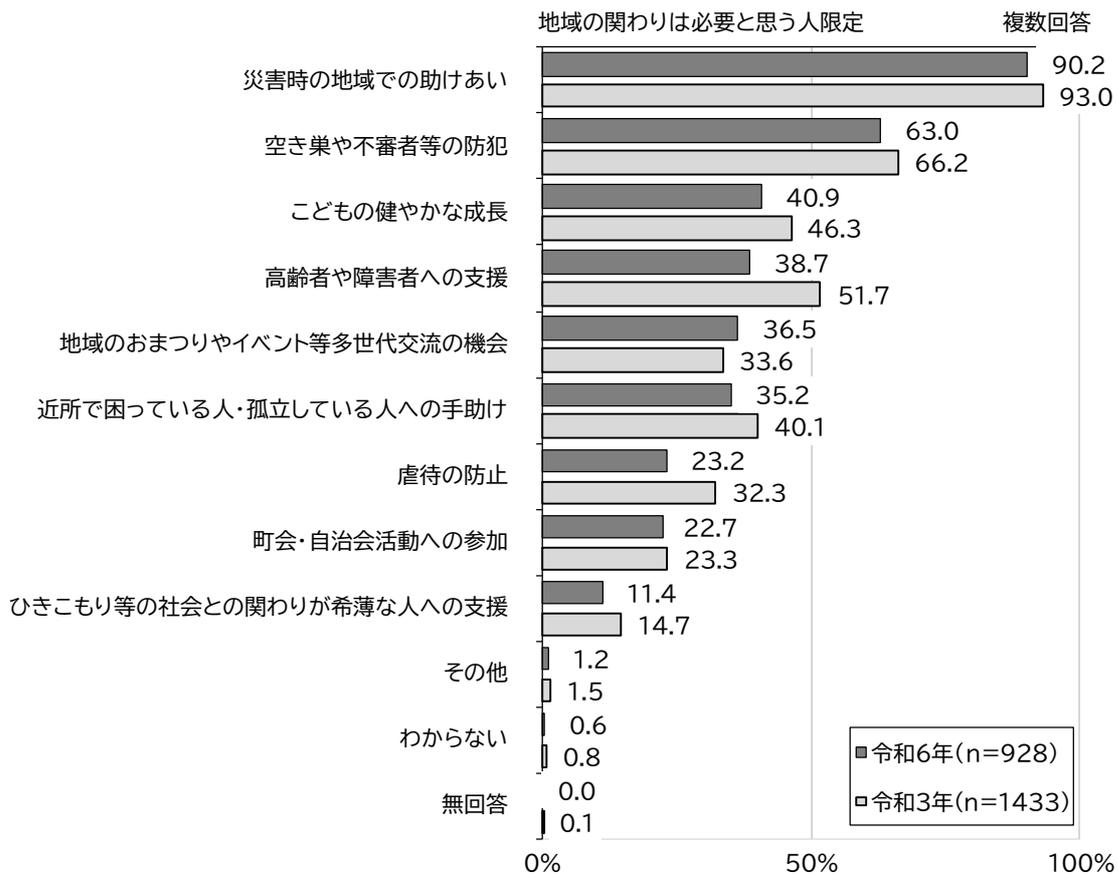
- 多くの属性で「ある程度は必要だと思う」が高くなっています。
- 「あまり必要ないと思う」は、性別その他、18～19歳が高くなっています。

数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

	%	合計(n)	必要だと思う	ある程度は必要だと思う	あまり必要ないと思う	必要ないと思う
性別（自認）	男性	476	22.3	53.6	16.8	2.5
	女性	689	19.7	61.2	8.9	0.9
	その他	8	25.0	37.5	37.5	0.0
年齢	18～19歳	9	22.2	33.3	44.4	0.0
	20～24歳	35	11.4	42.9	31.4	8.6
	25～29歳	55	7.3	54.5	36.4	0.0
	30～34歳	71	11.3	60.6	23.9	1.4
	35～39歳	77	11.7	64.9	13.0	2.6
	40～44歳	100	18.0	63.0	12.0	2.0
	45～49歳	124	16.9	63.7	11.3	1.6
	50～54歳	121	15.7	62.8	9.9	1.7
	55～59歳	108	18.5	68.5	7.4	0.9
	60～64歳	84	26.2	59.5	11.9	0.0
	65～69歳	79	24.1	59.5	8.9	0.0
	70～74歳	109	22.0	51.4	9.2	0.9
	75～79歳	88	35.2	43.2	5.7	3.4
80歳以上	116	38.8	47.4	3.4	1.7	
居住地区	白河地区	113	19.5	58.4	10.6	1.8
	富岡地区	106	34.9	50.9	6.6	1.9
	豊洲地区	247	17.4	58.7	15.4	1.2
	小松橋地区	90	16.7	66.7	7.8	3.3
	東陽地区	101	20.8	66.3	10.9	0.0
	亀戸地区	143	16.8	60.1	14.0	0.7
	大島地区	135	17.8	54.1	17.8	3.7
	砂町地区	142	26.8	52.1	11.3	1.4
	南砂地区	101	21.8	56.4	8.9	1.0

問 10 問 9 で「1」または「2」（必要だと思う）と回答した方におたずねします。
 どのようなことに近所や地域との関わりの必要を感じますか。（〇はいくつでも）

- （地域の関わりは必要と思う人）近所や地域との関わりが必要な事柄（問 10）について、「災害時の地域での助けあい」が 90.2%と最も高く、次いで「空き巣や不審者等の防犯」が 63.0%、「こどもの健やかな成長」が 40.9%となっています。
- 令和 3 年から変化がみられた項目（標本誤差を考慮して 5 ポイント以上の差）は、「高齢者や障害者への支援」が 13.0 ポイント低下、「虐待の防止」が 9.1 ポイント低下、「こどもの健やかな成長」が 5.4 ポイント低下しました。



■属性別の主な傾向

- 全ての属性で「災害時の地域での助けあい」が最も高くなっています。性別その他では「空き巣や不審者等の防犯」も高くなっています。

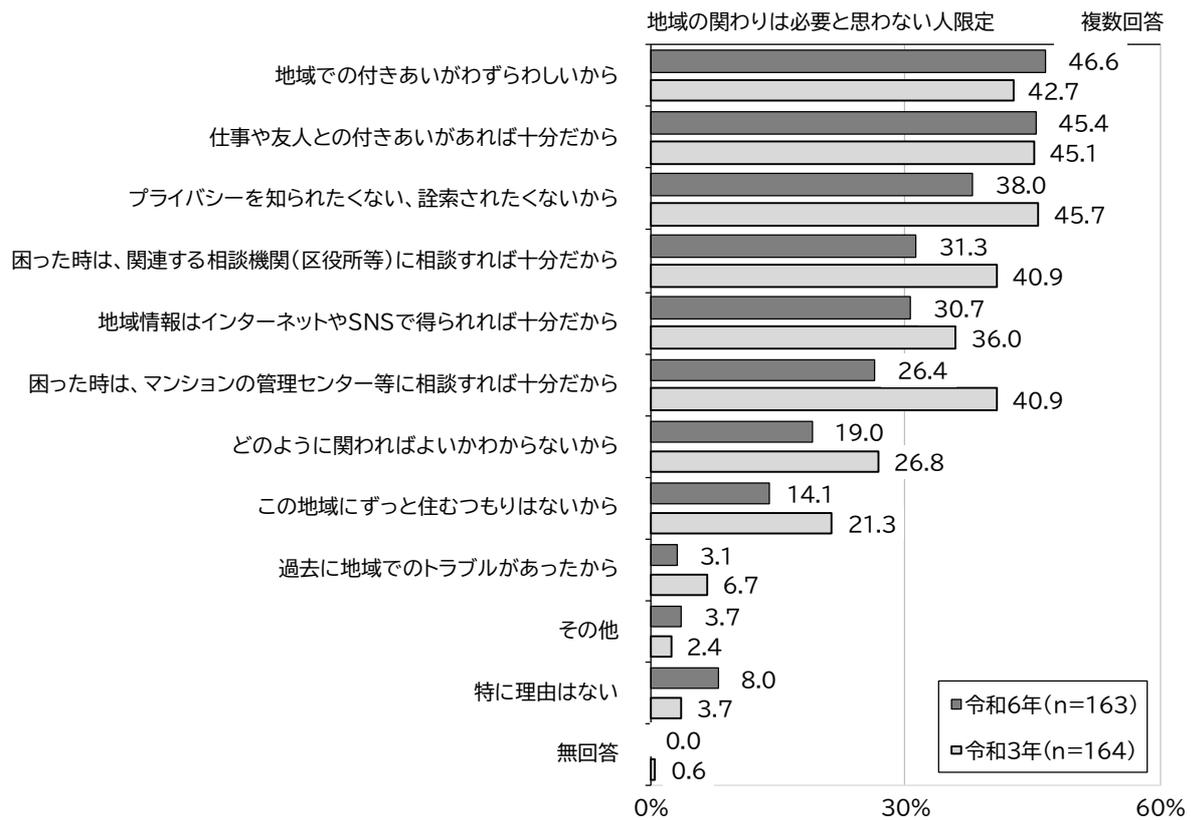
（データは次ページ参照）

数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

性別(自認)	%	合計(n)	災害時の地域での助けあい	空き巣や不審者等の防犯	ひきこもり等の社会との関わりが希薄な人への支援	虐待の防止	高齢者や障害者への支援	こどもの健全な成長	近所で困っている人・孤立している人への手助け	地域のおまつりやイベント等多世代交流の機会	町会・自治会活動への参加	その他	わからない	
														男性
年齢	18～19歳	5	1000	1000	400	200	400	400	400	400	200	0.0	0.0	
	20～24歳	19	737	579	105	368	368	368	316	263	0.0	0.0	0.0	
	25～29歳	34	824	441	59	324	176	44.1	32.4	47.1	11.8	0.0	0.0	
	30～34歳	51	824	510	59	255	157	62.7	31.4	31.4	11.8	2.0	2.0	
	35～39歳	59	881	678	5.1	169	220	61.0	39.0	44.1	11.9	1.7	0.0	
	40～44歳	81	901	654	7.4	259	272	60.5	32.1	54.3	16.0	2.5	0.0	
	45～49歳	100	860	650	14.0	320	320	50.0	40.0	40.0	16.0	2.0	1.0	
	50～54歳	95	926	632	8.4	232	347	41.1	35.8	36.8	15.8	1.1	0.0	
	55～59歳	94	947	745	12.8	287	585	43.6	42.6	28.7	19.1	0.0	1.1	
	60～64歳	72	917	667	23.6	333	569	44.4	48.6	43.1	26.4	2.8	2.8	
	65～69歳	66	939	667	13.6	197	409	27.3	31.8	31.8	33.3	0.0	0.0	
	70～74歳	80	975	613	8.8	163	500	27.5	28.7	30.0	25.0	0.0	0.0	
	75～79歳	69	899	638	11.6	145	464	29.0	33.3	37.7	36.2	1.4	0.0	
	80歳以上	100	900	550	14.0	110	410	17.0	26.0	26.0	44.0	1.0	1.0	
	居住地区	白河地区	88	920	636	13.6	250	398	52.3	39.8	46.6	28.4	2.3	1.1
		富岡地区	91	901	681	12.1	253	473	41.8	44.0	40.7	36.3	0.0	1.1
		豊洲地区	188	915	564	11.7	282	351	45.2	36.2	35.1	20.2	1.1	0.0
		小松橋地区	75	893	613	12.0	213	373	41.3	29.3	36.0	21.3	0.0	0.0
		東陽地区	88	909	682	13.6	330	364	43.2	35.2	44.3	22.7	0.0	0.0
亀戸地区		110	855	636	9.1	191	355	35.5	30.9	34.5	21.8	1.8	1.8	
大島地区		97	897	608	8.2	144	392	29.9	26.8	24.7	18.6	0.0	2.1	
砂町地区		112	938	688	12.5	214	384	38.4	36.6	36.6	17.9	0.9	0.0	
南砂地区		79	873	620	10.1	165	443	39.2	38.0	32.9	21.5	5.1	0.0	

問 11 問 9 で「3」または「4」（必要ないと思う）と回答した方におたずねします。
 近所や地域との関わりの必要を感じない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

- （地域の関わりは必要と思わない人）近所や地域との関わりの必要性を感じない理由（問 11）について、「地域での付き合いがわずらわしいから」が 46.6%と最も高く、次いで「仕事や友人との付き合いがあれば十分だから」が 45.4%、「プライバシーを知られたくない、詮索されたくないから」が 38.0%となっています。
- 多くの項目で令和 3 年から低下した（標本誤差を考慮して 5 ポイント以上の差）中、「特に理由はない」が 4.3 ポイント上昇しました。



■属性別の主な傾向（※回答者が少数のため、参考値）

- 回答者が少数なことも影響し、近所や地域との関わりの必要性を感じない理由は多岐にわたり、特徴的な傾向はみられません。
- その中で、最上位が比較的多い項目は「地域での付き合いがわずらわしいから」と「仕事や友人との付き合いがあれば十分だから」です。
- 「仕事や友人との付き合いがあれば十分」は、30 代から下の世代、白河地区、小松橋地区、砂町地区で高くなっています。

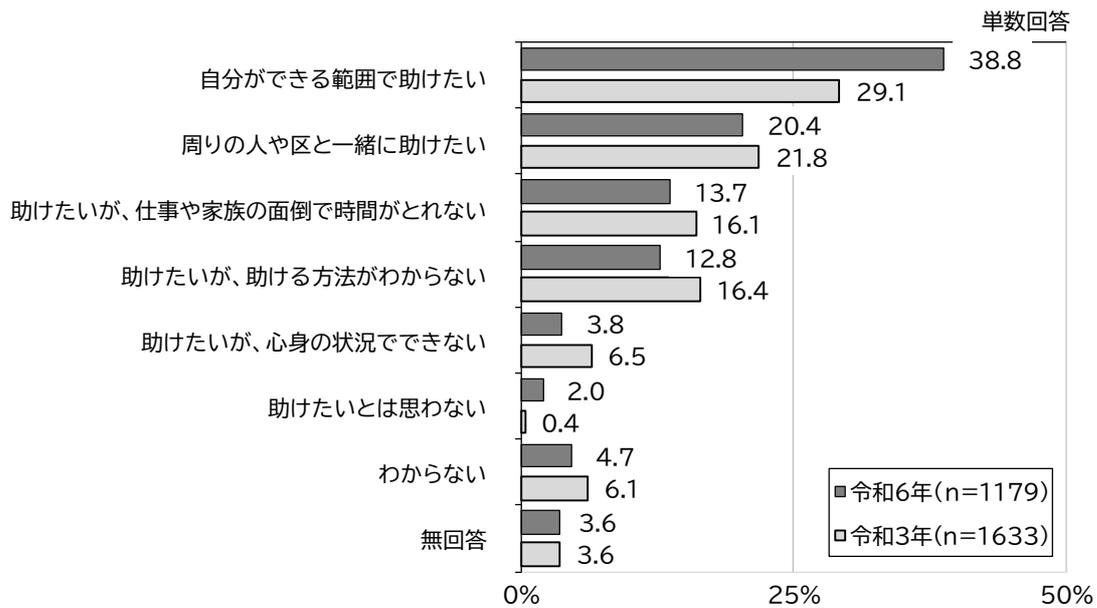
（データは次ページ参照）

数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

%	合計(n)	どのように関われたいかわからないから	この地域にずっと住むつもりはないから	仕事や友人との付き合いがあれば十分だから	地域情報はインターネットやSNSで得られれば十分だから	困った時は、関連する相談機関(区役所等)に相談すれば十分だから	困った時は、マンションの管理センター等に相談すれば十分だから	プライバシーを知られたくない、詮索されたくないから	地域での付き合いがわしいから	過去に地域のトラブルがあったから	その他	特に理由はない													
													男性	女性	その他	18~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳
性別(自認)	92	18.5	18.5	42.4	29.3	26.1	20.7	37.0	45.7	4.3	5.4	9.8													
	67	17.9	9.0	50.7	32.8	40.3	35.8	38.8	49.3	1.5	1.5	4.5													
	3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0													
年齢	4	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0													
	14	21.4	35.7	57.1	28.6	42.9	28.6	35.7	28.6	0.0	0.0	7.1													
	20	25.0	20.0	75.0	45.0	40.0	35.0	45.0	45.0	0.0	0.0	0.0													
	18	16.7	2.2	66.7	44.4	27.8	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0													
	12	41.7	33.3	58.3	41.7	33.3	25.0	33.3	58.3	0.0	8.3	0.0													
	14	28.6	0.0	42.9	21.4	21.4	14.3	64.3	35.7	21.4	0.0	21.4													
	16	18.8	6.3	43.8	50.0	50.0	25.0	43.8	56.3	6.3	0.0	0.0													
	14	7.1	14.3	28.6	14.3	35.7	35.7	64.3	64.3	0.0	14.3	7.1													
	9	11.1	11.1	44.4	44.4	11.1	11.1	33.3	77.8	0.0	0.0	11.1													
	10	20.0	20.0	20.0	20.0	30.0	50.0	40.0	40.0	0.0	0.0	10.0													
	7	28.6	0.0	57.1	42.9	42.9	57.1	42.9	57.1	14.3	14.3	14.3													
	11	0.0	0.0	9.1	18.2	27.3	9.1	18.2	36.4	0.0	18.2	9.1													
	8	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	12.5	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0													
	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	66.7	0.0	0.0	16.7													
居住地	14	35.7	35.7	71.4	35.7	28.6	0.0	50.0	42.9	0.0	14.3	0.0													
	9	33.3	22.2	33.3	33.3	33.3	22.2	55.6	33.3	0.0	0.0	11.1													
	41	14.6	4.9	41.5	34.1	39.0	31.7	36.6	56.1	0.0	0.0	9.8													
	10	10.0	30.0	60.0	20.0	10.0	20.0	20.0	50.0	0.0	0.0	0.0													
	11	9.1	9.1	45.5	45.5	36.4	45.5	9.1	54.5	0.0	0.0	9.1													
	21	23.8	23.8	42.9	33.3	42.9	47.6	47.6	38.1	14.3	4.8	4.8													
	29	13.8	13.8	37.9	24.1	31.0	24.1	34.5	44.8	0.0	6.9	3.4													
	18	22.2	5.6	55.6	27.8	22.2	16.7	44.4	44.4	5.6	0.0	22.2													
	10	20.0	0.0	30.0	20.0	10.0	10.0	40.0	40.0	10.0	10.0	10.0													

問 12 近所に困っている人がいる場合、あなたはどのような気持ちになりますか。最も近い気持ちをお答えください。（○は1つ）

- 近所に困っている人がいる場合の気持ち（問 12）について、「自分ができる範囲で助けたい」が 38.8%と最も高く、次いで「周りの人や区と一緒に助けたい」が 20.4%、「助けたいが、仕事や家族の面倒で時間がとれない」が 13.7%となっています。
- 令和3年から変化がみられた項目（標本誤差を考慮して5ポイント以上の差）は、「自分ができる範囲で助けたい」が9.7ポイント上昇しました。



■属性別の主な傾向

- 多くの属性で「自分ができる範囲で助けたい」が高くなっています。

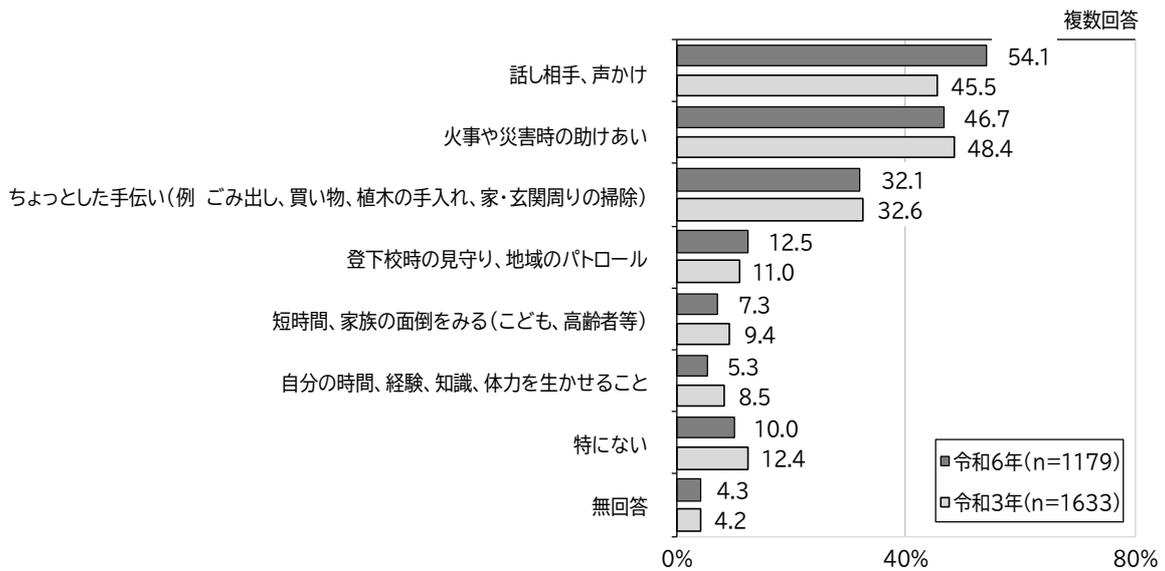
（データは次ページ参照）

数値は%、補率は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

性別（自認）	%	合計(n)	自分ができる 範囲で助けた い	周りの人や区 と一緒に助け たい	助けたいが、 仕事や家族の 面倒で時間が とれない	助けたいが、 心身の状況で できない	助けたいが、 助ける方法が わからない	助けたいと 思わない	わからない
男性		476	38.4	20.8	15.1	2.7	12.0	2.3	5.0
女性		689	38.9	20.2	12.5	4.6	13.5	1.9	4.6
その他		8	37.5	12.5	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18～19歳		9	44.4	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2
20～24歳		35	45.7	11.4	11.4	0.0	20.0	8.6	2.9
25～29歳		55	36.4	18.2	16.4	0.0	21.8	1.8	3.6
30～34歳		71	39.4	14.1	15.5	2.8	12.7	11.3	2.8
35～39歳		77	36.4	15.6	19.5	1.3	20.8	1.3	2.6
40～44歳		100	39.0	10.0	27.0	0.0	15.0	2.0	6.0
45～49歳		124	26.6	25.0	24.2	0.8	13.7	4.0	4.0
50～54歳		121	47.1	16.5	13.2	2.5	8.3	0.8	6.6
55～59歳		108	29.6	28.7	21.3	3.7	9.3	0.0	5.6
60～64歳		84	42.9	25.0	16.7	2.4	9.5	0.0	2.4
65～69歳		79	36.7	25.3	10.1	2.5	16.5	0.0	6.3
70～74歳		109	40.4	25.7	0.9	3.7	11.9	0.0	7.3
75～79歳		88	53.4	17.0	2.3	5.7	9.1	1.1	4.5
80歳以上		116	38.8	21.6	1.7	18.1	8.6	1.7	2.6
白河地区		113	37.2	31.0	10.6	1.8	8.0	2.7	2.7
富岡地区		106	39.6	25.5	10.4	4.7	16.0	0.0	2.8
豊洲地区		247	39.3	20.6	13.4	2.0	15.4	0.4	5.3
小松橋地区		90	45.6	14.4	13.3	5.6	6.7	4.4	4.4
東陽地区		101	36.6	22.8	15.8	3.0	13.9	2.0	5.0
亀戸地区		143	42.0	12.6	14.7	3.5	15.4	0.7	6.3
大島地区		135	39.3	15.6	14.1	7.4	9.6	4.4	7.4
砂町地区		142	33.8	23.2	15.5	2.8	11.3	4.2	4.2
南砂地区		101	37.6	18.8	15.8	5.9	15.8	1.0	3.0

問 13 助けあいのできることやしたいことはありますか。(〇はいくつでも)

- 助けあいのできる・したいこと(問 13)について、「話し相手、声かけ」が 54.1% と最も高く、次いで「火事や災害時の助けあい」が 46.7%、「ちょっとした手伝い(例ごみ出し、買い物、植木の手入れ、家・玄関周りの掃除)」が 32.1%となっています。
- 令和 3 年から変化がみられた項目(標本誤差を考慮して 5 ポイント以上の差)は、「話し相手、声かけ」が 8.6 ポイント上昇しました。



■属性別の主な傾向

- 多くの属性で「火事や災害時の助けあい」もしくは「話し相手、声かけ」が高くなっています。
- 「火事や災害時の助けあい」は 30 代、40 代で高くなっています。

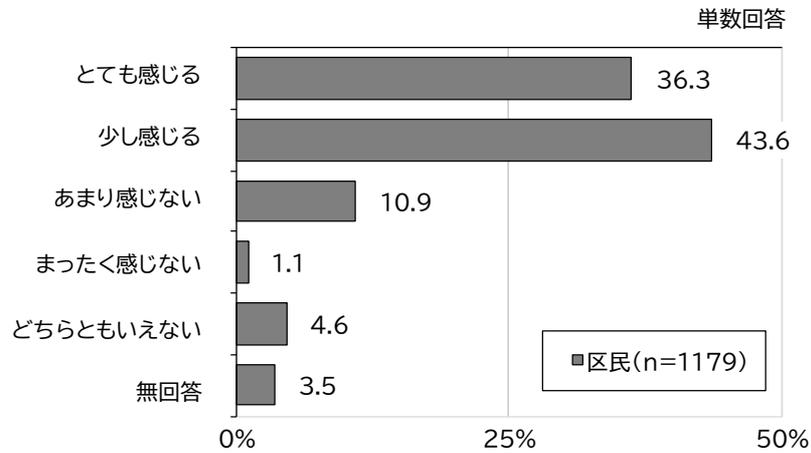
(データは次ページ参照)

数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

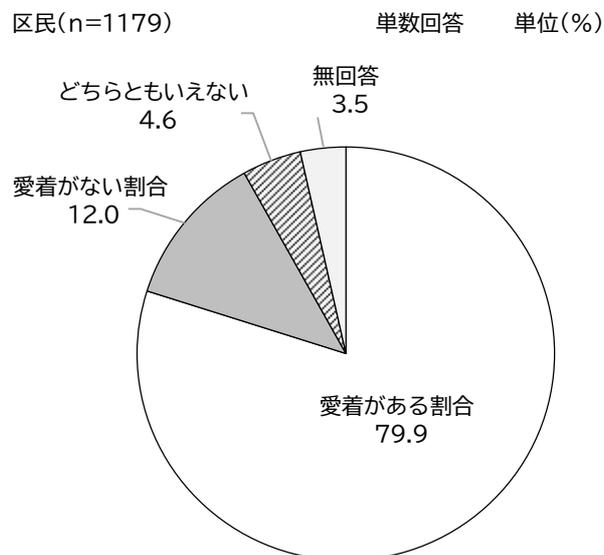
%	合計(n)	話し相手、声かけ	ちよつとした手伝い(例)ごみ出し、買い出し、植木の手入れ、家・玄関周りの掃除(除)	短時間、家族の面倒をみる(子ども、高齢者等)	火事や災害時の助けあい	登下校時の見守り、地域のバトロール	自分の時間、経験、知識、体力を生かせること	特にない
男性	476	49.2	32.4	7.1	48.3	10.9	4.6	12.6
女性	689	57.5	31.8	7.1	45.7	13.6	5.7	8.4
その他	8	50.0	37.5	25.0	62.5	12.5	0.0	0.0
18~19歳	9	66.7	22.2	0.0	44.4	11.1	0.0	11.1
20~24歳	35	57.1	25.7	5.7	37.1	5.7	5.7	11.4
25~29歳	55	52.7	27.3	3.6	45.5	10.9	3.6	10.9
30~34歳	71	43.7	19.7	5.6	49.3	9.9	2.8	16.9
35~39歳	77	55.8	27.3	13.0	61.0	27.3	2.6	5.2
40~44歳	100	51.0	29.0	16.0	57.0	25.0	5.0	9.0
45~49歳	124	49.2	36.3	8.1	52.4	13.7	4.8	6.5
50~54歳	121	54.5	27.3	8.3	46.3	8.3	6.6	9.1
55~59歳	108	54.6	35.2	5.6	51.9	15.7	5.6	7.4
60~64歳	84	65.5	36.9	4.8	51.2	16.7	14.3	8.3
65~69歳	79	53.2	44.3	7.6	48.1	8.9	5.1	8.9
70~74歳	109	50.5	40.4	5.5	36.7	8.3	2.8	11.9
75~79歳	88	59.1	33.0	3.4	40.9	8.0	9.1	9.1
80歳以上	116	57.8	27.6	6.0	28.4	3.4	1.7	17.2
白河地区	113	53.1	35.4	7.1	53.1	18.6	5.3	4.4
富岡地区	106	67.9	34.0	5.7	42.5	7.5	3.8	5.7
豊洲地区	247	51.8	31.6	10.9	51.8	12.1	6.1	10.1
小松橋地区	90	50.0	25.6	5.6	40.0	10.0	3.3	14.4
東陽地区	101	58.4	34.7	8.9	50.5	14.9	5.9	10.9
亀戸地区	143	49.0	28.7	3.5	44.1	14.0	4.2	8.4
大島地区	135	47.4	29.6	5.9	41.5	8.1	3.0	14.8
砂町地区	142	57.0	40.8	6.3	44.4	15.5	8.5	10.6
南砂地区	101	58.4	27.7	8.9	48.5	10.9	5.9	10.9

問 14 お住まいの地域に愛着を感じていますか。(○は1つ)

- 住まいの地域への愛着(問 14)について、「少し感じる」が43.6%と最も高く、次いで「とても感じる」が36.3%、「あまり感じない」が10.9%となっています。



- 愛着がある割合(「とても感じる」+「少し感じる」の合計)は79.9%、愛着がない割合(「あまり感じない」+「まったく感じない」の合計)は12.0%となっています。



■属性別の主な傾向

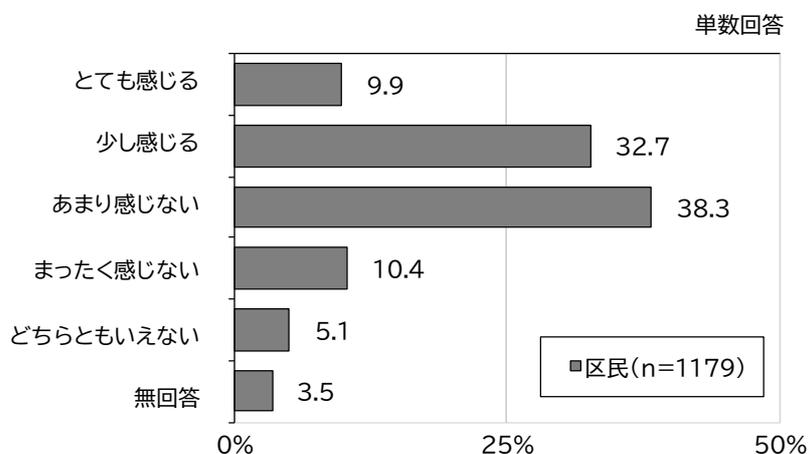
- 全ての属性で「とても感じる」もしくは「少し感じる」が高くなっています。
- 「とても感じる」は60代、75歳以上、富岡地区で高くなっています。
- 「あまり感じない」は性別その他、18～19歳が20%台であり、ほかの属性と比べると若干高くなっています。

数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

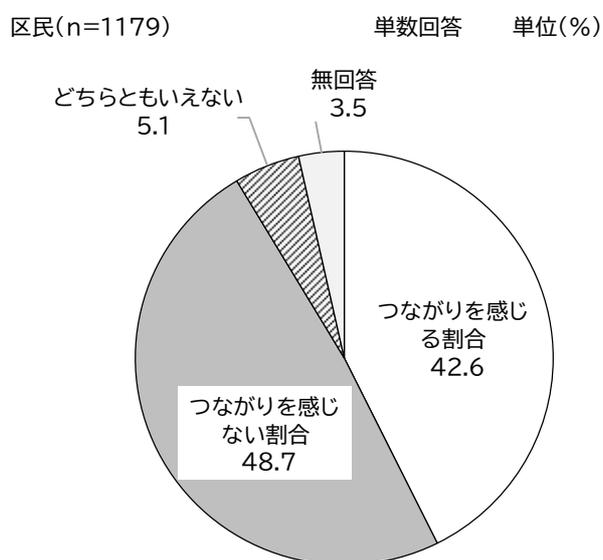
		%	合計(n)	とても感じる	少し感じる	あまり感じない	まったく感じない	どちらともいえない
性別（自認）	男性		476	34.9	40.5	12.8	2.3	6.1
	女性		689	37.4	45.7	9.4	0.3	3.5
	その他		8	12.5	50.0	25.0	0.0	12.5
年齢	18～19歳		9	33.3	44.4	22.2	0.0	0.0
	20～24歳		35	31.4	54.3	11.4	0.0	2.9
	25～29歳		55	20.0	54.5	18.2	1.8	3.6
	30～34歳		71	19.7	56.3	19.7	0.0	2.8
	35～39歳		77	20.8	53.2	19.5	2.6	1.3
	40～44歳		100	37.0	44.0	13.0	1.0	4.0
	45～49歳		124	38.7	47.6	9.7	0.0	2.4
	50～54歳		121	35.5	44.6	6.6	3.3	5.0
	55～59歳		108	34.3	48.1	9.3	0.0	7.4
	60～64歳		84	45.2	39.3	6.0	0.0	8.3
	65～69歳		79	41.8	40.5	7.6	2.5	3.8
	70～74歳		109	33.9	34.9	12.8	1.8	6.4
	75～79歳		88	45.5	35.2	11.4	0.0	1.1
80歳以上		116	51.7	29.3	5.2	0.9	7.8	
居住地区	白河地区		113	38.1	39.8	9.7	2.7	4.4
	富岡地区		106	43.4	42.5	11.3	0.0	1.9
	豊洲地区		247	38.5	42.9	9.3	0.0	5.7
	小松橋地区		90	25.6	51.1	10.0	1.1	6.7
	東陽地区		101	38.6	47.5	5.0	1.0	6.9
	亀戸地区		143	34.3	44.8	12.6	0.7	2.8
	大島地区		135	33.3	43.7	14.8	2.2	3.7
	砂町地区		142	35.9	42.3	12.0	2.8	2.8
	南砂地区		101	36.6	40.6	13.9	0.0	6.9

問 15 お住まいの地域にお互いに助けあうような「地域のつながり」を感じますか。(○は1つ)

- 住まいの地域の「つながり」(問 15)について、「あまり感じない」が38.3%と最も高く、次いで「少し感じる」が32.7%、「まったく感じない」が10.4%となっています。



- つながりを感じる割合(「とても感じる」+「少し感じる」の合計)は42.6%、つながりを感じない割合(「あまり感じない」+「まったく感じない」の合計)は48.7%となっています。



■属性別の主な傾向

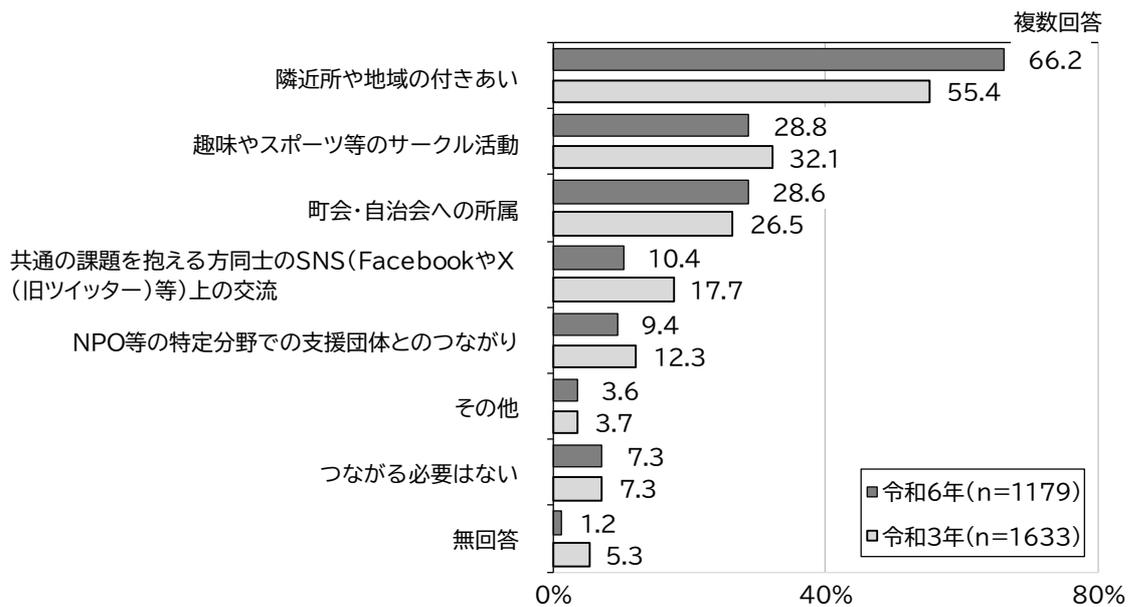
- 多くの属性で「あまり感じない」が高くなっています。
- 「少し感じる」は65～69歳、75歳以上、白河地区、富岡地区、小松橋地区で高くなっています。
- 性別その他では「少し感じる」と「まったく感じない」がどちらも高くなっています。
- 「とても感じる」は80歳以上が20%台であり、ほかの属性と比べると高くなっています。

数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

	%	合計(n)	とても感じる	少し感じる	あまり感じない	まったく感じない	どちらともいえない
性別（自認）	男性	476	11.3	29.8	36.6	12.6	6.5
	女性	689	8.9	34.7	39.8	8.7	4.2
	その他	8	0.0	37.5	25.0	37.5	0.0
年齢	18～19歳	9	0.0	33.3	44.4	22.2	0.0
	20～24歳	35	5.7	22.9	57.1	8.6	5.7
	25～29歳	55	7.3	27.3	41.8	18.2	3.6
	30～34歳	71	1.4	25.4	53.5	15.5	2.8
	35～39歳	77	3.9	31.2	39.0	16.9	6.5
	40～44歳	100	8.0	35.0	43.0	9.0	4.0
	45～49歳	124	8.9	34.7	37.1	13.7	3.2
	50～54歳	121	5.0	35.5	38.8	11.6	5.0
	55～59歳	108	10.2	33.3	40.7	10.2	4.6
	60～64歳	84	8.3	29.8	45.2	9.5	6.0
	65～69歳	79	13.9	40.5	29.1	7.6	5.1
	70～74歳	109	9.2	29.4	36.7	9.2	5.5
	75～79歳	88	10.2	37.5	35.2	5.7	4.5
80歳以上	116	29.3	31.9	20.7	3.4	9.5	
居住地区	白河地区	113	15.0	33.6	31.0	9.7	5.3
	富岡地区	106	13.2	40.6	34.9	5.7	4.7
	豊洲地区	247	5.3	29.1	42.5	13.4	5.7
	小松橋地区	90	12.2	36.7	33.3	7.8	4.4
	東陽地区	101	8.9	36.6	39.6	6.9	6.9
	亀戸地区	143	14.0	29.4	39.9	9.8	2.8
	大島地区	135	7.4	31.9	41.5	11.9	5.2
	砂町地区	142	7.7	35.2	35.9	12.0	4.9
	南砂地区	101	11.9	27.7	40.6	11.9	5.9

問 16 これからの住民同士の「つながり」について、どのようなことが重要だと思いますか。
 (〇はいくつでも)

- 住民同士のつながりづくりに重要なこと（問 16）について、「隣近所や地域の付き合い」が 66.2%と最も高く、次いで「趣味やスポーツ等のサークル活動」が 28.8%、「町会・自治会への所属」が 28.6%となっています。
- 令和 3 年から変化がみられた項目（標本誤差を考慮して 5 ポイント以上の差）は、「隣近所や地域の付き合い」が 10.8 ポイント上昇、「共通の課題を抱える方同士の SNS（Facebook や X（旧ツイッター）等）上の交流」が 7.3 ポイント低下しました。



■属性別の主な傾向

- 全ての属性で「隣近所や地域の付き合い」が高くなっています。
- 「つながる必要はない」は 18～19 歳、25～29 歳が 20%台であり、ほかの属性と比べると若干高くなっています。

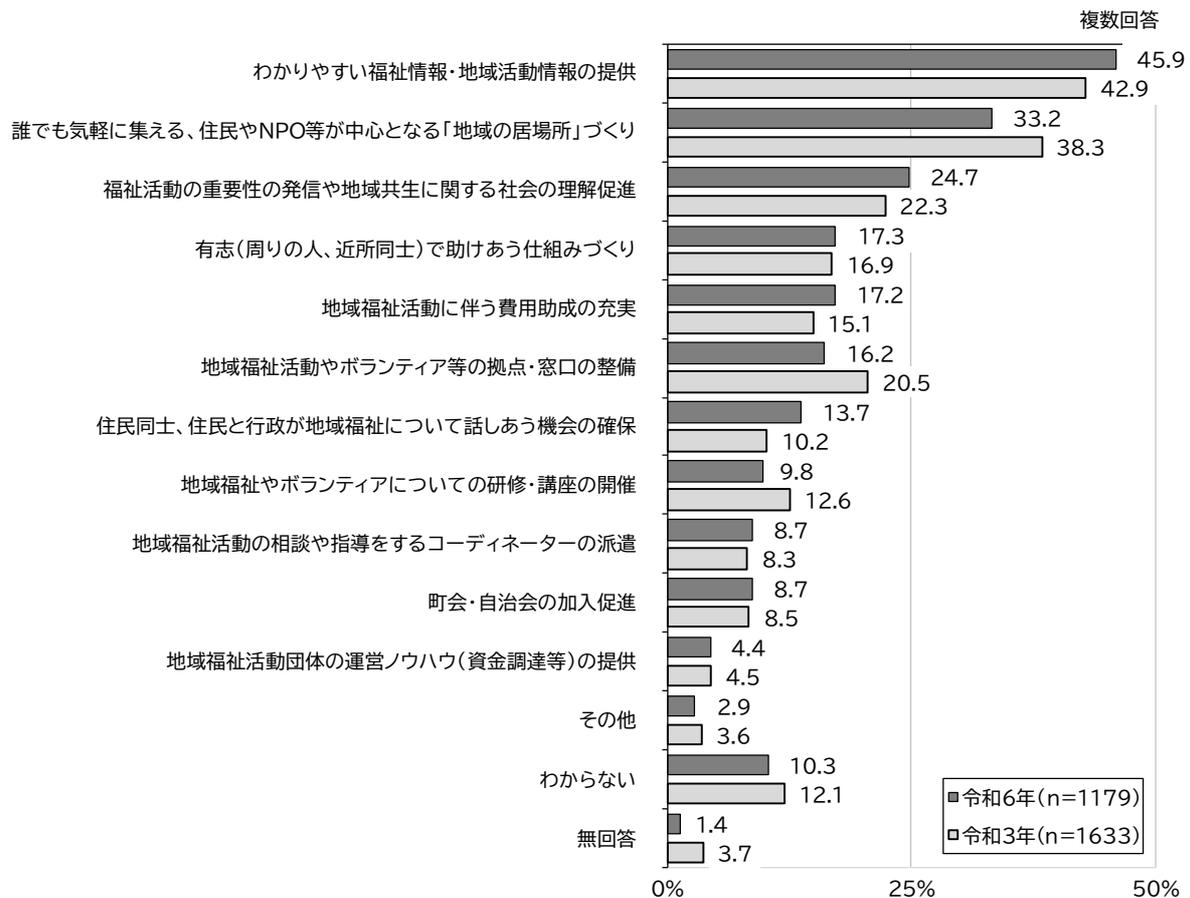
(データは次ページ参照)

数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

%	合計(n)	町会・自治会への所属	隣近所や地域の付き合い	趣味やスポーツ等のサークル活動	共通の課題を抱える方同士のSNS (FacebookやX (旧Twitter)等) 上の交流	NPO等の特定分野での支援団体とのつながり	その他	つながる必要はない
男性	476	26.7	64.3	27.7	11.3	8.0	5.0	9.7
女性	689	29.8	67.8	29.5	9.7	10.2	2.6	5.8
その他	8	25.0	62.5	37.5	12.5	25.0	12.5	0.0
18～19歳	9	22.2	66.7	11.1	0.0	11.1	0.0	22.2
20～24歳	35	22.9	54.3	34.3	20.0	8.6	2.9	14.3
25～29歳	55	18.2	56.4	27.3	12.7	9.1	1.8	20.0
30～34歳	71	23.9	64.8	29.6	16.9	5.6	4.2	16.9
35～39歳	77	14.3	66.2	28.6	13.0	7.8	7.8	7.8
40～44歳	100	15.0	73.0	25.0	15.0	12.0	3.0	7.0
45～49歳	124	19.4	66.9	25.0	15.3	15.3	1.6	8.1
50～54歳	121	20.7	67.8	21.5	9.1	11.6	3.3	9.9
55～59歳	108	23.1	64.8	34.3	14.8	13.9	3.7	3.7
60～64歳	84	29.8	72.6	28.6	9.5	9.5	8.3	2.4
65～69歳	79	45.6	65.8	36.7	5.1	7.6	1.3	3.8
70～74歳	109	34.9	62.4	34.9	6.4	9.2	3.7	3.7
75～79歳	88	45.5	69.3	29.5	2.3	4.5	3.4	6.8
80歳以上	116	52.6	64.7	27.6	4.3	3.4	3.4	1.7
白河地区	113	26.5	74.3	26.5	8.8	9.7	4.4	6.2
富岡地区	106	34.9	76.4	29.2	12.3	10.4	2.8	3.8
豊洲地区	247	26.3	59.5	30.0	13.8	13.4	3.2	8.1
小松橋地区	90	32.2	58.9	22.2	6.7	5.6	0.0	12.2
東陽地区	101	24.8	71.3	31.7	10.9	6.9	1.0	5.9
亀戸地区	143	22.4	60.1	35.7	11.2	9.8	4.2	5.6
大島地区	135	28.9	68.1	24.4	11.1	5.9	5.9	8.1
砂町地区	142	29.6	69.0	29.6	8.5	11.3	3.5	10.6
南砂地区	101	37.6	66.3	26.7	5.9	5.9	6.9	4.0

問 17 住民同士の助けあいを地域で広げるために、区が力を入れて取り組むべきことは何だと思えますか。（〇は3つまで）

- 住民同士の助けあいを広げるための区取組（問 17）について、「わかりやすい福祉情報・地域活動情報の提供」が45.9%と最も高く、次いで「誰でも気軽に集える、住民やNPO等が中心となる「地域の居場所」づくり」が33.2%、「福祉活動の重要性の発信や地域共生に関する社会の理解促進」が24.7%となっています。
- 令和3年から変化がみられた項目（標本誤差を考慮して5ポイント以上の差）は、「誰でも気軽に集える、住民やNPO等が中心となる「地域の居場所」づくり」が5.1ポイント低下しました。



■属性別の主な傾向

- 多くの属性で「わかりやすい福祉情報・地域活動情報の提供」が高くなっています。
- 「わからない」は18～19歳で40%台と高くなっています。

（データは次ページ参照）

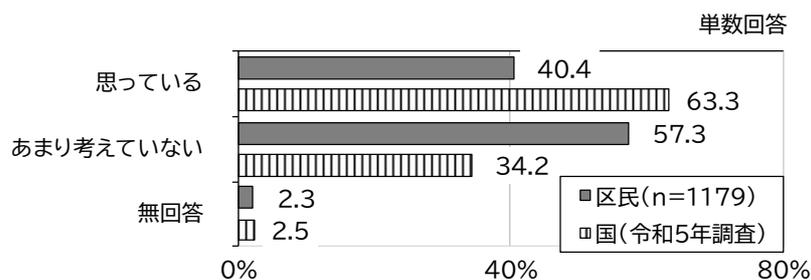
数値は%、網掛けは各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

性別 (自認)	%	合計(n)	福祉活動の重要性の発信や地域共生に関する社会の理解促進	住民同士、住民と行政が地域福祉について話しあう機会の確保	誰でも気軽に集える、住民やNPO等が中心となる「地域の居場所」づくり	地域福祉やボランティアについての研修・講座の開催	わかりやすい福祉情報・地域活動情報の提供	地域福祉活動団体の運営ノウハウ(資金調達等)の提供	地域福祉活動の相談や指導をするコーディネーターの派遣	地域福祉活動やボランティア等の拠点・窓口の整備	地域福祉活動に伴う費用助成の充実	町会・自治会の加入促進	有志(周りの人、近所同士)で助けあう仕組みづくり	その他	わからない	
																男性
年齢	18~19歳	9	22.2	11.1	33.3	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	44.4
	20~24歳	35	31.4	8.6	28.6	2.9	37.1	5.7	5.7	14.3	8.6	8.6	22.9	8.6	8.6	14.3
	25~29歳	55	27.3	10.9	29.1	10.9	61.8	0.0	3.6	9.1	9.1	7.3	12.7	7.3	1.8	16.4
	30~34歳	71	25.4	11.3	26.8	7.0	33.8	7.0	4.2	14.1	14.1	8.5	11.3	8.5	4.2	14.1
	35~39歳	77	19.5	7.8	36.4	6.5	33.8	7.8	11.7	14.3	20.8	5.2	18.2	5.2	7.8	13.0
	40~44歳	100	19.0	8.0	37.0	13.0	43.0	5.0	7.0	14.0	16.0	6.0	17.0	6.0	3.0	14.0
	45~49歳	124	28.2	13.7	31.5	16.1	46.0	8.1	7.3	17.7	19.4	7.3	21.0	7.3	2.4	7.3
	50~54歳	121	23.1	11.6	29.8	10.7	43.8	6.6	12.4	21.5	14.0	1.7	20.7	1.7	0.8	11.6
	55~59歳	108	30.6	15.7	36.1	5.6	47.2	1.9	12.0	26.9	23.1	5.6	10.2	5.6	2.8	7.4
	60~64歳	84	19.0	11.9	33.3	20.2	54.8	6.0	14.3	14.3	20.2	6.0	22.6	6.0	4.8	7.1
	65~69歳	79	29.1	17.7	32.9	11.4	51.9	2.5	7.6	22.8	13.9	12.7	13.9	12.7	2.5	2.5
	70~74歳	109	22.9	11.9	42.2	9.2	50.5	3.7	9.2	15.6	17.4	11.0	18.3	11.0	1.8	10.1
	75~79歳	88	25.0	20.5	31.8	6.8	47.7	0.0	5.7	14.8	20.5	15.9	17.0	15.9	1.1	8.0
80歳以上	116	25.0	22.4	31.0	3.4	45.7	1.7	8.6	6.9	18.1	19.0	18.1	19.0	1.7	9.5	
居住地区	白河地区	113	23.9	11.5	26.5	13.3	48.7	5.3	13.3	16.8	20.4	13.3	22.1	13.3	2.7	10.6
	富岡地区	106	26.4	20.8	37.7	11.3	41.5	0.9	7.5	17.0	19.8	14.2	14.2	14.2	4.7	8.5
	豊洲地区	247	23.1	13.4	37.7	10.9	46.6	3.2	6.9	19.0	15.8	6.9	18.6	6.9	1.2	8.9
	小松橋地区	90	25.6	12.2	31.1	12.2	31.1	3.3	7.8	11.1	12.2	4.4	14.4	4.4	3.3	17.8
	東陽地区	101	34.7	17.8	34.7	12.9	50.5	5.0	7.9	15.8	18.8	10.9	12.9	10.9	3.0	8.9
	亀戸地区	143	24.5	7.0	32.2	4.9	46.2	4.9	7.7	14.7	19.6	9.8	15.4	9.8	3.5	6.3
	大島地区	135	22.2	9.6	29.6	6.7	47.4	5.9	6.7	14.8	14.8	5.9	17.0	5.9	2.2	12.6
	砂町地区	142	23.2	18.3	35.2	10.6	47.2	4.9	12.7	14.1	16.2	7.0	20.4	7.0	3.5	10.6
	南砂地区	101	22.8	15.8	28.7	5.9	50.5	6.9	9.9	19.8	18.8	8.9	17.8	8.9	4.0	10.9

3 地域活動について

問 18 あなたは、日頃、地域の一員として、何か地域のために役立ちたいと思っていますか。それとも、あまりそのようなことは考えていませんか。（○は1つ）

- 地域貢献の意欲（問 18）について、「あまり考えていない」が 57.3%と最も高く、次いで「思っている」が 40.4%となっています。
- 国の「社会意識に関する世論調査／令和 5 年 11 月調査」（問 4）の東京都区部の数値と比較すると、「思っている」が区部より 22.9 ポイント低くなっています。



※国の調査結果は「東京都区部」の数値

■属性別の主な傾向

- 多くの属性で「あまり考えていない」が高く、その中で性別その他、20代～40台前半は60%～70%台であり、ほかの属性に比べて特に高くなっています。
- 「思っている」は60代、富岡地区で高いものの、割合は「あまり考えていない」と拮抗しています。

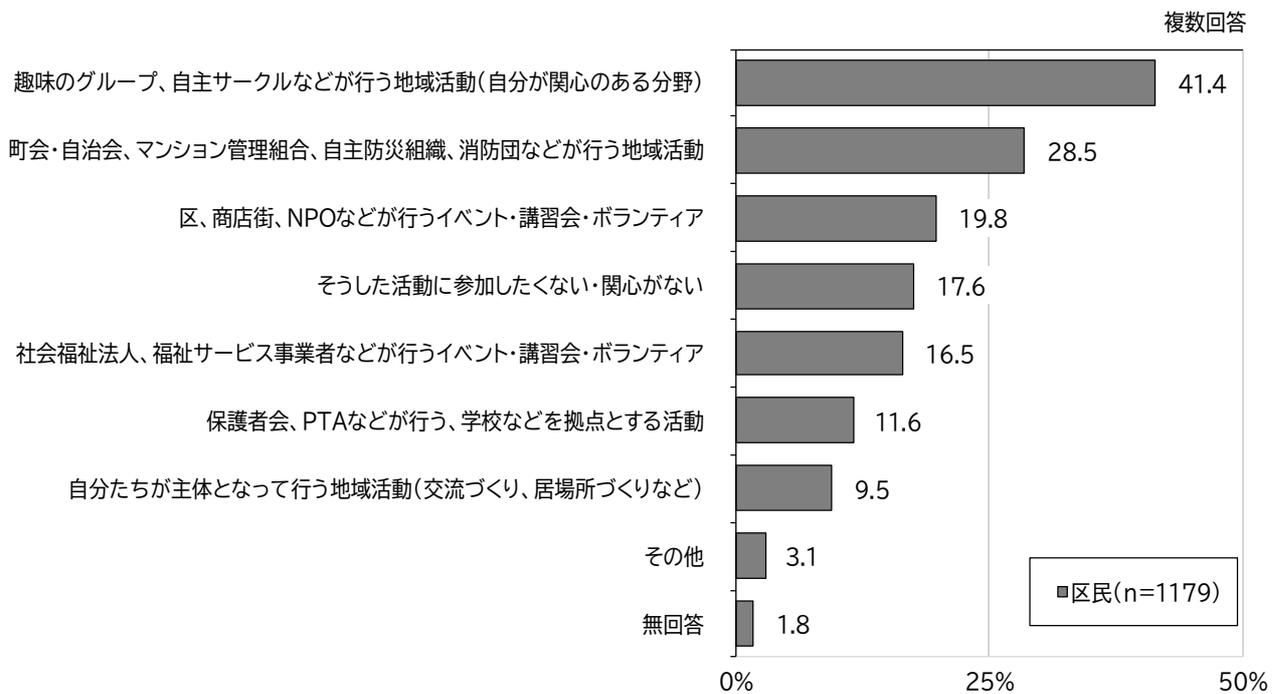
（データは次ページ参照）

数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

		%	合計(n)	思っている	あまり考えていない
性別（自認）	男性		476	42.4	55.0
	女性		689	38.9	58.9
	その他		8	25.0	75.0
年齢	18～19歳		9	44.4	55.6
	20～24歳		35	34.3	62.9
	25～29歳		55	23.6	76.4
	30～34歳		71	28.2	71.8
	35～39歳		77	31.2	67.5
	40～44歳		100	37.0	63.0
	45～49歳		124	46.0	54.0
	50～54歳		121	32.2	66.1
	55～59歳		108	45.4	53.7
	60～64歳		84	48.8	48.8
	65～69歳		79	50.6	48.1
	70～74歳		109	45.9	49.5
	75～79歳		88	44.3	52.3
	80歳以上		116	44.0	46.6
居住地区	白河地区		113	43.4	56.6
	富岡地区		106	49.1	48.1
	豊洲地区		247	42.9	55.1
	小松橋地区		90	37.8	56.7
	東陽地区		101	40.6	59.4
	亀戸地区		143	37.1	59.4
	大島地区		135	28.9	67.4
	砂町地区		142	43.0	55.6
	南砂地区		101	40.6	57.4

問 19 あなたが地域に参加するとしたら、どのような活動に参加したいですか。（現在の活動や地域の状況に関係なく、お答えください）（〇はいくつでも）

- 参加したい地域活動の種類（問 19）について、「趣味のグループ、自主サークルなどが行う地域活動（自分が関心のある分野）」が 41.4%と最も高く、次いで「町会・自治会、マンション管理組合、自主防災組織、消防団などが行う地域活動」が 28.5%、「区、商店街、NPOなどが行うイベント・講習会・ボランティア」が 19.8%となっています。



■属性別の主な傾向

- 多くの属性で「趣味のグループ、自主サークルなどが行う地域活動（自分が関心のある分野）」が高くなっています。
- 性別その他は「そうした活動に参加したくない・関心がない」が高くなっています。

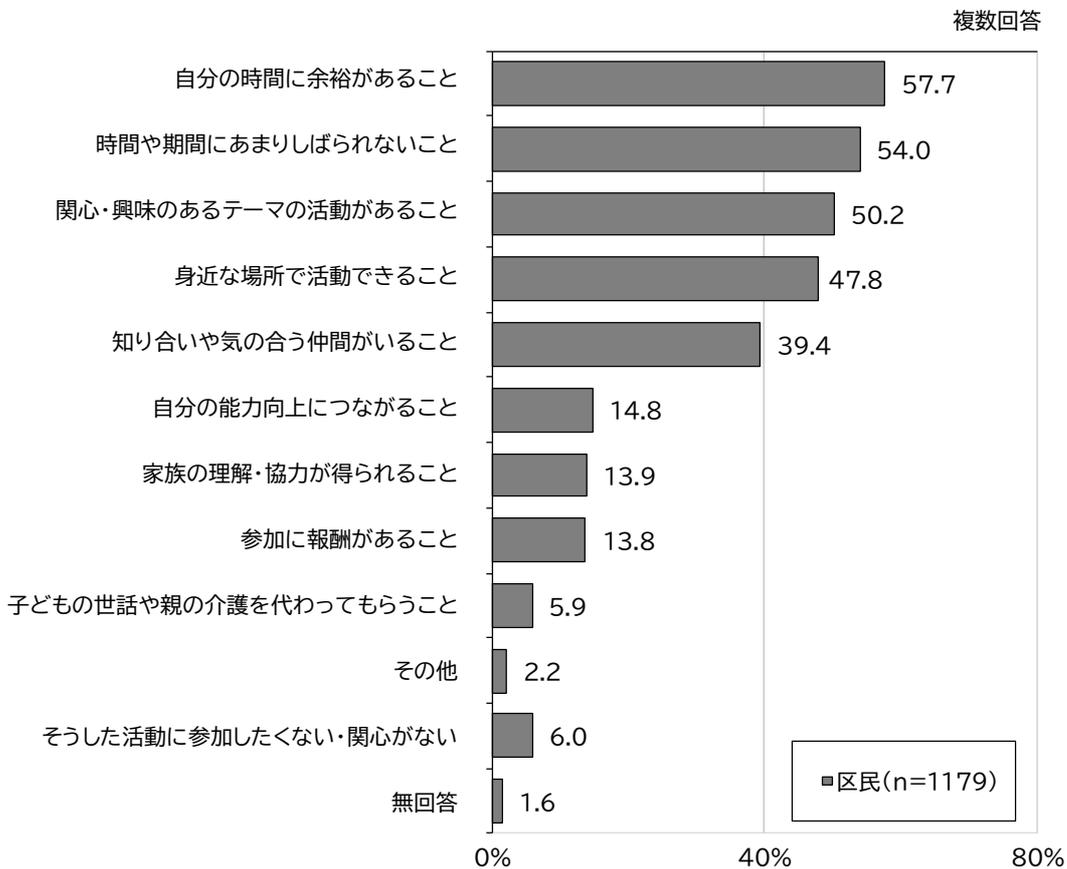
（データは次ページ参照）

数値は%、補註は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

%	合計(n)	町会・自治会、マンション管理組合、自主防災組織、消防団などが行う地域活動	保護者会、PTAなどが行う、学校などを拠点とする活動	社会福祉法人、福祉サービス事業者などが行うイベント・講習会・ボランテニア	趣味のグループ、自主サークルなどが行う地域活動(自分が関心のある分野)	区、商店街、NPOなどが行うイベント・講習会・ボランテニア	自分たちが主体となった地域活動(交流づくり、居場所づくりなど)	その他	そうした活動に参加したくない・関心がない
男性	476	34.0	7.6	14.1	38.4	17.0	8.4	4.2	20.4
女性	689	24.8	14.2	18.3	43.7	21.8	9.7	2.2	15.4
その他	8	12.5	25.0	12.5	25.0	25.0	25.0	12.5	37.5
18～19歳	9	11.1	0.0	22.2	22.2	33.3	11.1	11.1	22.2
20～24歳	35	14.3	11.4	8.6	40.0	28.6	5.7	2.9	25.7
25～29歳	55	10.9	10.9	20.0	41.8	18.2	10.9	3.6	25.5
30～34歳	71	22.5	12.7	12.7	46.5	22.5	9.9	1.4	21.1
35～39歳	77	20.8	28.6	7.8	42.9	18.2	9.1	3.9	14.3
40～44歳	100	22.0	29.0	14.0	38.0	25.0	9.0	1.0	19.0
45～49歳	124	31.5	21.0	16.1	37.1	29.0	13.7	0.8	16.9
50～54歳	121	25.6	13.2	15.7	35.5	27.3	5.0	4.1	18.2
55～59歳	108	26.9	10.2	22.2	39.8	24.1	8.3	1.9	15.7
60～64歳	84	31.0	1.2	20.2	44.0	20.2	11.9	4.8	16.7
65～69歳	79	36.7	7.6	22.8	41.8	15.2	7.6	1.3	16.5
70～74歳	109	33.0	1.8	21.1	53.2	11.9	9.2	0.9	17.4
75～79歳	88	36.4	3.4	17.0	38.6	10.2	13.6	4.5	18.2
80歳以上	116	41.4	0.9	12.1	44.0	8.6	8.6	7.8	12.9
白河地区	113	27.4	14.2	18.6	43.4	30.1	14.2	2.7	12.4
富岡地区	106	33.0	11.3	24.5	40.6	25.5	13.2	0.9	10.4
豊洲地区	247	29.1	14.2	18.6	40.1	22.3	8.1	2.4	18.2
小松橋地区	90	25.6	11.1	10.0	40.0	16.7	6.7	1.1	17.8
東陽地区	101	28.7	9.9	16.8	43.6	17.8	9.9	4.0	17.8
亀戸地区	143	25.2	9.1	9.1	46.2	16.8	10.5	4.2	16.1
大島地区	135	25.2	7.4	11.1	37.0	19.3	5.9	2.2	24.4
砂町地区	142	30.3	14.1	19.7	38.7	16.9	7.7	4.9	21.1
南砂地区	101	32.7	10.9	19.8	45.5	10.9	11.9	5.0	16.8

問 20 あなたは、どのような条件が整うと地域活動に参加しやすいですか。
 (現在の活動や地域の状況に関係なく、お答えください) (〇はいくつでも)

- 地域活動の参加条件(問 20)について、「自分の時間に余裕があること」が 57.7%と最も高く、次いで「時間や期間にあまりしぼられないこと」が 54.0%、「関心・興味のあるテーマの活動があること」が 50.2%となっています。



■属性別の主な傾向

- 多くの属性で「自分の時間に余裕があること」もしくは「時間や期間にあまりしぼられないこと」が高くなっています。
- それ以外の項目では、18～19 歳、20～24 歳、80 歳以上、東陽地区で「関心・興味のあるテーマの活動があること」が高くなっています。

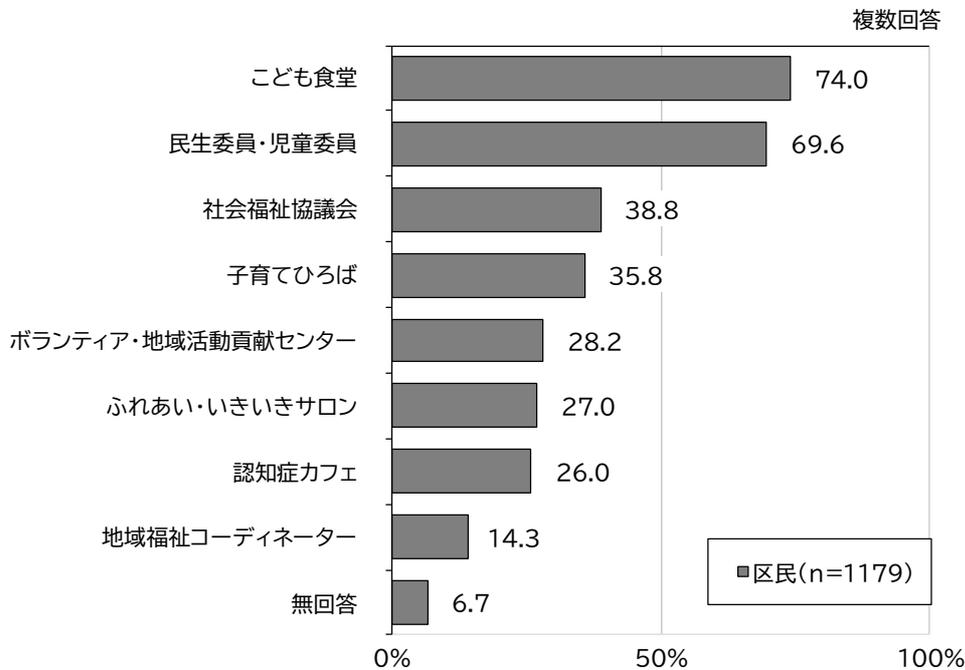
(データは次ページ参照)

数値は%、補率は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

%	性別(自認)	合計(n)	自分の時間に余裕があること	時間や期間にあまりしぼられないこと	関心・興味のあるテーマの活動があること	知り合いや気の合う仲間がいること	身近な場所で活動できるところ	家族の理解・協力が得られること	子どもや親の介護を代わってもらうこと	自分の能力向上につながる	参加に報酬があること	その他	そうした活動に参加したくない・関心がない
	男性	476	54.0	51.1	45.8	34.2	42.9	14.5	4.4	12.0	13.0	2.1	7.8
	女性	689	60.2	56.3	53.8	43.1	51.7	13.4	6.2	16.7	14.1	2.3	4.5
	その他	8	75.0	62.5	12.5	25.0	12.5	25.0	50.0	12.5	50.0	0.0	12.5
年齢	18~19歳	9	55.6	44.4	77.8	55.6	33.3	11.1	0.0	33.3	22.2	0.0	0.0
	20~24歳	35	54.3	42.9	57.1	45.7	42.9	11.4	0.0	28.6	34.3	0.0	2.9
	25~29歳	55	56.4	41.8	54.5	40.0	40.0	9.1	3.6	27.3	23.6	1.8	3.6
	30~34歳	71	70.4	54.9	60.6	35.2	45.1	9.9	8.5	18.3	29.6	1.4	2.8
	35~39歳	77	72.7	61.0	53.2	42.9	53.2	16.9	15.6	13.0	24.7	3.9	3.9
	40~44歳	100	73.0	57.0	53.0	46.0	51.0	23.0	18.0	15.0	17.0	1.0	5.0
	45~49歳	124	66.1	66.1	53.2	37.1	49.2	24.2	6.5	17.7	15.3	0.8	4.8
	50~54歳	121	58.7	49.6	53.7	33.9	43.0	17.4	6.6	14.9	10.7	0.8	5.0
	55~59歳	108	69.4	60.2	51.9	34.3	52.8	13.9	1.9	13.0	12.0	2.8	3.7
	60~64歳	84	58.3	60.7	48.8	41.7	54.8	10.7	6.0	20.2	17.9	3.6	9.5
	65~69歳	79	53.2	55.7	44.3	40.5	53.2	12.7	1.3	5.1	8.9	1.3	7.6
	70~74歳	109	47.7	61.5	50.5	43.1	53.2	11.0	1.8	8.3	5.5	1.8	8.3
	75~79歳	88	37.5	46.6	36.4	40.9	44.3	8.0	2.3	6.8	4.5	4.5	11.4
80歳以上	116	35.3	35.3	40.5	36.2	37.9	6.0	2.6	15.5	1.7	4.3	7.8	
居住地区	白河地区	113	56.6	58.4	54.0	45.1	46.0	11.5	3.5	13.3	10.6	4.4	3.5
	富岡地区	106	58.5	56.6	51.9	42.5	52.8	14.2	3.8	12.3	12.3	3.8	2.8
	豊洲地区	247	62.3	57.1	51.0	34.4	51.0	15.8	7.3	19.0	15.4	1.6	5.7
	小松橋地区	90	56.7	43.3	43.3	37.8	38.9	8.9	5.6	15.6	10.0	0.0	12.2
	東陽地区	101	58.4	48.5	62.4	46.5	54.5	14.9	5.0	7.9	16.8	0.0	6.9
	亀戸地区	143	55.2	49.7	46.2	39.9	42.7	14.0	5.6	15.4	14.0	2.1	4.2
	大島地区	135	51.1	51.9	44.4	30.4	43.7	12.6	3.7	16.3	14.8	3.7	7.4
	砂町地区	142	57.0	58.5	52.8	38.7	48.6	16.2	8.5	15.5	12.7	0.7	6.3
	南砂地区	101	59.4	57.4	45.5	48.5	49.5	13.9	7.9	10.9	14.9	4.0	6.9

問 21 下記の地域福祉に関する活動や組織について、聞いたことがあるものをお答えください。
 (〇はいくつでも)

- 地域福祉活動の認知(問 21)について、「こども食堂」が 74.0%と最も高く、次いで「民生委員・児童委員」が 69.6%、「社会福祉協議会」が 38.8%となっています。



■属性別の主な傾向

- 全ての属性で「民生委員・児童委員」もしくは「こども食堂」が高くなっています。
- それ以外の項目で認知度が 50%を超える活動は、18～19 歳で「ふれあい・いきいきサロン」、20～24 歳で「ボランティア・地域活動貢献センター」、性別その他、30 代、40 代で「子育てひろば」、60～64 歳で「社会福祉協議会」となっています。

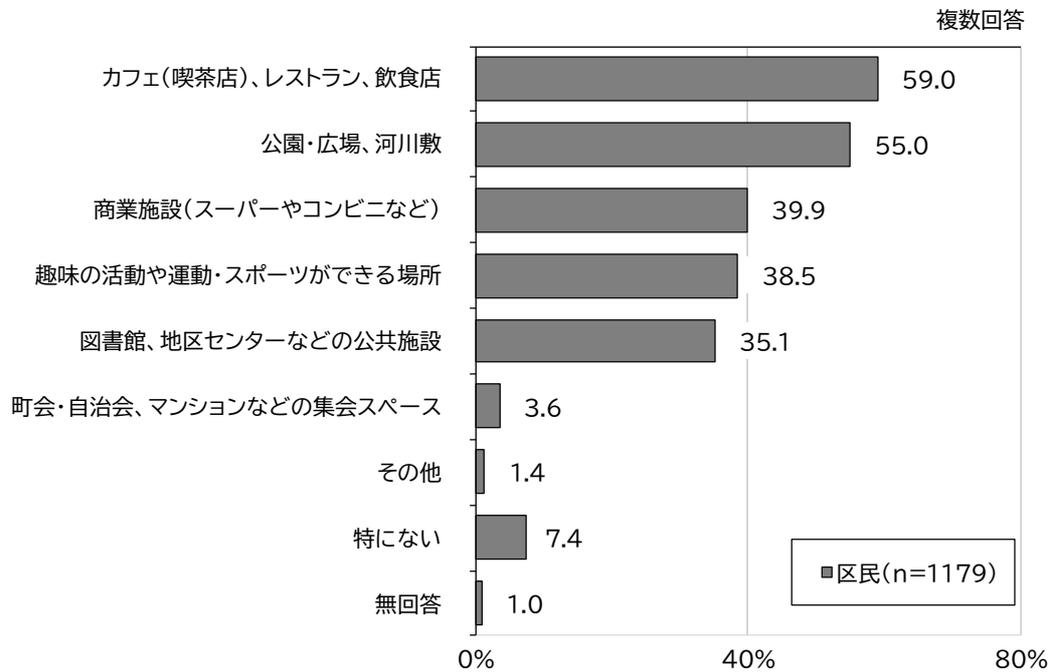
(データは次ページ参照)

数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

%		合計(n)	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	地域福祉コーディネーター	ボランティア・地域活動貢献センター	子育てひろば	ふれあい・いきいきサロン	認知症カフェ	こども食堂
性別(自認)	男性	476	67.4	39.1	14.7	29.2	25.2	19.7	16.4	64.5
	女性	689	71.6	39.0	14.4	27.9	43.1	31.8	32.9	80.7
年齢	その他	8	50.0	37.5	0.0	12.5	50.0	37.5	0.0	87.5
	18～19歳	9	55.6	33.3	33.3	33.3	44.4	55.6	11.1	66.7
	20～24歳	35	37.1	34.3	25.7	57.1	22.9	28.6	8.6	74.3
	25～29歳	55	30.9	25.5	16.4	38.2	30.9	14.5	3.6	65.5
	30～34歳	71	53.5	22.5	12.7	35.2	53.5	23.9	16.9	73.2
	35～39歳	77	48.1	29.9	15.6	27.3	55.8	29.9	15.6	74.0
	40～44歳	100	61.0	32.0	12.0	28.0	54.0	25.0	14.0	77.0
	45～49歳	124	71.0	30.6	17.7	30.6	53.2	25.0	22.6	83.9
	50～54歳	121	65.3	37.2	18.2	29.8	43.0	25.6	24.8	76.9
	55～59歳	108	85.2	47.2	19.4	37.0	32.4	27.8	35.2	88.0
	60～64歳	84	89.3	64.3	17.9	29.8	29.8	31.0	40.5	86.9
	65～69歳	79	89.9	45.6	8.9	17.7	35.4	27.8	41.8	82.3
	70～74歳	109	79.8	45.9	10.1	23.9	19.3	26.6	37.6	78.9
	75～79歳	88	78.4	38.6	12.5	22.7	25.0	34.1	31.8	61.4
	80歳以上	116	74.1	42.2	5.2	13.8	6.9	26.7	25.9	41.4
居住地区	白河地区	113	76.1	38.1	18.6	31.0	29.2	16.8	19.5	75.2
	富岡地区	106	76.4	43.4	16.0	37.7	33.0	25.5	26.4	75.5
	豊洲地区	247	65.2	38.1	12.6	28.7	39.3	26.3	25.5	74.9
	小松橋地区	90	70.0	28.9	8.9	30.0	31.1	24.4	27.8	75.6
	東陽地区	101	63.4	37.6	11.9	30.7	42.6	29.7	24.8	72.3
	亀戸地区	143	71.3	35.0	14.0	24.5	31.5	27.3	25.9	69.9
	大島地区	135	67.4	38.5	13.3	22.2	31.9	23.7	26.7	69.6
	砂町地区	142	70.4	45.1	14.8	31.0	39.4	36.6	32.4	77.5
	南砂地区	101	71.3	44.6	20.8	19.8	40.6	31.7	24.8	76.2

問 22 あなたが自宅以外で過ごしたい身近な場所はどこですか。（〇はいくつでも）

- 自宅以外で過ごしたい身近な場所（問 22）について、「カフェ（喫茶店）、レストラン、飲食店」が 59.0%と最も高く、次いで「公園・広場、河川敷」が 55.0%、「商業施設（スーパーやコンビニなど）」が 39.9%となっています。



■属性別の主な傾向

- 多くの属性で「公園・広場、河川敷」もしくは「カフェ（喫茶店）、レストラン、飲食店」が高くなっています。
- 60～64 歳では「趣味の活動や運動・スポーツができる場所」が高くとなっています。
- 「特にない」は 65 歳以上が 10%台であり、ほかの属性と比べると若干高くなっています。

（データは次ページ参照）

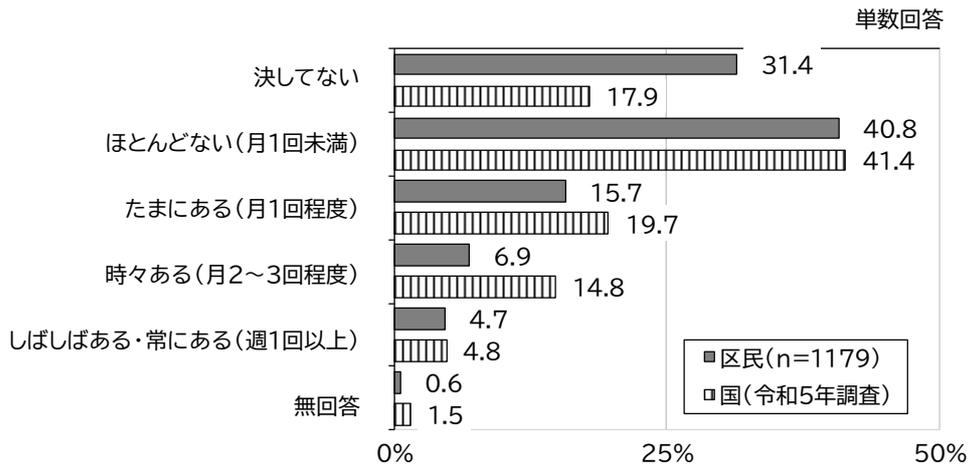
数値は%、網掛けは各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

性別(自認)	%	合計(n)	公園・広場、 河川敷	カフェ(喫茶店)、レストラン、飲食店	商業施設 (スーパーやコンビニなど)	町会・自治会、マンションなどの集会所	図書館、地区センターなどの公共施設	趣味の活動や運動・スポーツができる場所	その他	特になし
女性	52.4	689	64.0	43.7	3.8	37.6	38.3	1.2	7.0	
その他	62.5	8	75.0	37.5	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0	
年齢	55.6	9	55.6	22.2	0.0	33.3	44.4	0.0	0.0	
18~19歳	57.1	35	82.9	48.6	0.0	28.6	51.4	0.0	2.9	
20~24歳	50.9	55	72.7	52.7	3.6	27.3	32.7	0.0	1.8	
25~29歳	64.8	71	84.5	57.7	1.4	42.3	40.8	0.0	0.0	
30~34歳	67.5	77	84.4	49.4	1.3	35.1	31.2	1.3	5.2	
35~39歳	64.0	100	75.0	57.0	7.0	41.0	38.0	1.0	4.0	
40~44歳	57.3	124	71.8	47.6	2.4	31.5	33.1	0.0	3.2	
45~49歳	53.7	121	51.2	35.5	0.8	32.2	38.0	2.5	9.9	
50~54歳	47.2	108	65.7	44.4	0.0	27.8	38.9	2.8	9.3	
55~59歳	47.6	84	47.6	44.0	4.8	40.5	52.4	2.4	6.0	
60~64歳	58.2	79	44.3	31.6	2.5	35.4	43.0	1.3	11.4	
65~69歳	54.1	109	41.3	26.6	3.7	33.9	43.1	0.0	10.1	
70~74歳	59.1	88	48.9	23.9	10.2	39.8	36.4	1.1	11.4	
75~79歳	41.4	116	31.0	20.7	7.8	38.8	31.9	3.4	12.9	
80歳以上	56.6	113	60.2	34.5	2.7	26.5	38.1	0.0	8.8	
居住地	52.8	106	65.1	33.0	3.8	47.2	39.6	0.0	6.6	
白河地区	55.9	247	63.6	44.1	2.8	33.6	40.1	1.2	7.7	
富岡地区	57.8	90	53.3	37.8	3.3	33.3	43.3	1.1	5.6	
豊洲地区	62.4	101	66.3	43.6	1.0	40.6	43.6	1.0	7.9	
小松橋地区	46.9	143	58.0	38.5	3.5	28.0	37.1	3.5	7.0	
東陽地区	53.3	135	51.9	37.8	3.7	34.8	31.1	2.2	7.4	
亀戸地区	56.3	142	50.0	41.5	6.3	40.1	35.9	2.1	9.2	
大島地区	54.5	101	61.4	44.6	5.9	35.6	40.6	0.0	5.0	
砂町地区										
南砂地区										

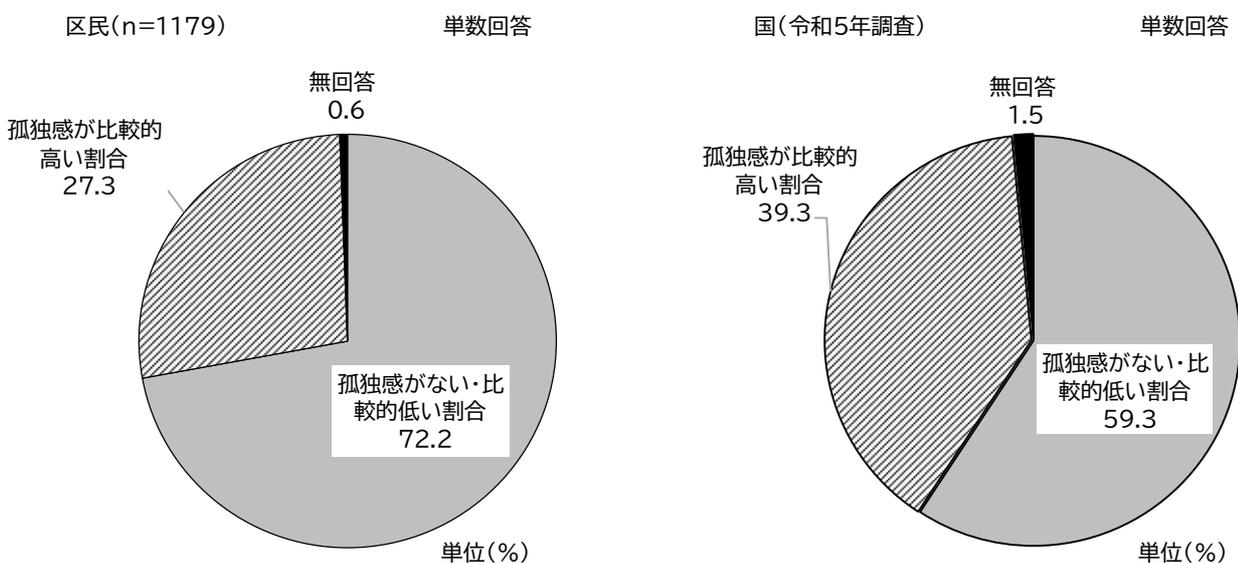
4 ふだんの暮らしについて

問 23 あなたは、日頃の生活の中で孤独であると感じることはありませんか。(○は1つ)

- 自分が孤独と感じるか(問 23)について、「ほとんどない(月1回未満)」が40.8%と最も高く、次いで「決してない」が31.4%、「たまにある(月1回程度)」が15.7%となっています。
- 参考に国の「孤独・孤立の実態把握に関する全国調査/令和5年実施(人々のつながりに関する基礎調査(16歳以上)問 24)」と比較すると、「決してない」が国より13.5ポイント高く、「時々ある」が国より7.9ポイント低くなっています。



- 孤独感がない・比較的低い割合(「決してない」+「ほとんどない(月1回未満)」の合計)は72.2%、孤独感が比較的高い割合(「たまにある(月1回程度)」+「時々ある(月2~3回程度)」+「しばしばある・常にある(週1回以上)」の合計)は27.3%です。
- 国の令和5年調査と比較すると、孤独感がない・比較的低い割合(「決してない」+「ほとんどない(月1回未満)」の合計)が国より12.9ポイント高くなっています。



■属性別の主な傾向

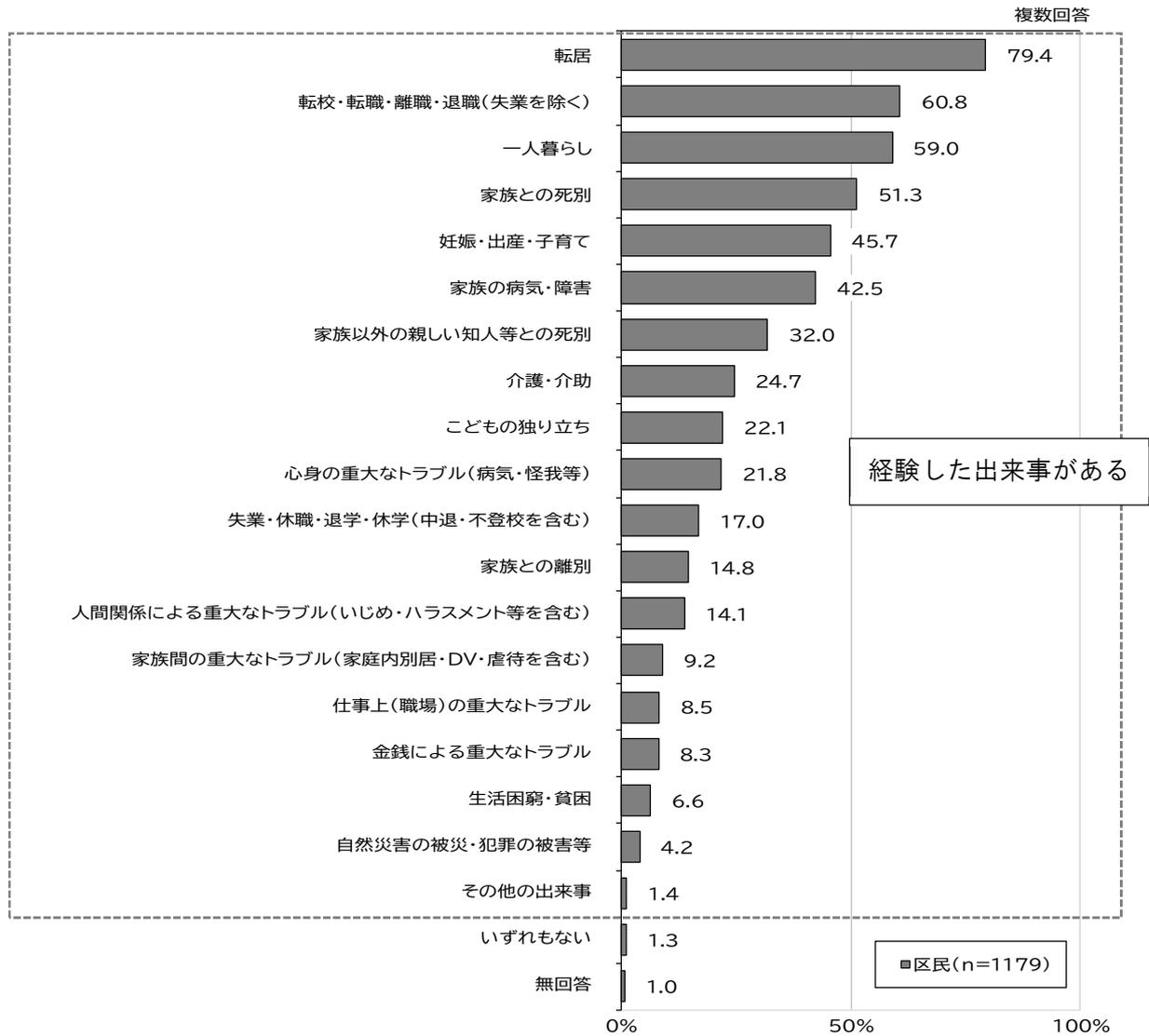
- 全ての属性で「ほとんどない（月1回未満）」が高くなっています。25～29歳、東陽地区では「決してない」も高くなっています。
- 「しばしばある・常にある（週1回以上）」は性別その他、18～19歳、20～24歳が10%台と他の割合に比べて高くなっています。

数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

		%	合計(n)	決してない	ほとんどない (月1回未満)	たまにある (月1回程度)	時々ある(月 2～3回程度)	しばしばある・常にある (週1回以上)
性別(自認)	男性		476	33.0	42.4	13.9	6.5	3.8
	女性		689	30.8	39.3	17.0	7.3	4.9
	その他		8	0.0	62.5	12.5	0.0	25.0
年齢	18～19歳		9	33.3	55.6	0.0	0.0	11.1
	20～24歳		35	22.9	34.3	11.4	14.3	17.1
	25～29歳		55	32.7	32.7	25.5	3.6	3.6
	30～34歳		71	32.4	39.4	18.3	7.0	2.8
	35～39歳		77	36.4	37.7	10.4	7.8	7.8
	40～44歳		100	37.0	38.0	17.0	4.0	4.0
	45～49歳		124	28.2	45.2	12.9	5.6	8.1
	50～54歳		121	36.4	41.3	11.6	4.1	6.6
	55～59歳		108	35.2	38.0	14.8	7.4	4.6
	60～64歳		84	28.6	47.6	13.1	8.3	2.4
	65～69歳		79	27.8	44.3	17.7	8.9	1.3
	70～74歳		109	23.9	46.8	20.2	5.5	0.9
	75～79歳		88	33.0	37.5	17.0	10.2	2.3
80歳以上		116	27.6	38.8	18.1	8.6	4.3	
居住地区	白河地区		113	30.1	39.8	14.2	8.8	7.1
	富岡地区		106	26.4	37.7	20.8	7.5	5.7
	豊洲地区		247	34.4	37.7	19.0	4.9	4.0
	小松橋地区		90	24.4	42.2	16.7	5.6	7.8
	東陽地区		101	36.6	36.6	14.9	9.9	2.0
	亀戸地区		143	26.6	47.6	13.3	6.3	6.3
	大島地区		135	33.3	44.4	12.6	3.7	5.2
	砂町地区		142	31.7	40.1	16.9	8.5	2.8
	南砂地区		101	35.6	42.6	9.9	8.9	2.0

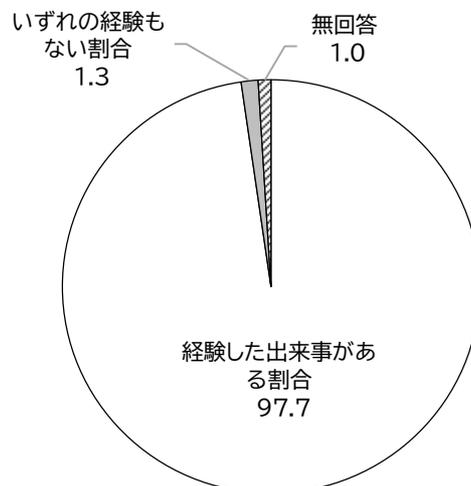
問 24 あなたがこれまでに経験した出来事をお答えください。(〇はいくつでも)

- これまで経験した出来事(問 24)について、「転居」が79.4%と最も高く、次いで「転校・転職・離職・退職(失業を除く)」が60.8%、「一人暮らし」が59%となっています。



- 経験した出来事がある割合(「いずれもない」「無回答」を除いた人数)は97.7%です。

区民(n=1179) 複数回答 単位(%)



■属性別の主な傾向

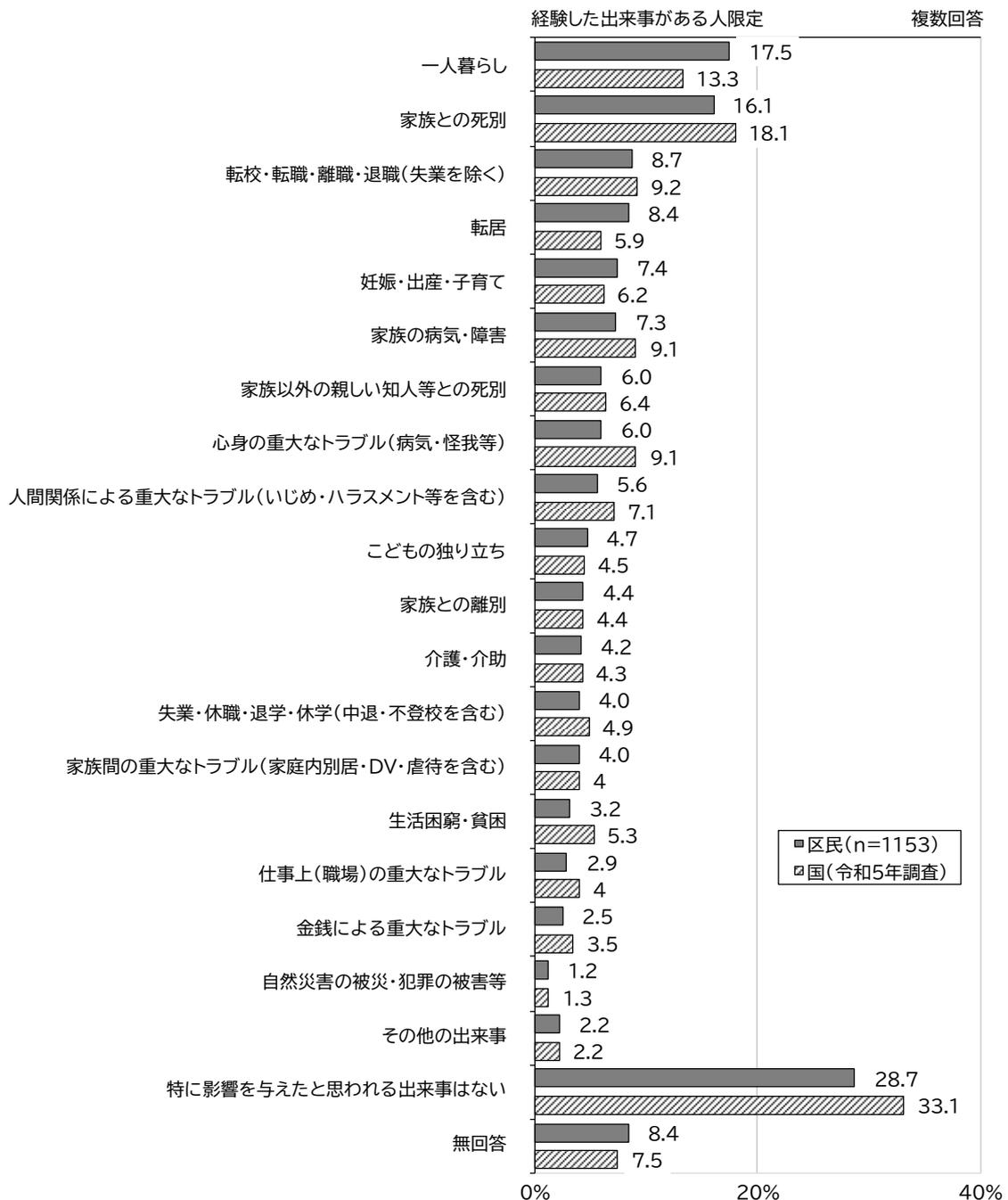
- 全ての属性で、経験した出来事がある（いずれかの経験あり）割合が高くとなっています。
- 「いずれもない」は18～19歳が20%台、20～24歳が10%台であり、ほかの属性と比べると若干高くなっています。

数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

	%	合計(n)	いずれかの経験あり	いずれもない
性別（自認）	男性	476	97.3	1.9
	女性	689	98.3	0.9
	その他	8	100.0	0.0
年齢	18～19歳	9	77.8	22.2
	20～24歳	35	85.7	14.3
	25～29歳	55	98.2	0.0
	30～34歳	71	98.6	0.0
	35～39歳	77	96.1	2.6
	40～44歳	100	98.0	2.0
	45～49歳	124	100.0	0.0
	50～54歳	121	100.0	0.0
	55～59歳	108	100.0	0.0
	60～64歳	84	100.0	0.0
	65～69歳	79	98.7	1.3
	70～74歳	109	97.2	0.9
	75～79歳	88	97.7	1.1
	80歳以上	116	94.8	0.0
	居住地区	白河地区	113	99.1
富岡地区		106	96.2	2.8
豊洲地区		247	98.8	0.8
小松橋地区		90	94.4	3.3
東陽地区		101	99.0	1.0
亀戸地区		143	95.8	1.4
大島地区		135	97.0	1.5
砂町地区		142	100.0	0.0
南砂地区		101	98.0	1.0

問 25 問 24 で「1」～「19」のいずれかに○を付けた（経験した出来事がある）方におたずねします。
現在の孤独感（問 23 で回答した状況）に強く影響を与えたと思われる出来事はどれですか。（○はいくつでも）

- （経験した出来事がある人）現在の孤独感に強く影響した出来事（問 25）について、「特に影響を与えたと思われる出来事はない」が 28.7% と最も高く、次いで「一人暮らし」が 17.5%、「家族との死別」が 16.1% となっています。
- 国の「孤独・孤立の実態把握に関する全国調査／令和 5 年実施（人々のつながりに関する基礎調査 問 26-1）」と比較しても著しい差がみられる項目はなく、概ね同様の傾向です。



■ 属性別の主な傾向

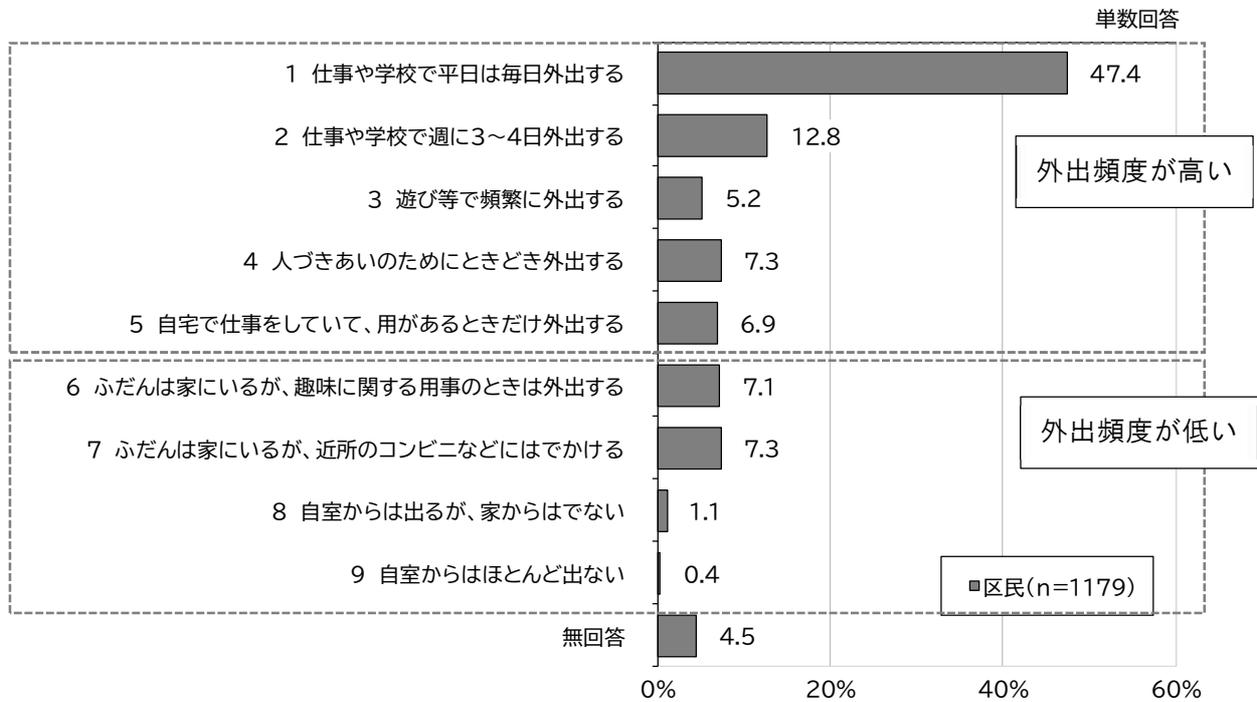
- 多くの属性で「特に影響を与えたと思われる出来事はない」が高くなっています。
- 現在の孤独感に強く影響した出来事として、20～24歳、25～29歳、30～34歳は「一人暮らし」、性別その他は「家族間の重大なトラブル（家庭内別居・DV・虐待を含む）」、75歳以上は「家族との死別」が高くなっています。

数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

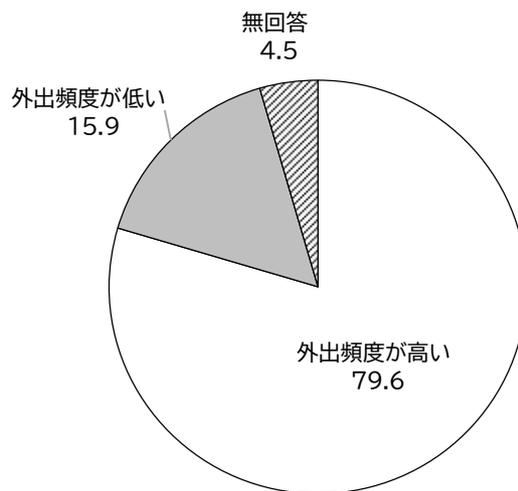
性別(自認)	属性	合計(n)	一人暮らし	同居	転居	転校・転塾・ 離職・退学 (失業を除く)	転校・転塾・ 退学・休学 (中退・不登校を含む)	妊娠・出産 子育て	介護・介助	こどもの孫り 立ち	家族の病状 障害	家族との別居 家族との別居	家族以外の親しい 知人等との死別	家族間の重大な トラブル (家庭内別居・DV・虐待を含む)	心身の重大な トラブル(病状・ 怪我・怪我等)	仕事上・職 場での重大な トラブル	人間関係によ る重大なトラ ブル(いじめ・ハラス メント等を含む)	金銭による重 大なトラブル	生活困窮・貧 困	自然災害の被害 等	その他の出来 事	特に影響を与 えたとされる 出来事はない	
																							数値
男性	463	20.5	6.3	9.9	5.4	1.9	3.0	3.2	6.0	3.5	14.3	7.6	2.6	4.8	4.1	3.3	2.6	4.3	1.3	1.7	34.3		
女性	677	15.5	9.7	7.7	2.8	1.1	4.9	5.5	8.0	5.0	17.7	5.0	4.6	6.5	2.1	7.1	2.5	2.4	1.2	2.4	25.3		
その他	8	12.5	25.0	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	37.5	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5		
18～19歳	7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	
20～24歳	30	37.0	3.3	10.0	0.0	0.0	6.7	6.7	3.3	10.0	3.3	10.0	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	3.3	25.3	
25～29歳	54	37.0	13.0	9.3	5.6	1.9	3.7	0.0	1.9	13.0	7.4	0.0	1.9	7.4	7.4	7.4	7.4	3.7	1.9	0.0	1.9	25.9	
30～34歳	70	38.6	7.1	15.7	1.4	15.7	0.0	0.0	2.9	2.9	7.1	1.4	2.9	5.7	1.4	4.3	1.4	2.9	0.0	0.0	1.4	31.4	
35～39歳	74	17.6	5.4	8.1	2.7	2.0	3.7	1.4	4.1	0.0	8.1	0.0	1.4	4.1	4.1	5.4	1.4	2.7	2.7	2.7	1.4	33.8	
40～44歳	98	15.3	11.2	8.2	7.1	17.3	0.0	0.0	3.1	10.0	8.2	2.0	4.1	6.1	4.1	8.2	3.1	3.1	2.0	2.0	2.0	37.8	
45～49歳	124	13.7	11.3	11.3	4.0	11.3	1.6	1.6	4.0	1.6	8.9	2.4	6.5	2.4	3.2	8.1	0.8	2.4	0.8	0.8	0.8	40.3	
50～54歳	121	11.6	8.3	10.7	5.0	5.8	2.3	5.0	6.6	6.6	13.2	3.3	4.1	3.3	1.7	4.1	4.1	6.6	0.8	0.8	1.7	38.8	
55～59歳	108	14.8	9.3	6.5	5.6	6.5	4.6	5.6	9.3	5.6	16.7	3.7	10.2	4.6	3.7	11.1	0.9	5.6	0.0	0.0	6.5	28.7	
60～64歳	84	14.3	10.7	10.7	3.6	3.6	11.9	13.1	6.0	7.1	19.0	6.0	3.6	3.6	4.8	6.0	4.8	1.2	1.2	1.2	2.4	28.2	
65～69歳	78	16.7	5.1	6.4	3.8	3.8	6.4	6.4	11.5	2.6	24.4	3.8	3.8	7.7	2.6	5.1	3.8	5.1	1.3	1.3	0.0	33.3	
70～74歳	106	7.5	3.8	2.8	2.8	2.8	6.6	6.6	7.5	14.2	1.9	23.6	9.4	3.8	12.3	3.8	1.9	2.8	1.9	0.0	1.9	25.5	
75～79歳	86	15.1	10.5	7.0	5.8	1.2	4.7	5.8	8.1	8.1	23.3	19.8	1.2	5.8	2.3	3.5	3.5	4.7	1.2	1.2	2.3	11.6	
80歳以上	110	20.0	8.2	9.1	1.8	7.3	9.1	12.7	5.5	33.6	15.5	1.8	10.9	0.0	0.9	1.8	1.8	1.8	2.7	2.7	0.0	16.4	
白身地区	112	21.4	7.1	8.9	3.6	8.0	2.7	4.5	5.4	4.5	17.0	7.1	1.8	7.1	2.7	3.6	0.0	3.6	3.6	3.6	3.6	27.7	
黒部地区	102	20.6	2.9	12.7	2.0	7.8	2.0	5.9	7.8	2.0	18.6	5.9	2.9	5.9	2.9	5.9	2.9	3.9	0.0	0.0	2.0	28.4	
豊田地区	244	18.8	11.1	7.0	3.3	7.8	4.1	4.9	7.8	6.1	16.4	4.9	4.9	7.0	2.9	5.3	2.0	2.9	1.6	1.6	2.0	31.6	
小坂地区	85	14.1	7.1	7.1	3.5	8.2	4.7	3.5	4.7	4.7	11.8	4.7	4.7	7.1	3.5	3.5	2.4	3.5	1.2	1.2	0.0	30.6	
津島地区	100	18.0	9.0	9.0	10.0	10.0	6.0	3.0	6.0	4.0	16.0	7.0	5.0	5.0	2.0	4.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	24.0	
津島地区	137	21.2	6.6	8.0	2.2	8.0	5.1	2.2	5.1	2.9	13.9	5.8	4.4	8.0	4.4	10.2	2.9	2.9	2.9	2.9	4.4	25.5	
大島地区	131	14.5	9.9	10.7	6.9	6.9	3.8	3.8	10.7	3.8	10.7	4.6	3.8	6.1	2.3	3.8	4.6	4.6	4.6	4.6	0.0	1.5	29.8
砂島地区	142	20.4	10.6	9.9	7.0	4.2	4.2	8.6	7.7	6.3	21.1	4.9	2.8	4.9	0.7	7.0	4.2	4.2	4.2	4.2	0.0	2.1	28.2
鹿島地区	99	9.1	7.1	6.1	2.0	6.1	5.1	5.1	9.1	3.0	18.2	11.1	5.1	5.1	4.0	3.0	4.0	3.0	1.0	1.0	1.0	2.0	29.3

問 26 あなたは普段どのくらい外出しますか。(〇は1つ)

- 現在の外出頻度(問 26)について、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 47.4%と最も高く、次いで「仕事や学校で週に3~4日外出する」が 12.8%、「遊び等で頻繁に外出する」が 5.2%となっています。
- 外出頻度が高い(「1」~「5」と答えた方の合計)は 79.6%、外出頻度が低い(「6」~「9」と答えた方の合計)は 15.9%となっています。



区民(n=1179) 単数回答 単位(%)



■属性別の主な傾向

- 多くの属性で「仕事や学校で平日は毎日外出する」が高くなっています。
- 75歳以上は「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどにはでかける」が高くなっています。

数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

		%	合計(n)	仕事や学校で平日は毎日外出する	仕事や学校で週に3~4日外出する	遊び等で頻繁に外出する	人づきあいのためにときどき外出する	自宅で仕事をしていて、用があるときだけ外出する	ふだんは家にいるが、趣味に関する用事の際は外出する	ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどにはでかける	自室からは出るが、家からはでない	自室からはほとんど出ない
性別（自認）	男性		476	52.3	12.8	4.2	5.5	6.5	6.5	6.3	1.3	0.4
	女性		689	44.1	13.1	5.8	8.4	7.1	7.5	8.0	1.0	0.3
	その他		8	75.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	18~19歳		9	88.9	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
	20~24歳		35	54.3	22.9	2.9	0.0	2.9	14.3	0.0	0.0	0.0
	25~29歳		55	56.4	20.0	3.6	5.5	5.5	3.6	1.8	1.8	0.0
	30~34歳		71	54.9	16.9	5.6	2.8	8.5	4.2	7.0	0.0	0.0
	35~39歳		77	63.6	13.0	0.0	5.2	9.1	1.3	5.2	0.0	0.0
	40~44歳		100	71.0	13.0	0.0	1.0	11.0	2.0	2.0	0.0	0.0
	45~49歳		124	60.5	17.7	3.2	1.6	8.1	3.2	2.4	0.0	0.0
	50~54歳		121	62.8	19.8	1.7	0.8	8.3	2.5	1.7	0.0	0.0
	55~59歳		108	70.4	10.2	0.0	2.8	6.5	2.8	3.7	0.9	0.0
	60~64歳		84	47.6	10.7	6.0	8.3	8.3	2.4	7.1	0.0	0.0
	65~69歳		79	38.0	12.7	11.4	7.6	5.1	10.1	6.3	1.3	1.3
	70~74歳		109	22.0	6.4	11.0	15.6	4.6	20.2	11.9	1.8	0.0
	75~79歳		88	15.9	9.1	10.2	15.9	5.7	12.5	18.2	1.1	0.0
80歳以上		116	5.2	5.2	11.2	20.7	4.3	14.7	21.6	6.0	3.4	
居住地区	白河地区		113	47.8	17.7	2.7	8.0	7.1	9.7	0.9	0.9	0.0
	富岡地区		106	50.0	16.0	2.8	6.6	4.7	6.6	8.5	0.9	0.0
	豊洲地区		247	47.8	13.4	5.7	6.1	7.3	6.9	8.9	1.2	0.8
	小松橋地区		90	41.1	13.3	7.8	4.4	7.8	8.9	6.7	2.2	2.2
	東陽地区		101	54.5	8.9	5.0	5.9	8.9	5.0	5.0	2.0	0.0
	亀戸地区		143	50.3	11.9	3.5	9.1	7.0	7.0	7.0	0.7	0.0
	大島地区		135	40.7	10.4	3.7	9.6	7.4	8.9	9.6	1.5	0.0
	砂町地区		142	46.5	12.7	5.6	9.9	4.9	5.6	9.2	0.0	0.7
	南砂地区		101	48.5	10.9	10.9	5.0	6.9	5.9	5.9	1.0	0.0

- 外出頻度が低い（「6」～「9」と答えた方の合計）割合をみると、65~69歳から年齢が上がる毎に上昇しています。

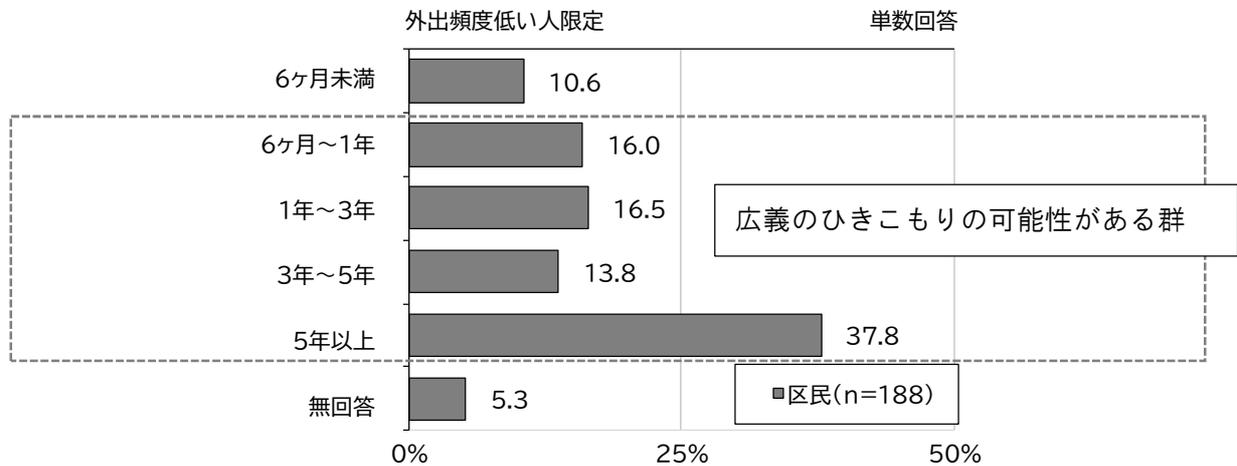
数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

		%	合計(n)	外出頻度高い	外出頻度低い
性別（自認）	男性		476	81.3	14.5
	女性		689	78.5	16.8
	その他		8	100.0	0.0
年齢	18~19歳		9	88.9	11.1
	20~24歳		35	82.9	14.3
	25~29歳		55	90.9	7.3
	30~34歳		71	88.7	11.3
	35~39歳		77	90.9	6.5
	40~44歳		100	96.0	4.0
	45~49歳		124	91.1	5.6
	50~54歳		121	93.4	4.1
	55~59歳		108	89.8	7.4
	60~64歳		84	81.0	9.5
	65~69歳		79	74.7	19.0
	70~74歳		109	59.6	33.9
	75~79歳		88	56.8	31.8
80歳以上		116	46.6	45.7	
居住地区	白河地区		113	83.2	11.5
	富岡地区		106	80.2	16.0
	豊洲地区		247	80.2	17.8
	小松橋地区		90	74.4	20.0
	東陽地区		101	83.2	11.9
	亀戸地区		143	81.8	14.7
	大島地区		135	71.9	20.0
	砂町地区		142	79.6	15.5
	南砂地区		101	82.2	12.9

問 27 問 26 で「6」～「9」と答えた方におたずねします。

あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(○は1つ)

- (外出頻度が低い人) 現在の外出頻度の期間(問 27)について、「5年以上」が37.8%と最も高く、次いで「1年～3年」が16.5%、「6ヶ月～1年」が16.0%となっています。



■ 「広義のひきこもりの可能性がある群」について

- 国の「こども・若者の意識と生活に関する調査(令和4年度)(対象10歳～39歳、40歳～69歳)」では上記の「外出頻度が低い」と「低い期間が6か月以上」に加えて、社会的自立条件(「現在の状態になった特定の理由」と「特定の就労状況」)に該当した人を「広義のひきこもり群」と捉えています。
- 本調査では設問数等を考慮して社会的自立条件を設定していないことから、「外出頻度が低い」と「低い期間が6か月以上」に該当するケースを「広義のひきこもりの可能性がある群」と捉えます。
- 「広義のひきこもりの可能性がある群」の該当人数は158人、回答者全数(1,179人)における割合は13.4%となります。

■属性別の主な傾向 (※回答者が少数のため、参考値)

- 回答者が少数なことも影響し、現在の外出頻度の具体的な期間は様々ですが、多くの属性で「5年以上」が高くなっています。

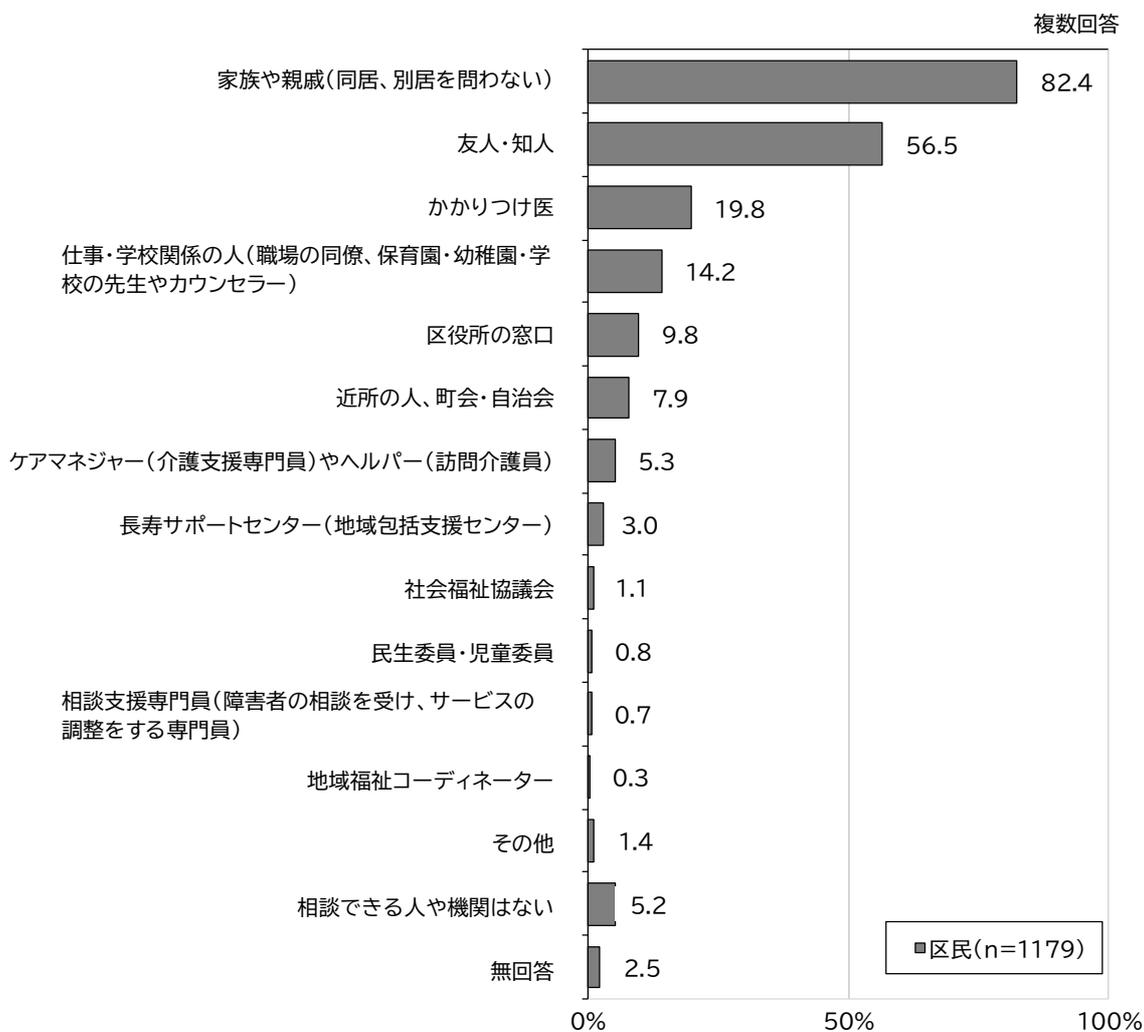
数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

		%	合計(n)	6ヶ月未満	6ヶ月～1年	1年～3年	3年～5年	5年以上
性別(自認)	男性		69	8.7	17.4	14.5	14.5	40.6
	女性		116	12.1	15.5	18.1	13.8	35.3
	その他		-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	18～19歳		1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	20～24歳		5	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0
	25～29歳		4	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0
	30～34歳		8	12.5	37.5	12.5	25.0	12.5
	35～39歳		5	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0
	40～44歳		4	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0
	45～49歳		7	14.3	28.6	0.0	28.6	28.6
	50～54歳		5	0.0	40.0	0.0	20.0	40.0
	55～59歳		8	0.0	25.0	12.5	12.5	50.0
	60～64歳		8	0.0	12.5	50.0	12.5	25.0
	65～69歳		15	20.0	20.0	33.3	6.7	20.0
	70～74歳		37	5.4	8.1	8.1	18.9	59.5
	75～79歳		28	14.3	0.0	28.6	14.3	25.0
80歳以上		53	9.4	17.0	13.2	7.5	43.4	
居住地区	白河地区		13	0.0	15.4	23.1	23.1	38.5
	富岡地区		17	17.6	5.9	5.9	17.6	52.9
	豊洲地区		44	11.4	13.6	15.9	11.4	38.6
	小松橋地区		18	0.0	33.3	16.7	5.6	38.9
	東陽地区		12	25.0	33.3	8.3	8.3	16.7
	亀戸地区		21	4.8	9.5	19.0	23.8	38.1
	大島地区		27	18.5	7.4	7.4	22.2	37.0
	砂町地区		22	0.0	22.7	22.7	9.1	40.9
	南砂地区		13	23.1	7.7	38.5	0.0	30.8

5 困ったときの相談先や福祉情報の入手先について

問 28 あなたや家族が日常生活で困った時に頼れる人や機関はありますか。(〇はいくつでも)

- 困った時に頼れる人・機関(問 28)について、「家族や親戚(同居、別居を問わない)」が 82.4%と最も高く、次いで「友人・知人」が 56.5%、「かかりつけ医」が 19.8%となっています。



■属性別の主な傾向

- 多くの属性で「家族や親戚(同居、別居を問わない)」もしくは「友人・知人」が高くなっています。
- 上記以外で比較的高い(20%以上)相談先を年齢で見ると、25~29歳と35~54歳は「仕事・学校関係の人(職場の同僚、保育園・幼稚園・学校の先生やカウンセラー)」、70歳以上は「かかりつけ医」となっています。
- 「相談できる人や機関はない」が比較的高い属性は、性別その他で30%台となっています。(データは次ページ参照)

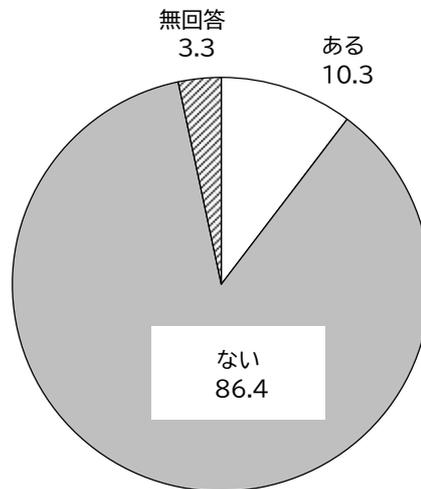
数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

%	合計(n)	家族や親戚 (同居・別居 を問わない)	本人・知人	近所の人、町 会・自治会	民生委員・児 童委員	かかりつけ医	ケアマネ ジャー(介護 支援専門員) やヘルパー (訪問介護 員)	地域福祉コー ディネーター	仕事・学校関 係の人(職場 の同僚、保育 園・幼稚園・ 学校の先生や カウンセラ ー)	相談支援専門 員(障害者の 相談を受け、 サービスの調 整をする専門 員)	長寿サポー トセンター(地 域包括支援セ ンター)	区役所の窓口	社会福祉協議 会	その他	相談できる人 や機関はない
男性	476	78.4	46.8	6.9	0.6	18.1	5.9	0.6	13.2	0.8	1.1	9.0	1.1	0.4	6.9
女性	689	85.6	63.9	8.4	0.9	21.2	5.1	0.1	14.9	0.6	4.4	10.2	1.2	2.2	3.6
その他	8	82.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5
18~19歳	9	77.8	55.6	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1
20~24歳	35	74.3	80.0	2.9	0.0	5.7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9
25~29歳	55	90.9	81.8	1.8	0.0	10.9	1.8	0.0	25.5	0.0	0.0	10.9	0.0	0.0	3.6
30~34歳	71	93.0	69.0	0.0	0.0	8.5	0.0	0.0	16.9	0.0	0.0	5.6	0.0	1.4	1.4
35~39歳	77	94.8	68.8	2.6	0.0	15.6	2.6	0.0	23.4	0.0	0.0	6.5	0.0	3.9	0.0
40~44歳	100	89.0	59.0	6.0	0.0	13.0	1.0	0.0	25.0	1.0	1.0	4.0	0.0	0.0	6.0
45~49歳	124	82.3	58.9	8.1	0.0	16.9	2.4	0.8	21.0	1.6	0.0	11.3	1.6	1.6	6.5
50~54歳	121	82.6	51.2	3.3	0.0	21.5	3.3	0.8	22.3	0.8	0.8	12.4	0.0	0.8	7.4
55~59歳	108	82.4	56.5	5.6	0.0	19.4	9.3	0.0	13.0	1.9	2.8	11.1	0.9	1.9	9.3
60~64歳	84	71.4	50.0	13.1	0.0	13.1	13.1	1.2	14.3	0.0	4.8	9.5	4.8	2.4	9.5
65~69歳	79	73.4	53.2	11.4	0.0	19.0	5.1	0.0	6.3	1.3	6.3	12.7	2.5	0.0	6.3
70~74歳	109	84.4	51.4	11.0	1.8	24.8	3.7	0.0	4.6	0.0	3.7	11.0	2.8	1.8	3.7
75~79歳	88	76.1	43.2	12.5	4.5	28.4	6.8	1.1	3.4	1.1	3.4	13.6	1.1	0.0	4.5
80歳以上	116	77.6	44.8	15.5	2.6	40.5	13.8	0.0	0.9	0.0	12.1	8.6	0.0	3.4	1.7
白河地区	113	81.4	61.1	9.7	0.9	25.7	4.4	0.9	17.7	0.9	1.8	6.2	0.9	1.8	4.4
富岡地区	106	84.9	63.2	10.4	0.0	29.2	4.7	0.0	11.3	1.9	1.9	10.4	0.9	3.8	1.9
豊洲地区	247	83.0	53.0	2.4	0.8	16.2	5.7	0.4	17.8	0.8	0.8	12.1	0.8	1.2	6.5
小松橋地区	90	83.3	61.1	10.0	0.0	18.9	6.7	0.0	12.2	0.0	4.4	7.8	0.0	1.1	4.4
東陽地区	101	81.2	59.4	5.9	0.0	22.8	4.0	0.0	18.8	1.0	3.0	15.8	2.0	0.0	5.0
亀戸地区	143	80.4	58.0	10.5	2.8	14.7	2.8	0.0	11.9	0.7	5.6	7.0	0.7	1.4	4.9
大島地区	135	82.2	49.6	7.4	0.7	20.0	6.7	0.7	10.4	0.0	5.2	8.1	1.5	0.7	3.7
砂町地区	142	82.4	51.4	8.5	0.0	17.6	7.0	0.0	11.3	0.7	2.8	10.6	2.1	0.7	7.0
南砂地区	101	82.2	59.4	12.9	2.0	19.8	5.9	1.0	14.9	0.0	3.0	7.9	1.0	3.0	6.9

問 29 現在、あなたや家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか。(○は1つ)

- 相談先がわからない困りごと(問 29)について、「ある」は10.3%、「ない」は86.4%となっています。

区民(n=1179) 単数回答 単位(%)



■属性別の主な傾向

- 全ての属性で「ない」が高くなっています。
- 「ある」が比較的高い属性は、性別その他で20%台となっています。

(データは次ページ参照)

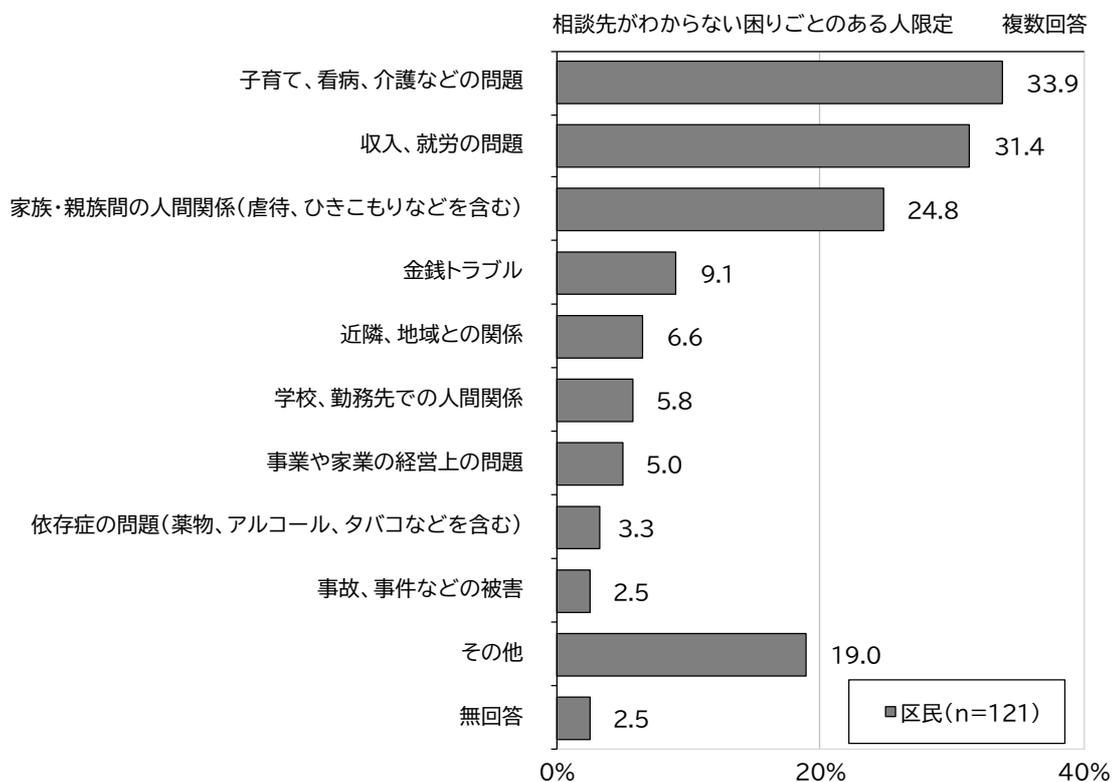
数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

	%	合計(n)	ある	ない
性別（自認）	男性	476	8.8	88.7
	女性	689	11.0	85.3
	その他	8	25.0	75.0
年齢	18～19歳	9	11.1	88.9
	20～24歳	35	14.3	82.9
	25～29歳	55	9.1	90.9
	30～34歳	71	5.6	91.5
	35～39歳	77	13.0	85.7
	40～44歳	100	12.0	88.0
	45～49歳	124	11.3	87.9
	50～54歳	121	11.6	86.0
	55～59歳	108	12.0	88.0
	60～64歳	84	14.3	85.7
	65～69歳	79	8.9	86.1
	70～74歳	109	5.5	89.9
	75～79歳	88	9.1	85.2
	80歳以上	116	8.6	76.7
	居住地区	白河地区	113	9.7
富岡地区		106	7.5	88.7
豊洲地区		247	11.7	83.8
小松橋地区		90	5.6	88.9
東陽地区		101	8.9	89.1
亀戸地区		143	8.4	88.8
大島地区		135	12.6	83.7
砂町地区		142	11.3	85.2
南砂地区		101	13.9	85.1

問 30 問 29 で「1 ある」と答えた方におたずねします。

お困りの内容は何ですか。（〇はいくつでも）

- （相談先がわからない困りごとのある人）困りごとの内容（問 30）について、「子育て、看病、介護などの問題」が 33.9%と最も高く、次いで「収入、就労の問題」が 31.4%、「家族・親族間の人間関係（虐待、ひきこもりなどを含む）」が 24.8%となっています。



■属性別の主な傾向 （※回答者が少数のため、参考値）

- 回答者が少数なことも影響し、困りごとの内容は一様ではありません。
- 性別では、男性は「収入、就労の問題」、女性は「子育て、看病、介護などの問題」、性別その他は複数の内容が高くなっています。
- 年齢では、30代前半までは「収入、就労の問題」、30代後半から50代前半にかけては「子育て、看病、介護などの問題」が高くなっています。50代後半より上の年齢では複数の内容が高くなっています。
- 地区では、「収入、就労の問題」もしくは「子育て、看病、介護などの問題」が高くなっています。「その他」が高い地区もあります。

「その他」の意見（抜粋して要約）

- 1人暮らしの不安、生活の懸念
- 実家の空き家の対処、家屋の老朽化、相続税等
- 近隣からの悪臭
- ゴミ置き場のカラス被害、ゴミだしのマナー
- ウミネコ対策
- 発達障害グレーゾーン、こどもの知的障害
- フリースクールなど学校に代わる所

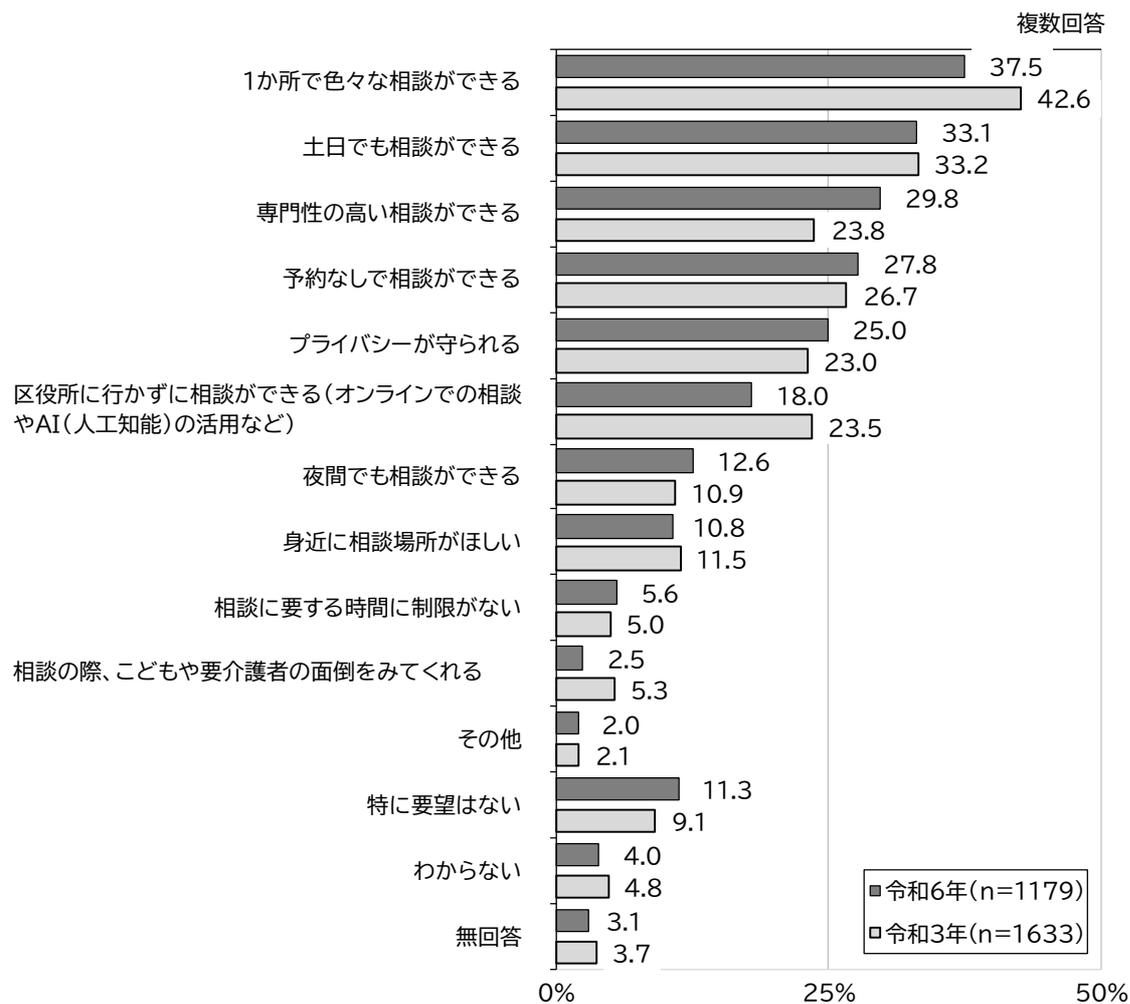
（データは次ページ参照）

数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

%	合計(n)	家族・親族間の人間関係(虐待、ひきこもりなどを含む)	子育て、看病、介護などの問題	依存症の問題(薬物、アルコール、タバコなどを含む)	収入、就労の問題	学校、勤務先での人間関係	事業や家業の経営上の問題	金銭トラブル	近隣、地域との関係	事故、事件などの被害	その他
男性	42	286	238	24	38.1	4.8	14.3	16.7	9.5	2.4	16.7
女性	76	224	40.8	2.6	27.6	6.6	0.0	5.3	5.3	2.6	19.7
その他	2	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
18~19歳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
20~24歳	5	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
25~29歳	5	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
30~34歳	4	0.0	0.0	0.0	75.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
35~39歳	10	20.0	60.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
40~44歳	12	41.7	50.0	8.3	33.3	16.7	8.3	8.3	8.3	0.0	8.3
45~49歳	14	28.6	50.0	0.0	7.1	0.0	0.0	14.3	7.1	0.0	14.3
50~54歳	14	14.3	42.9	0.0	21.4	14.3	7.1	7.1	7.1	0.0	14.3
55~59歳	13	30.8	23.1	7.7	46.2	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	30.8
60~64歳	12	16.7	41.7	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	25.0
65~69歳	7	14.3	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0	42.9	14.3	0.0	42.9
70~74歳	6	66.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	16.7	0.0
75~79歳	8	37.5	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	37.5
80歳以上	10	10.0	30.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
白河地区	11	9.1	27.3	0.0	18.2	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	36.4
富岡地区	8	12.5	62.5	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5
豊洲地区	29	27.6	51.7	0.0	27.6	0.0	6.9	13.8	0.0	0.0	13.8
小松橋地区	5	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0
東陽地区	9	22.2	55.6	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2
亀戸地区	12	8.3	16.7	0.0	25.0	16.7	0.0	8.3	16.7	8.3	41.7
大島地区	17	23.5	17.6	17.6	47.1	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0	17.6
砂町地区	16	37.5	43.8	6.3	31.3	0.0	6.3	18.8	12.5	6.3	0.0
南砂地区	14	35.7	7.1	0.0	71.4	0.0	7.1	7.1	14.3	7.1	7.1

問 31 区役所等の相談窓口について要望はありますか。(〇は3つまで)

- 区役所等の相談窓口への要望(問31)について、「1か所で色々な相談ができる」が37.5%と最も高く、次いで「土日でも相談ができる」が33.1%、「専門性の高い相談ができる」が29.8%となっています。
- 令和3年から変化がみられた項目(標本誤差を考慮して5ポイント以上の差)は、「専門性の高い相談ができる」が6.0ポイント上昇、「区役所に行かずに相談ができる(オンラインでの相談やAI(人工知能)の活用など)」が5.5ポイント低下、「1か所で色々な相談ができる」が5.1ポイント低下しました。



■属性別の主な傾向

- 多くの属性で「1か所で色々な相談ができる」もしくは「土日でも相談ができる」が高くなっています。
- 「1か所で色々な相談ができる」は50代以上で概ね高く、「土日でも相談ができる」は20代後半から40代にかけて高くなっています。

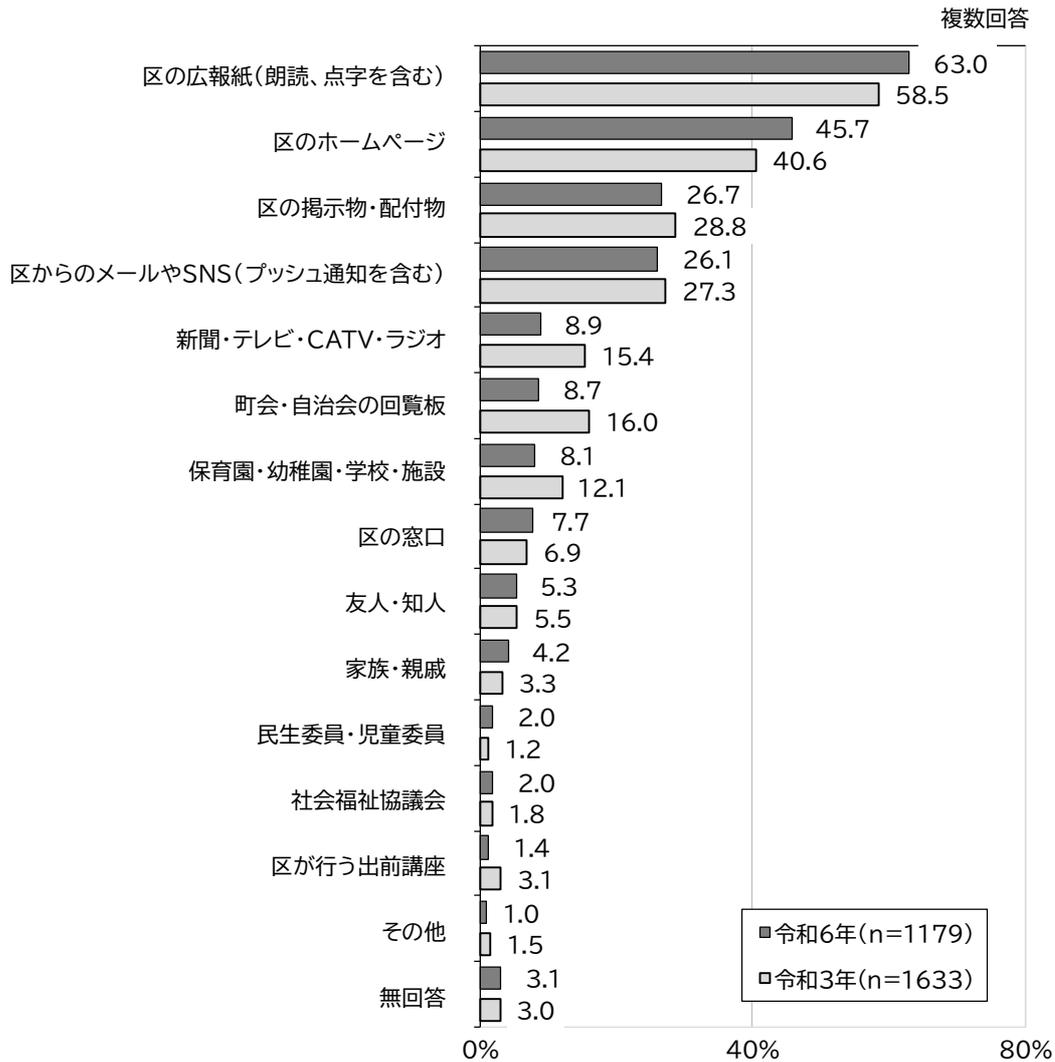
(データは次ページ参照)

数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

%	合計(n)	1か所で色々な相談ができる	専門性の高い相談ができる	予約なしで相談ができる	夜間でも相談ができる	土日でも相談ができる	相談に要する時間に制限がない	身近に相談場所がほしい	プライバシーが守られる	相談の際、子どもや介護者の面倒をみてくれる	区役所に行かずに相談ができる(オンラインでの相談やAI(人工知能)の活用など)	その他	特に要望はない	わからない
男性	476	35.5	28.2	25.4	13.7	36.3	5.0	9.5	18.3	1.1	16.4	2.1	14.7	4.0
女性	689	38.8	31.3	29.6	11.3	30.9	6.0	11.9	29.9	3.3	19.3	1.9	8.7	4.1
その他	8	50.0	12.5	25.0	50.0	50.0	12.5	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0
年齢	9	0.0	22.2	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	22.2	33.3
20~24歳	35	34.3	28.6	17.1	22.9	25.7	5.7	11.4	25.7	0.0	17.1	2.9	8.6	5.7
25~29歳	55	32.7	29.1	18.2	27.3	47.3	5.5	10.9	27.3	1.8	21.8	0.0	5.5	5.5
30~34歳	71	33.8	38.0	29.6	16.9	47.9	5.6	8.5	22.5	4.2	25.4	1.4	4.2	1.4
35~39歳	77	29.9	29.9	24.7	18.2	48.1	2.6	7.8	20.8	9.1	26.0	5.2	7.8	2.6
40~44歳	100	38.0	35.0	21.0	15.0	42.0	6.0	11.0	29.0	6.0	24.0	1.0	6.0	3.0
45~49歳	124	30.6	37.9	21.0	17.7	47.6	4.8	7.3	35.5	4.0	29.0	2.4	8.9	1.6
50~54歳	121	41.3	28.1	24.0	13.2	36.4	4.1	6.6	24.0	1.7	27.3	3.3	9.1	4.1
55~59歳	108	42.6	37.0	24.1	17.6	41.7	5.6	11.1	32.4	0.9	18.5	0.9	8.3	6.5
60~64歳	84	39.3	35.7	32.1	11.9	36.9	7.1	10.7	26.2	0.0	15.5	2.4	14.3	2.4
65~69歳	79	43.0	27.8	27.8	3.8	25.3	3.8	20.3	17.7	0.0	15.2	3.8	16.5	2.5
70~74歳	109	44.0	25.7	45.9	5.5	13.8	8.3	14.7	24.8	0.9	8.3	1.8	13.8	4.6
75~79歳	88	34.1	18.2	33.0	4.5	21.6	4.5	12.5	21.6	1.1	3.4	0.0	18.2	4.5
80歳以上	116	40.5	18.1	35.3	2.6	6.0	7.8	11.2	14.7	1.7	4.3	0.9	19.0	5.2
居住地区	113	31.9	27.4	23.9	15.9	43.4	6.2	9.7	34.5	4.4	22.1	1.8	8.8	5.3
白河地区	106	43.4	39.6	21.7	13.2	33.0	4.7	10.4	27.4	1.9	17.0	1.9	7.5	0.0
富岡地区	247	38.5	25.9	32.0	12.1	29.1	8.1	10.9	25.9	2.4	21.1	2.0	9.7	5.7
豊洲地区	90	25.6	25.6	22.2	6.7	25.6	2.2	2.2	25.6	1.1	18.9	2.2	21.1	3.3
小松橋地区	101	39.6	39.6	29.7	16.8	38.6	7.9	5.0	24.8	4.0	20.8	1.0	6.9	6.9
東陽地区	143	32.9	24.5	28.7	11.9	39.2	4.2	12.6	23.1	1.4	15.4	4.2	11.9	2.8
龍戸地区	135	40.7	26.7	29.6	11.9	31.1	6.7	13.3	18.5	0.0	15.6	1.5	11.9	3.0
大島地区	142	41.5	33.1	30.3	13.4	31.7	4.9	15.5	21.1	3.5	18.3	2.1	13.4	2.8
砂町地区	101	39.6	31.7	24.8	10.9	28.7	2.0	12.9	26.7	4.0	9.9	0.0	12.9	5.0

問 32 今後、区の福祉に関する情報を主に何（誰）から入手したいですか。（〇は3つまで）

- 区の福祉情報の入手先（問 32）について、「区の広報紙（朗読、点字を含む）」が63.0%と最も高く、次いで「区のホームページ」が45.7%、「区の掲示物・配付物」が26.7%となっています。
- 令和3年から変化がみられた項目（標本誤差を考慮して5ポイント以上の差）は、「区のホームページ」が5.1ポイント上昇、「町会・自治会の回覧板」が7.3ポイント低下、「新聞・テレビ・CATV・ラジオ」が6.5ポイント低下しました。



■属性別の主な傾向

- 多くの属性で「区の広報紙（朗読、点字を含む）」もしくは「区のホームページ」が高くなっています。
- 「区からのメールやSNS（プッシュ通知を含む）」の希望は、64歳以下（20～24歳、50～54歳を除く）で30～40%台と比較的高くなっています。

（データは次ページ参照）

数値は%、網掛は各属性の1位、属性及び設問の「無回答」は非表示

性別(自認)	%	合計(n)	区の広報紙 (朗読、点字 を含む)	区のホームページ	区の窓口	区の揭示物・ 配付物	区が行う出前 講座	民生委員・児 童委員	社会福祉協議 会	町会・自治会 の回覧板	新聞・テレ ビ・CAT V・ラジオ	区からのメー ルやSNS (ブッシュ通 知を含む)	家族・親戚	友人・知人	保育園・幼稚 園・学校・施 設	その他
男性		476	61.3	47.9	7.6	26.5	1.7	2.7	2.3	6.7	9.5	23.5	4.2	4.8	5.3	0.6
女性		689	64.6	44.7	7.8	27.0	1.2	1.6	1.5	9.9	8.6	28.3	3.9	5.4	10.0	1.3
その他		8	62.5	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0
年齢		9	22.2	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0
18~19歳		35	34.3	37.1	2.9	34.3	0.0	2.9	0.0	2.9	11.4	25.7	5.7	2.9	0.0	0.0
20~24歳		55	40.0	58.2	1.8	18.2	1.8	0.0	3.6	5.5	7.3	38.2	7.3	10.9	7.3	3.6
25~29歳		71	54.9	49.3	9.9	15.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	31.0	4.2	5.6	18.3	1.4
30~34歳		77	51.9	51.9	3.9	16.9	0.0	0.0	1.3	1.3	3.9	41.6	5.2	1.3	36.4	1.3
35~39歳		100	70.0	45.0	6.0	21.0	1.0	1.0	1.0	4.0	8.0	37.0	2.0	5.0	29.0	0.0
40~44歳		124	55.6	53.2	5.6	24.2	0.0	0.0	0.0	8.1	4.8	36.3	0.0	1.6	7.3	1.6
45~49歳		121	63.6	62.8	5.0	21.5	2.5	0.8	0.8	5.0	9.1	29.8	4.1	1.7	4.1	0.8
50~54歳		108	64.8	64.8	9.3	23.1	3.7	2.8	2.8	8.3	9.3	33.3	2.8	5.6	0.9	0.9
55~59歳		84	75.0	54.8	10.7	32.1	3.6	0.0	1.2	7.1	11.9	31.0	3.6	4.8	2.4	1.2
60~64歳		79	82.3	49.4	11.4	29.1	1.3	1.3	2.5	11.4	12.7	13.9	6.3	10.1	0.0	0.0
65~69歳		109	80.7	35.8	6.4	38.5	1.8	2.8	1.8	11.9	8.3	12.8	2.8	5.5	2.8	1.8
70~74歳		88	59.1	20.5	10.2	37.5	1.1	4.5	2.3	18.2	13.6	11.4	8.0	6.8	0.0	0.0
75~79歳		116	62.9	13.8	13.8	36.2	0.0	7.8	5.2	20.7	12.1	3.4	6.0	9.5	0.0	0.9
80歳以上		113	63.7	44.2	4.4	22.1	0.9	4.4	1.8	12.4	11.5	28.3	1.8	3.5	8.8	0.9
居住地		106	68.9	47.2	1.9	28.3	0.9	2.8	0.0	6.6	5.7	26.4	3.8	5.7	4.7	0.9
雷岡地区		247	66.0	49.0	8.5	27.1	1.6	0.8	1.6	5.3	8.1	29.1	3.6	5.3	8.1	0.4
豊洲地区		90	57.8	40.0	11.1	16.7	1.1	3.3	2.2	4.4	12.2	27.8	2.2	2.2	8.9	1.1
小松橋地区		101	63.4	47.5	4.0	30.7	1.0	0.0	3.0	7.9	5.0	31.7	4.0	5.0	12.9	0.0
実陽地区		143	59.4	53.8	11.9	23.8	0.7	2.8	2.1	9.8	7.7	21.7	2.8	4.9	7.0	2.8
龜戸地区		135	61.5	41.5	5.9	29.6	2.2	0.7	3.7	12.6	11.1	20.7	5.2	5.2	7.4	0.0
大島地区		142	62.0	44.4	8.5	31.0	2.8	2.1	1.3	11.3	10.6	23.9	5.6	4.9	6.3	1.4
砂町地区		101	62.4	37.6	11.9	28.7	0.0	3.0	1.0	8.9	8.9	24.8	8.9	11.9	9.9	2.0
南砂地区																

6 区の地域福祉について

問 33 区の地域福祉を進める上での意見・提案をお聴かせください。

ア 区民同士や地域活動による支えあいに関する意見・提案（自由記入）

○ 回答者のうち、218人から意見を頂きました。意見の分類と件数は以下のとおりです。

番号	分類	件数
1	住民同士の交流、地域の居場所の増加	45件
2	自治・地域活動の活性化と課題	37件
3	支え合いの工夫（ボランティア含む）	32件
4	情報の発信、広報	15件
5	民間・公共的施設・スペースの活用	13件
6	高齢者支援	10件
7	防災、防犯、交通	9件
8	外国人住民との共生	8件
9	子育て・若者支援	7件
10	その他の意見	21件
11	特に意見はない、わからない等	21件
合計		218件

（注）1人で複数の意見が記載してある場合は代表的な意見で分類と件数に計上した。

イ 区の福祉に関する意見・提案（自由記入）

○ 回答者のうち、220人から意見を頂きました。意見の分類と件数は以下のとおりです。

番号	分類	件数
1	教育、啓発活動、情報発信、広報	34件
2	子育て・若者、現役世代への支援	19件
3	高齢者支援	18件
4	生活、安全、交通、就労	18件
5	地域の居場所、活動・福祉の担い手への支援	16件
6	生活困窮、手当、補助、生活保護	14件
7	相談支援	12件
8	障害者支援	11件
9	制度や区への要望	40件
10	その他の意見	18件
11	特に意見はない、わからない等	20件
合計		220件

（注）1人で複数の意見が記載してある場合は代表的な意見で分類と件数に計上した。

III 調査結果分析

分析1 近所の「顔も知らない人が多い」人について

- 近所との付き合い方（問8）の全体結果は「あいさつをする程度の付き合いが多い」が50%台、「顔も知らない人が多い」は20%台です。
- 「顔も知らない人が多い」に注目すると、回答者の属性は25～29歳、居住歴2年以下、民営の賃貸住宅と給与住宅（社宅・公務員住宅など）・寮・寄宿舍、学生・生徒の割合が比較的高く（50%以上）なっています。

数値は%、網掛は太枠項目のうち50%以上、属性及び設問の「無回答」は非表示

		%	合計(n)	家族ぐるみの 付き合いが多い	おみやげをあ げたり（も らったり）、 何かを手伝い あうことが多 い	あいさつをす る程度の付き あいが多い	顔は知っている が、あいさ つをしないこ とが多い	顔も知らない 人が多い	その他
性別（自認）	男性		476	3.8	9.2	52.1	4.6	27.7	2.3
	女性		689	4.2	11.2	56.9	3.5	23.1	0.9
	その他		8	12.5	0.0	87.5	0.0	0.0	0.0
年齢	18～19歳		9	11.1	0.0	44.4	0.0	44.4	0.0
	20～24歳		35	5.7	2.9	34.3	8.6	48.6	0.0
	25～29歳		55	1.8	0.0	23.6	7.3	67.3	0.0
	30～34歳		71	2.8	0.0	43.7	7.0	46.5	0.0
	35～39歳		77	3.9	7.8	54.5	5.2	28.6	0.0
	40～44歳		100	4.0	5.0	53.0	11.0	27.0	0.0
	45～49歳		124	4.8	10.5	60.5	0.0	24.2	0.0
	50～54歳		121	3.3	6.6	59.5	3.3	27.3	0.0
	55～59歳		108	3.7	8.3	62.0	3.7	21.3	0.9
	60～64歳		84	1.2	14.3	64.3	3.6	14.3	2.4
	65～69歳		79	2.5	13.9	67.1	1.3	13.9	1.3
	70～74歳		109	1.8	19.3	55.0	1.8	16.5	4.6
	75～79歳		88	4.5	14.8	60.2	3.4	13.6	2.3
80歳以上		116	10.3	19.8	50.9	1.7	10.3	6.0	
居住地区	白河地区		113	2.7	9.7	59.3	4.4	23.0	0.9
	富岡地区		106	2.8	10.4	59.4	4.7	21.7	0.9
	豊洲地区		247	5.3	7.7	49.8	3.6	32.8	0.4
	小松橋地区		90	4.4	8.9	56.7	4.4	22.2	1.1
	東陽地区		101	2.0	11.9	54.5	4.0	27.7	0.0
	亀戸地区		143	3.5	13.3	50.3	3.5	25.9	3.5
	大島地区		135	3.7	10.4	51.9	3.7	26.7	3.7
	砂町地区		142	4.2	13.4	62.0	4.9	13.4	2.1
	南砂地区		101	6.9	8.9	61.4	2.0	19.8	1.0
	居住歴	2年以下		157	2.5	1.3	39.5	3.2	52.9
3～5年		165	3.0	6.1	46.1	5.5	38.2	1.2	
6～9年		133	5.3	8.3	56.4	3.8	26.3	0.0	
10～19年		281	3.2	9.3	57.3	4.3	24.2	1.4	
20～29年		208	3.4	12.0	64.4	4.3	13.0	1.9	
30年以上		232	6.9	20.7	60.8	2.6	6.0	3.0	
住まい形態	持ち家（一戸建）		181	8.3	18.2	63.5	3.3	5.5	1.1
	持ち家（マンションなどの共同住宅）		566	3.9	10.6	60.1	3.0	21.0	1.4
	民営の賃貸住宅		230	0.9	3.9	37.0	6.5	50.9	0.9
	都・区営の賃貸住宅・都市再生機構（UR）・公社		151	6.0	12.6	55.0	4.6	17.9	2.6
	給与住宅（社宅・公務員住宅など）・寮・寄宿舍		27	0.0	3.7	33.3	0.0	63.0	0.0
	その他・わからない		23	0.0	0.0	82.6	4.3	4.3	8.7
世帯構成	1人世帯		242	1.7	8.7	39.3	3.7	43.4	2.9
	夫婦だけの1世代世帯		354	3.4	13.8	54.8	3.1	23.2	1.4
	親と子の2世代世帯		505	5.1	8.3	63.4	4.8	17.4	1.0
	親と子と孫の3世代世帯		32	15.6	21.9	53.1	0.0	9.4	0.0
	その他の世帯		42	2.4	4.8	57.1	4.8	28.6	2.4
働き方	正規の職員・従業員		448	4.7	5.1	50.4	5.6	33.9	0.2
	非正規の職員・従業員（派遣・契約社員、パート等）		249	2.4	14.9	59.0	2.0	20.9	0.8
	会社などの役員		40	10.0	12.5	50.0	5.0	22.5	0.0
	自営業主		71	1.4	15.5	53.5	4.2	25.4	0.0
	家族従業者・内職		17	0.0	23.5	70.6	0.0	0.0	5.9
	学生・生徒		23	4.3	0.0	26.1	8.7	60.9	0.0
	収入をとまなう仕事をしていない（仕事を探している）		42	2.4	11.9	66.7	2.4	14.3	2.4
	収入をとまなう仕事をしていない（仕事を探していない）		228	4.8	13.2	62.7	3.1	13.2	2.6
	その他		53	5.7	11.3	52.8	0.0	15.1	13.2

- 「顔も知らない人が多い」と回答した人は、近所や地域との関わりに「あまり必要ないと思う」や「必要ないと思う」、近所に困っている人がいる場合に「助けたいとは思わない」、地域の「つながり」に重要なことに「つながる必要はない」もそれぞれ高い（50%以上）ことから、進学や就職で賃貸住宅や社宅に入居をし始めた若い世代は近所付き合いが浅く、その必要性も感じていない意識がうかがえます。

数値は%、網掛は太枠項目のうち50%以上、属性及び設問の「無回答」は非表示

	%	合計(n)	おみやげをあげたり（もったり）、何かを手伝いあうことが多い					顔も知らない人が多い	その他
			家族ぐるみの付き合いが多い	あいさつをする程度の付き合いが多い	顔は知っているが、あいさつをしないことが多い	顔も知らない人が多い	その他		
関わりへの意識	必要だと思う	246	12.6	28.0	48.4	0.8	6.5	3.3	
	ある程度は必要だと思う	682	1.8	6.0	63.0	4.3	23.9	1.0	
	あまり必要ないと思う	144	0.7	0.0	37.5	7.6	53.5	0.7	
	必要ないと思う	19	0.0	0.0	21.1	0.0	68.4	10.5	
近所に困っている人がいる場合の気持ち	自分ができる範囲で助けたい	458	5.5	13.5	53.1	4.1	22.7	1.1	
	周りの人や区と一緒に助けたい	240	5.0	15.4	55.4	2.1	20.0	2.1	
	助けたいが、仕事や家族の面倒で時間がとれない	162	3.1	6.2	65.4	4.3	20.4	0.6	
	助けたいが、心身の状況でできない	45	0.0	8.9	68.9	4.4	11.1	6.7	
	助けたいが、助ける方法がわからない	151	0.7	2.0	55.6	6.6	34.4	0.7	
	助けたいとは思わない	24	4.2	0.0	41.7	0.0	54.2	0.0	
	わからない	56	1.8	0.0	39.3	1.8	50.0	5.4	
「つながり」に重要なこと	町会・自治会への所属	337	8.6	17.2	50.1	3.9	17.2	2.7	
	隣近所や地域の付き合い	781	5.4	12.8	59.2	2.9	18.4	1.2	
	趣味やスポーツ等のサークル活動	340	4.4	11.5	53.5	4.4	23.8	2.1	
	共通の課題を抱える方同士のSNS上の交流	123	2.4	8.9	49.6	8.1	30.9	0.0	
	NPO等の特定分野での支援団体とのつながり	111	2.7	4.5	55.0	4.5	29.7	3.6	
	その他	43	0.0	9.3	48.8	4.7	34.9	0.0	
	つながる必要はない	86	0.0	1.2	32.6	5.8	57.0	3.5	

- 「顔も知らない人が多い」と回答した人の中にも地域への貢献したいと「思っている」が10%台あります。参加したい地域活動では「社会福祉法人、福祉サービス事業者などが行うイベント・講習会・ボランティア」、「趣味のグループ、自主サークルなどが行う地域活動（自分が関心のある分野）」、「区、商店街、NPOなどが行うイベント・講習会・ボランティア」が20%台、地域活動の参加条件は「自分の能力向上につながること」、「参加に報酬があること」が30%台という結果は、地域のつながりづくりのヒントになると考えられます。

数値は%、属性及び設問の「無回答」は非表示

	%	合計(n)	おみやげをあげたり（もったり）、何かを手伝いあうことが多い					顔も知らない人が多い	その他
			家族ぐるみの付き合いが多い	あいさつをする程度の付き合いが多い	顔は知っているが、あいさつをしないことが多い	顔も知らない人が多い	その他		
地域への貢献	思っている	476	6.9	17.2	52.9	3.4	17.2	1.9	
	あまり考えていない	676	2.1	5.3	56.7	4.3	30.5	1.2	
参加したい地域活動	町会・自治会、マンション管理組合、自主防災組織、消防団などが行う地域活動	336	6.8	17.6	56.0	2.1	14.6	3.0	
	保護者会、PTAなどが行う、学校などを拠点とする活動	137	9.5	11.7	61.3	3.6	13.9	0.0	
	社会福祉法人、福祉サービス事業者などが行うイベント・講習会・ボランティア	195	3.1	11.3	58.5	3.6	23.6	0.0	
	趣味のグループ、自主サークルなどが行う地域活動（自分が関心のある分野）	488	3.9	13.9	51.6	4.1	25.2	1.0	
	区、商店街、NPOなどが行うイベント・講習会・ボランティア	234	3.4	10.3	53.0	5.6	26.5	1.3	
	自分たちが主体となって行う地域活動（交流づくり、居場所づくりなど）	112	11.6	17.0	42.9	6.3	19.6	2.7	
	その他	36	5.6	8.3	52.8	2.8	22.2	5.6	
	そうした活動に参加したくない・関心がない	208	0.0	3.4	54.3	5.3	35.1	1.9	
	自分の時間に余裕があること	680	5.4	10.7	55.4	3.8	23.2	1.2	
	時間や期間にあまりしぼられないこと	637	4.6	11.6	56.2	3.6	23.5	0.5	
地域活動の参加条件	関心・興味のあるテーマの活動があること	592	3.4	10.3	54.6	3.7	27.2	0.8	
	知り合いや気の合う仲間がいること	465	4.9	14.2	55.1	4.7	19.6	1.3	
	身近な場所で活動できること	564	5.5	13.1	55.3	3.0	21.3	1.8	
	家族の理解・協力が得られること	164	5.5	14.0	61.6	3.0	15.9	0.0	
	子どもの世話や親の介護を代わってもらうこと	69	4.3	11.6	65.2	1.4	17.4	0.0	
	自分の能力向上につながること	174	3.4	10.9	44.3	5.2	34.5	1.1	
	参加に報酬があること	163	1.2	8.0	52.8	6.7	30.7	0.6	
	その他	26	3.8	19.2	34.6	0.0	34.6	3.8	
	そうした活動に参加したくない・関心がない	71	0.0	0.0	53.5	7.0	35.2	4.2	

分析2 地域貢献の意欲と地域活動について

- 地域貢献の意欲（問18）の全体結果は、「思っている」が40%台、「あまり考えていない」が50%台です。
- 多くの回答者属性で地域に役立ちたいと「あまり考えていない」割合が上回りますが、その中でも60～74歳、80歳以上、居住歴30年以上、会社などの役員、自営業主などは地域貢献の意欲が比較的高く（※）、地域活動の担い手として期待できる存在と考えられます。
（※「思っている」と「あまり考えていない」が差が5ポイント未満）

数値は%、網掛は各項目の5ポイント未満の差、属性及び設問の「無回答」は非表示

%		合計(n)	地域に役立ちたいと「思っている」	地域に役立ちたいと「あまり考えていない」	「思っている」-「あまり考えていない」
性別(自認)	男性	476	42.4	55.0	-12.6
	女性	689	38.9	58.9	-20.0
	その他	8	25.0	75.0	-50.0
年齢	18～19歳	9	44.4	55.6	-11.2
	20～24歳	35	34.3	62.9	-28.6
	25～29歳	55	23.6	76.4	-52.8
	30～34歳	71	28.2	71.8	-43.6
	35～39歳	77	31.2	67.5	-36.3
	40～44歳	100	37.0	63.0	-26.0
	45～49歳	124	46.0	54.0	-8.0
	50～54歳	121	32.2	66.1	-33.9
	55～59歳	108	45.4	53.7	-8.3
	60～64歳	84	48.8	48.8	0.0
	65～69歳	79	50.6	48.1	2.5
	70～74歳	109	45.9	49.5	-3.6
	75～79歳	88	44.3	52.3	-8.0
80歳以上	116	44.0	46.6	-2.6	
居住地区	白河地区	113	43.4	56.6	-13.2
	富岡地区	106	49.1	48.1	1.0
	豊洲地区	247	42.9	55.1	-12.2
	小松橋地区	90	37.8	56.7	-18.9
	東陽地区	101	40.6	59.4	-18.8
	亀戸地区	143	37.1	59.4	-22.3
	大島地区	135	28.9	67.4	-38.5
	砂町地区	142	43.0	55.6	-12.6
	南砂地区	101	40.6	57.4	-16.8
居住歴	2年以下	157	34.4	64.3	-29.9
	3～5年	165	32.7	64.8	-32.1
	6～9年	133	37.6	61.7	-24.1
	10～19年	281	39.5	59.1	-19.6
	20～29年	208	44.7	54.3	-9.6
	30年以上	232	48.7	45.3	3.4
住まい形態	持ち家(一戸建)	181	48.6	47.5	1.1
	持ち家(マンションなどの共同住宅)	566	42.6	55.7	-13.1
	民営の賃貸住宅	230	32.2	66.5	-34.3
	都・区営の賃貸住宅・都市再生機構(UR)・公社	151	35.1	60.9	-25.8
	給与住宅(社宅・公務員住宅など)・寮・寄宿舎	27	44.4	55.6	-11.2
	その他・わからない	23	30.4	65.2	-34.8
世帯構成	1人世帯	242	34.7	61.2	-26.5
	夫婦だけの1世代世帯	354	45.5	52.8	-7.3
	親と子の2世代世帯	505	39.6	58.4	-18.8
	親と子と孫の3世代世帯	32	46.9	53.1	-6.2
	その他の世帯	42	31.0	66.7	-35.7
働き方	正規の職員・従業員	448	36.2	63.4	-27.2
	非正規の職員・従業員(派遣・契約社員、パート等)	249	40.6	58.6	-18.0
	会社などの役員	40	52.5	45.0	7.5
	自営業主	71	49.3	50.7	-1.4
	家族従業者・内職	17	47.1	47.1	0.0
	学生・生徒	23	43.5	47.8	-4.3
	収入をともなう仕事をしていない(仕事を探している)	42	50.0	47.6	2.4
	収入をともなう仕事をしていない(仕事を探していない)	228	40.8	54.4	-13.6
	その他	53	41.5	49.1	-7.6

- 地域貢献の意欲と近所付き合いの程度をみると、地域貢献の意欲がある（思っている）人は親密な近所付き合いをしている傾向がみられます。

数値は%、網掛は各属性で高い割合、属性及び設問の「無回答」は非表示

%		合計(n)	地域に役立ちたいと「思っている」	地域に役立ちたいと「あまり考えていない」
近所付き合い	家族ぐるみの付き合いが多い	48	68.8	29.2
	おみやげをあげたり(もらったり)、何かを手伝いあうことが多い	122	67.2	29.5
	あいさつをする程度の付き合いが多い	651	38.7	58.8
	顔は知っているが、あいさつをしないことが多い	46	34.8	63.0
	顔も知らない人が多い	291	28.2	70.8
	その他	18	50.0	44.4

- 地域貢献の意欲と助けあいのできること・したいことをみると、地域貢献の意欲がある（思っている）人は「登下校時の見守り、地域のパトロール」や「自分の時間、経験、知識、体力を生かせること」（いずれも60%台）などをできること・したいことに挙げています。

数値は%、網掛は各属性で高い割合、属性及び設問の「無回答」は非表示

%		合計(n)	地域に役立ちたいと「思っている」	地域に役立ちたいと「あまり考えていない」
助けあいのできること・したいこと	話し相手、声かけ	638	49.1	48.3
	ちょっとした手伝い(例 ごみ出し、買い物、植木の手入れ、家・玄関周りの掃除)	379	56.2	41.2
	短時間、家族の面倒をみる(こども、高齢者等)	86	58.1	40.7
	火事や災害時の助けあい	551	45.0	53.7
	登下校時の見守り、地域のパトロール	147	63.3	36.7
	自分の時間、経験、知識、体力を生かせること	62	67.7	29.0
	特になし	118	12.7	84.7

- 地域貢献の意欲と助けあいを地域に広げる区の取組をみると、地域貢献の意欲がある（思っている）人は「町会・自治会の加入促進」や「住民同士、住民と行政が地域福祉について話しあう機会の確保」（いずれも60%台）などを挙げています。

数値は%、網掛は各属性で高い割合、属性及び設問の「無回答」は非表示

%		合計(n)	地域に役立ちたいと「思っている」	地域に役立ちたいと「あまり考えていない」
助けあいを地域に広げる区 の取組	福祉活動の重要性の発信や地域共生に関する社会の理解促進	291	47.8	50.9
	住民同士、住民と行政が地域福祉について話しあう機会の確保	162	61.1	36.4
	誰でも気軽に集える、住民やNPO等が中心となる「地域の居場所」づくり	391	48.6	49.9
	地域福祉やボランティアについての研修・講座の開催	115	57.4	41.7
	わかりやすい福祉情報・地域活動情報の提供	541	38.8	59.5
	地域福祉活動団体の運営ノウハウ(資金調達等)の提供	52	48.1	51.9
	地域福祉活動の相談や指導をするコーディネーターの派遣	103	37.9	61.2
	地域福祉活動やボランティア等の拠点・窓口の整備	191	49.2	49.2
	地域福祉活動に伴う費用助成の充実	203	42.9	54.7
	町会・自治会の加入促進	103	62.1	35.0
	有志(周りの人、近所同士)で助けあう仕組みづくり	204	54.9	43.6
	その他	34	55.9	44.1
	わからない	121	12.4	86.8

- 地域貢献の意欲と参加したい地域活動をみると、地域貢献の意欲がある（思っている）人は「自分たちが主体となって行う地域活動（交流づくり、居場所づくりなど）」、「町会・自治会、マンション管理組合、自主防災組織、消防団などが行う地域活動」、「社会福祉法人、福祉サービス事業者などが行うイベント・講習会・ボランティア」（いずれも 60～70%台）などを挙げています。

数値は%、網掛は各属性で高い割合、属性及び設問の「無回答」は非表示

%		合計(n)	地域に役立ちたいと「思っている」	地域に役立ちたいと「あまり考えていない」
参加したい地域活動	町会・自治会、マンション管理組合、自主防災組織、消防団などが行う地域活動	336	64.0	34.8
	保護者会、PTAなどが行う、学校などを拠点とする活動	137	54.0	46.0
	社会福祉法人、福祉サービス事業者などが行うイベント・講習会・ボランティア	195	63.6	34.4
	趣味のグループ、自主サークルなどが行う地域活動(自分が関心のある分野)	488	44.3	54.3
	区、商店街、NPOなどが行うイベント・講習会・ボランティア	234	58.1	41.9
	自分たちが主体となって行う地域活動(交流づくり、居場所づくりなど)	112	74.1	23.2
	その他	36	52.8	38.9
	そうした活動に参加したくない・関心がない	208	4.8	95.2

- 地域貢献の意欲と地域活動の参加条件をみると、地域貢献の意欲がある（思っている）人は「身近な場所で活動できること」や「家族の理解・協力が得られること」（いずれも 50%台）などを挙げています。

数値は%、網掛は各属性で高い割合、属性及び設問の「無回答」は非表示

%		合計(n)	地域に役立ちたいと「思っている」	地域に役立ちたいと「あまり考えていない」
地域活動の参加条件	自分の時間に余裕があること	680	45.0	54.3
	時間や期間にあまりしぼられないこと	637	43.8	55.1
	関心・興味のあるテーマの活動があること	592	44.4	54.2
	知り合いや気の合う仲間がいること	465	44.3	54.6
	身近な場所で活動できること	564	52.0	47.2
	家族の理解・協力が得られること	164	50.6	48.2
	子どもの世話や親の介護を代わりにしてもらうこと	69	44.9	55.1
	自分の能力向上につながる	174	43.7	55.2
	参加に報酬があること	163	33.1	66.3
	その他	26	46.2	42.3
	そうした活動に参加したくない・関心がない	71	4.2	95.8

- 地域貢献の意欲と区の福祉情報の入手先をみると、地域貢献の意欲がある（思っている）人は「区が行う出前講座」、「民生委員・児童委員」、「町会・自治会の回覧板」（いずれも 60%台）などを挙げています。

数値は%、網掛は各属性で高い割合、属性及び設問の「無回答」は非表示

%		合計(n)	地域に役立ちたいと「思っている」	地域に役立ちたいと「あまり考えていない」
区の福祉情報の入手先	区の広報紙(朗読、点字を含む)	743	42.9	54.8
	区のホームページ	539	38.6	59.9
	区の窓口	91	42.9	51.6
	区の掲示物・配付物	315	47.3	49.8
	区が行う出前講座	16	62.5	37.5
	民生委員・児童委員	24	62.5	25.0
	社会福祉協議会	23	52.2	43.5
	町会・自治会の回覧板	102	65.7	31.4
	新聞・テレビ・CATV・ラジオ	105	46.7	50.5
	区からのメールやSNS(プッシュ通知を含む)	308	40.6	59.4
	家族・親戚	49	36.7	59.2
	友人・知人	63	55.6	41.3
	保育園・幼稚園・学校・施設	95	42.1	57.9
	その他	12	8.3	91.7

- これらの結果を踏まえ、地域活動の担い手育成、地域活動の活性化、情報発信のあり方を検討するヒントになると考えられます。

分析3 孤独を感じる人について

- 自分が孤独と感じるか（問23）の全体結果は、「ほとんどない（月1回未満）」が40%台、「決してない」が30%台です。一方、「しばしばある・常にある（週1回以上）」は4.7%であり、国の「孤独・孤立の実態把握に関する全国調査／令和5年実施（人々のつながりに関する基礎調査（16歳以上）問24）」の4.8%と同程度です。
- 孤独と感じることが「しばしばある・常にある（週1回以上）」に注目すると、回答者の属性は性別その他、18～19歳、20～24歳、居住歴3～5年、給与住宅（社宅・公務員住宅など）・寮・寄宿舎、収入をとまなう仕事をしていない（仕事を探している）の割合が比較的高く（10%以上）なっています。

数値は%、網掛は太枠項目のうち10%以上、属性及び設問の「無回答」は非表示

%		合計(n)	決してない	ほとんどない (月1回未満)	たまにある(月 1回程度)	時々ある(月2 ～3回程度)	しばしばある・ 常にある(週1 回以上)
性別(自認)	男性	476	33.0	42.4	13.9	6.5	3.8
	女性	689	30.8	39.3	17.0	7.3	4.9
	その他	8	0.0	62.5	12.5	0.0	25.0
年齢	18～19歳	9	33.3	55.6	0.0	0.0	11.1
	20～24歳	35	22.9	34.3	11.4	14.3	17.1
	25～29歳	55	32.7	32.7	25.5	3.6	3.6
	30～34歳	71	32.4	39.4	18.3	7.0	2.8
	35～39歳	77	36.4	37.7	10.4	7.8	7.8
	40～44歳	100	37.0	38.0	17.0	4.0	4.0
	45～49歳	124	28.2	45.2	12.9	5.6	8.1
	50～54歳	121	36.4	41.3	11.6	4.1	6.6
	55～59歳	108	35.2	38.0	14.8	7.4	4.6
	60～64歳	84	28.6	47.6	13.1	8.3	2.4
	65～69歳	79	27.8	44.3	17.7	8.9	1.3
	70～74歳	109	23.9	46.8	20.2	5.5	0.9
	75～79歳	88	33.0	37.5	17.0	10.2	2.3
80歳以上	116	27.6	38.8	18.1	8.6	4.3	
居住地区	白河地区	113	30.1	39.8	14.2	8.8	7.1
	富岡地区	106	26.4	37.7	20.8	7.5	5.7
	豊洲地区	247	34.4	37.7	19.0	4.9	4.0
	小松橋地区	90	24.4	42.2	16.7	5.6	7.8
	東陽地区	101	36.6	36.6	14.9	9.9	2.0
	亀戸地区	143	26.6	47.6	13.3	6.3	6.3
	大島地区	135	33.3	44.4	12.6	3.7	5.2
	砂町地区	142	31.7	40.1	16.9	8.5	2.8
	南砂地区	101	35.6	42.6	9.9	8.9	2.0
居住歴	2年以下	157	33.1	38.2	14.0	8.9	5.1
	3～5年	165	26.1	42.4	15.2	6.1	10.3
	6～9年	133	37.6	38.3	12.8	6.0	4.5
	10～19年	281	27.4	44.8	16.7	5.3	5.0
	20～29年	208	29.3	44.7	14.4	8.7	1.9
	30年以上	232	37.5	34.5	18.5	6.9	2.2
住まい形態	持ち家(一戸建)	181	33.7	40.3	18.2	5.0	2.2
	持ち家(マンションなどの共同住宅)	566	33.6	42.6	13.6	6.4	3.5
	民営の賃貸住宅	230	26.5	40.0	16.1	8.7	8.3
	都・区営の賃貸住宅・都市再生機構(UR)・公社	151	29.1	41.1	16.6	7.3	4.6
	給与住宅(社宅・公務員住宅など)・寮・寄宿舎	27	33.3	25.9	18.5	11.1	11.1
	その他・わからない	23	21.7	26.1	34.8	8.7	8.7
世帯構成	1人世帯	242	17.8	36.4	21.5	13.6	9.1
	夫婦だけの1世代世帯	354	32.8	42.7	15.0	5.9	3.7
	親と子の2世代世帯	505	36.6	42.2	12.5	5.1	3.2
	親と子と孫の3世代世帯	32	43.8	25.0	21.9	0.0	9.4
	その他の世帯	42	23.8	50.0	21.4	2.4	2.4
働き方	正規の職員・従業員	448	34.2	41.7	13.2	6.5	4.0
	非正規の職員・従業員(派遣・契約社員、パート等)	249	33.7	37.3	17.3	6.0	5.2
	会社などの役員	40	30.0	47.5	10.0	7.5	5.0
	自営業主	71	32.4	42.3	19.7	2.8	2.8
	家族従業者・内職	17	29.4	23.5	23.5	11.8	5.9
	学生・生徒	23	21.7	52.2	8.7	8.7	8.7
	収入をとまなう仕事をしていない(仕事を探している)	42	16.7	40.5	26.2	4.8	11.9
	収入をとまなう仕事をしていない(仕事を探していない)	228	28.5	41.7	17.1	8.3	3.9
	その他	53	28.3	39.6	13.2	11.3	5.7

- 孤独と覚えることが「しばしばある・常にある（週1回以上）」と回答した人にも地域活動への参加意向はみられます。
- 地域活動の参加条件は「子どもの世話や親の介護を代わってもらうこと」が10%台、「参加に報酬があること」が9%台です。地域の居場所（自宅以外で過ごしたい身近な場所）は「その他」が10%台です。※その他の具体的内容（自由記述）を記載予定
- これらの結果は孤独を覚える人を支援する地域づくりのヒントになると考えられます。

数値は%、網掛は太枠項目のうち10%以上、属性及び設問の「無回答」は非表示

	%	合計(n)	決してない	ほとんどない (月1回未満)	たまにある(月1 回程度)	時々ある(月2 ~3回程度)	しばしばある・ 常にある(週1 回以上)
参加したい地 域活動	町会・自治会、マンション管理組合、自主防災組織、消 防団などを行う地域活動	336	35.4	39.9	16.1	6.3	2.1
	保護者会、PTAなどを行う、学校などを拠点とする活動	137	43.1	37.2	10.2	2.9	6.6
	社会福祉法人、福祉サービス事業者などが行うイベント・ 講習会・ボランティア	195	28.2	42.1	16.4	9.2	3.6
	趣味のグループ、自主サークルなどを行う地域活動(自 分が関心のある分野)	488	27.7	42.2	17.2	8.2	4.5
	区、商店街、NPOなどが行うイベント・講習会・ボランティ ア	234	30.3	39.3	18.8	6.4	5.1
	自分たちが主体となって行う地域活動(交流づくり、居場 所づくりなど)	112	33.0	33.9	22.3	7.1	2.7
	その他	36	22.2	38.9	16.7	11.1	8.3
	そうした活動に参加したくない・関心がない	208	33.2	41.3	11.1	6.3	7.7
地域活動の参 加条件	自分の時間に余裕があること	680	34.0	39.6	15.6	6.2	4.3
	時間や期間にあまりしられないこと	637	32.7	41.6	14.4	6.8	4.4
	関心・興味のあるテーマの活動があること	592	29.6	40.5	18.1	6.9	4.7
	知り合いや気の合う仲間がいること	465	30.5	37.2	17.4	8.0	6.2
	身近な場所で活動できること	564	29.8	40.4	18.4	7.4	3.7
	家族の理解・協力が得られること	164	37.8	39.0	14.0	4.3	4.9
	子どもの世話や親の介護を代わってもらうこと	69	26.1	36.2	18.8	8.7	10.1
	自分の能力向上につながる	174	27.0	44.3	14.4	8.0	5.2
	参加に報酬があること	163	31.3	32.5	19.0	8.0	9.2
	その他	26	30.8	34.6	19.2	7.7	7.7
	そうした活動に参加したくない・関心がない	71	38.0	40.8	7.0	7.0	7.0
地域の居場所	公園・広場、河川敷	648	31.5	41.8	14.4	7.4	4.8
	カフェ(喫茶店)、レストラン、飲食店	696	31.5	41.1	16.8	6.3	4.3
	商業施設(スーパーやコンビニなど)	471	29.5	42.7	16.1	6.4	5.3
	町会・自治会、マンションなどの集会所	43	39.5	23.3	30.2	4.7	2.3
	図書館、地区センターなどの公共施設	414	27.8	44.0	16.7	6.0	5.3
	趣味の活動や運動・スポーツができる場所	454	31.3	41.9	14.8	6.4	5.7
	その他	16	25.0	50.0	6.3	6.3	12.5
	特にな	87	41.4	31.0	14.9	8.0	4.6

- 孤独と覚えることが「しばしばある・常にある（週1回以上）」と回答した人の困った時に頼れる人・機関で比較的高い（10%以上）は「民生委員・児童委員」、「相談支援専門員（障害者の相談を受け、サービスの調整をする専門員）」、「その他」が10%台です。※その他の具体的内容（自由記述）を記載予定
- 一方、「相談できる人や機関はない」が20%台と高く、また、相談先がわからない困りごと（問29）は「ある」が10%台と高くなっています。
- 孤独と覚えることが「しばしばある・常にある（週1回以上）」と回答した人の相談窓口への要望は「その他」が10%台、「身近に相談場所がほしい」が9%台です。※その他の具体的内容（自由記述）を記載予定
- これらの結果は、孤独を感じる人に早期にアプローチする方法や相談しやすい窓口のあり方のヒントになると考えられます。

数値は%、網掛は太枠項目のうち10%以上、属性及び設問の「無回答」は非表示

%		合計(n)	決してない	ほとんどない (月1回未満)	たまにある(月1回程度)	時々ある(月2~3回程度)	しばしばある・常にある(週1回以上)
頼れる人・機関	家族や親戚(同居、別居を問わない)	971	32.9	42.5	15.0	5.8	3.4
	友人・知人	666	33.6	42.2	15.3	5.3	3.0
	近所の人、町会・自治会	93	38.7	38.7	18.3	3.2	0.0
	民生委員・児童委員	10	50.0	10.0	20.0	10.0	10.0
	かかりつけ医	233	36.1	34.8	17.2	7.7	3.9
	ケアマネジャー(介護支援専門員)やヘルパー(訪問介護員)	63	44.4	28.6	11.1	11.1	4.8
	地域福祉コーディネーター	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	仕事・学校関係の人(職場の同僚、保育園・幼稚園・学校の先生やカウンセラー)	168	41.1	33.9	12.5	8.3	3.6
	相談支援専門員(障害者の相談を受け、サービスの調整をする専門員)	8	25.0	37.5	12.5	12.5	12.5
	長寿サポートセンター(地域包括支援センター)	35	28.6	37.1	20.0	11.4	2.9
	区役所の窓口	115	37.4	43.5	10.4	4.3	4.3
	社会福祉協議会	13	30.8	46.2	15.4	7.7	0.0
	その他	17	29.4	35.3	23.5	0.0	11.8
	相談できる人や機関はない	61	13.1	31.1	18.0	16.4	21.3
相談先がわからない困りごと	ある	121	19.8	24.8	21.5	14.0	19.0
	ない	1,019	33.3	42.7	14.9	6.1	2.7
相談窓口への要望	1か所で色々な相談ができる	442	29.6	42.1	18.1	6.3	3.8
	専門性の高い相談ができる	351	28.5	41.0	15.7	7.7	7.1
	予約なしで相談ができる	328	32.9	42.1	15.9	5.8	3.4
	夜間でも相談ができる	148	37.2	36.5	16.2	4.7	4.7
	土日でも相談ができる	390	31.0	43.3	16.9	4.4	4.4
	相談に要する時間に制限がない	66	33.3	34.8	18.2	9.1	4.5
	身近に相談場所がほしい	127	26.8	31.5	20.5	11.0	9.4
	プライバシーが守られる	295	29.2	39.3	14.9	9.8	6.8
	相談の際、こどもや要介護者の面倒をみてくれる	29	27.6	31.0	20.7	13.8	6.9
	区役所に行かずに相談ができる(オンラインでの相談やAI(人工知能)の活用など)	212	39.6	31.1	17.0	5.7	6.6
	その他	23	17.4	39.1	17.4	13.0	13.0
	特に要望はない	133	33.1	42.1	16.5	5.3	3.0
	わからない	47	31.9	40.4	6.4	12.8	6.4

分析4 相談先がわからない困りごとが「ある」人について

- 相談先がわからない困りごと（問 29）の全体結果は、「ある」が10%台、「ない」は80%台です。相談先がわからない困りごとが「ある」に注目すると、「ある」割合は全ての属性にみられます。その中でも、性別その他は20%台と高く、また、30代から60代前半、親と子の2世代世帯などをはじめ、多くの属性で10%台となっています。

数値は%、網掛は太枠項目のうち10%以上、属性及び設問の「無回答」は非表示

%		合計(n)	相談先がわからない困りごと「ある」	相談先がわからない困りごと「ない」
性別(自認)	男性	476	8.8	88.7
	女性	689	11.0	85.3
	その他	8	25.0	75.0
年齢	18~19歳	9	11.1	88.9
	20~24歳	35	14.3	82.9
	25~29歳	55	9.1	90.9
	30~34歳	71	5.6	91.5
	35~39歳	77	13.0	85.7
	40~44歳	100	12.0	88.0
	45~49歳	124	11.3	87.9
	50~54歳	121	11.6	86.0
	55~59歳	108	12.0	88.0
	60~64歳	84	14.3	85.7
	65~69歳	79	8.9	86.1
	70~74歳	109	5.5	89.9
	75~79歳	88	9.1	85.2
80歳以上	116	8.6	76.7	
居住地区	白河地区	113	9.7	88.5
	富岡地区	106	7.5	88.7
	豊洲地区	247	11.7	83.8
	小松橋地区	90	5.6	88.9
	東陽地区	101	8.9	89.1
	魚戸地区	143	8.4	88.8
	大島地区	135	12.6	83.7
	砂町地区	142	11.3	85.2
	南砂地区	101	13.9	85.1
	居住歴	2年以下	157	8.3
3~5年	165	13.3	84.8	
6~9年	133	9.0	88.7	
10~19年	281	11.4	85.4	
20~29年	208	9.1	88.0	
30年以上	232	9.9	84.5	
住まい形態	持ち家(一戸建)	181	7.7	87.8
	持ち家(マンションなどの共同住宅)	566	10.2	88.3
	民営の賃貸住宅	230	10.0	87.8
	都・区営の賃貸住宅・都市再生機構(UR)・公社	151	14.6	75.5
	給与住宅(社宅・公務員住宅など)・寮・寄宿舍	27	0.0	96.3
	その他・わからない	23	17.4	78.3
世帯構成	1人世帯	242	11.6	83.1
	夫婦だけの1世代世帯	354	7.1	90.1
	親と子の2世代世帯	505	12.3	85.7
	親と子と孫の3世代世帯	32	9.4	84.4
	その他の世帯	42	7.1	88.1
働き方	正規の職員・従業員	448	8.3	91.3
	非正規の職員・従業員(派遣・契約社員、パート等)	249	12.4	83.1
	会社などの役員	40	10.0	90.0
	自営業主	71	12.7	83.1
	家族従業者・内職	17	17.6	82.4
	学生・生徒	23	8.7	82.6
	収入をとまなう仕事をしていない(仕事を探している)	42	19.0	71.4
	収入をとまなう仕事をしていない(仕事を探していない)	228	9.6	85.5
	その他	53	7.5	86.8

- 相談先がわからない困りごとが「ある」と回答した人は近所付きあいが浅い人だけでなく、「家族ぐるみの付きあいが多い」と回答した人にも困りごとが「ある」割合は10%台です。

数値は%、網掛は太枠項目のうち10%以上、属性及び設問の「無回答」は非表示

%		合計(n)	相談先がわからない困りごと「ある」	相談先がわからない困りごと「ない」
近所付きあい	家族ぐるみの付きあいが多い	48	10.4	87.5
	おみやげをあげたり(もらったり)、何かを手伝いあうことが多い	122	6.6	87.7
	あいさつをする程度の付きあいが多い	651	10.0	87.1
	顔は知っているが、あいさつをしないことが多い	46	15.2	82.6
	顔も知らない人が多い	291	11.3	86.6
	その他	18	16.7	72.2

- 相談先がわからない困りごとが「ある」と回答した人と自分が孤独と感じるかをみると、「時々ある（月2～3回程度）」が20%台、「しばしばある・常にある（週1回以上）」が40%台と高く、相談先がわからない困りごとが「ある」と孤独と感じる状況は深く関係していることが考えられます。

数値は%、網掛は太枠項目のうち20%以上、属性及び設問の「無回答」は非表示

%		合計(n)	相談先がわからない困りごと「ある」	相談先がわからない困りごと「ない」
孤独を感じる	決してない	370	6.5	91.6
	ほとんどない(月1回未満)	481	6.2	90.4
	たまにある(月1回程度)	185	14.1	82.2
	時々ある(月2～3回程度)	81	21.0	76.5
	しばしばある・常にある(週1回以上)	55	41.8	50.9

- 相談先がわからない困りごとが「ある」と回答した人の相談窓口への要望は「身近に相談場所がほしい」、「相談の際、こどもや要介護者の面倒をみしてくれる」、「その他」が20%台と高くなっています。※その他の具体的内容（自由記述）を記載予定
- 区の福祉情報の入手先は「区が行う出前講座」や「社会福祉協議会」が20%台と高くなっています。
- これらの結果は、相談しやすい窓口や情報発信のあり方を検討するヒントになると考えられます。

数値は%、網掛は太枠項目のうち20%以上、属性及び設問の「無回答」は非表示

%		合計(n)	相談先がわからない困りごと「ある」	相談先がわからない困りごと「ない」
相談窓口への要望	1か所で色々な相談ができる	442	10.0	87.8
	専門性の高い相談ができる	351	14.5	83.8
	予約なしで相談ができる	328	6.4	90.5
	夜間でも相談ができる	148	8.8	89.9
	土日でも相談ができる	390	9.2	89.5
	相談に要する時間に制限がない	66	19.7	77.3
	身近に相談場所がほしい	127	20.5	77.2
	プライバシーが守られる	295	11.9	86.4
	相談の際、こどもや要介護者の面倒をみしてくれる	29	20.7	75.9
	区役所に行かずに相談ができる(オンラインでの相談やAI(人工知能)の活用など)	212	10.4	89.2
	その他	23	26.1	65.2
	特に要望はない	133	2.3	96.2
わからない	47	14.9	78.7	
区の福祉情報の入手先	区の広報紙(朗読、点字を含む)	743	10.8	86.8
	区のホームページ	539	9.6	89.2
	区の窓口	91	11.0	86.8
	区の掲示物・配付物	315	9.5	87.9
	区が行う出前講座	16	25.0	75.0
	民生委員・児童委員	24	8.3	83.3
	社会福祉協議会	23	26.1	65.2
	町会・自治会の回覧板	102	6.9	88.2
	新聞・テレビ・CATV・ラジオ	105	10.5	86.7
	区からのメールやSNS(プッシュ通知を含む)	308	13.0	86.4
	家族・親戚	49	10.2	85.7
	友人・知人	63	7.9	87.3
	保育園・幼稚園・学校・施設	95	11.6	88.4
	その他	12	8.3	91.7

地域福祉に関するアンケート調査報告書

令和7年3月 印刷物登録番号(●)●号

編集発行 江東区福祉部福祉課
東京都江東区東陽4-11-28
電話(3647)9111(代表)